

平成22年度  
教育委員会の事務の点検・評価報告書

平成22年10月  
鹿児島県教育委員会



# I 平成22年度教育委員会の事務の点検・評価について

## 1 「事務の点検・評価」について

平成20年4月に施行された、改正後の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条において、教育委員会が毎年、教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行うことなどが規定されています。

この「教育委員会の事務の点検・評価」は、同条に基づき実施しています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 目的

教育委員会の事務の点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、教育行政の推進状況に関する県民への説明責任を果たすことを目的としています。

本県教育委員会では、平成21年2月に、鹿児島県教育振興基本計画（以下「県計画」という。）を策定し、今後10年間を見据えた教育の姿として、「あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり」を基本目標に掲げ、その実現に向け、知事部局の施策も含め、36の施策に取り組んでおり、今後、県計画の進捗状況の把握についても、教育委員会の事務の点検・評価を活用します。

なお、この点検・評価の結果については、今後の教育行政の運営に十分反映させ、本県教育の更なる振興・充実に努めます。

## 3 対象施策

県計画に基づいて、県教育委員会が取り組んでいる施策のうち、特に重点的

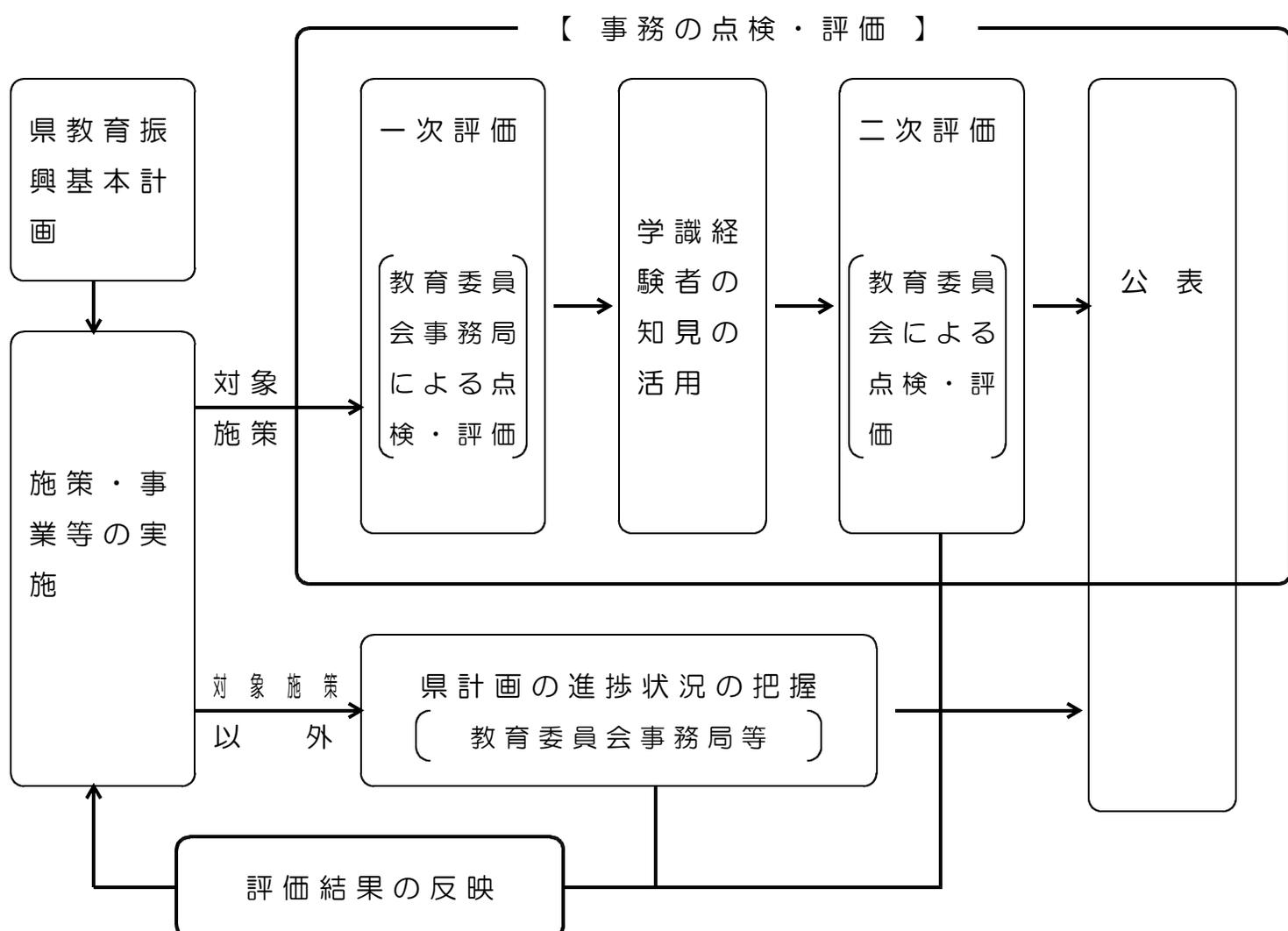
に取り組んでいるもの、施策の取組について外部委員の意見・提言が必要であると思われるもの、県計画に掲げた「施策の方向性」の均衡等を考慮し、毎年度、点検・評価の対象施策を決定します。

なお、今年度は、次に掲げる施策を対象としました。

- (1) 生徒指導の充実
- (2) 子ども読書活動の推進
- (3) 体力・運動能力の向上
- (4) 「確かな学力」の定着
- (5) 安全・安心な学校づくり
- (6) 地域ぐるみでの安全・安心な環境づくり
- (7) 競技スポーツの推進
- (8) 文化財の保存・活用

また、県計画に掲げた施策のうち事務の点検・評価の対象施策以外のものについては、教育委員会事務局等において、県計画の進捗状況を確認します。

【 教育委員会の事務の点検・評価フロー図 】



【平成22年度の「点検・評価」の対象施策等】

※ 平成22年度の「点検・評価」の対象施策は、下表の反転部分

| 施策の方向性                         | 施策   |  |
|--------------------------------|--|--|
|                                | 重点施策(21)   | 重点施策以外(15)   |
| I 規範意識を養い、豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進 | ① 道徳教育の充実<br><b>② 生徒指導の充実</b><br>③ 人権教育の充実<br><b>⑤ 子ども読書活動の推進</b><br>⑦ 食育の推進<br><b>⑧ 体力・運動能力の向上</b><br>⑨ 健康教育の充実 | ④ 体験活動の充実<br>⑥ 文化活動の推進   |
| II 能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進   | <b>① 「確かな学力」の定着</b><br>③ 特別支援教育の推進<br>④ キャリア教育の推進<br>⑦ 郷土教育の推進   | ② 「国語力」の向上<br>⑤ 産業教育の推進<br>⑥ 幼児教育の充実<br>⑧ 社会の変化に対応した教育の推進  |
| III 信頼される学校づくりの推進              | ③ 公立高等学校の活性化<br>⑤ 教職員の資質向上<br><b>⑥ 安全・安心な学校づくり</b>   | ① 開かれた学校づくり<br>② 学校運営の充実<br>④ へき地・小規模校教育の振興<br>⑦ 教育環境の整備・充実<br>⑧ 私立学校教育の振興<br>⑨ <u>魅力ある県立短期大学づくり</u> |
| IV 地域全体で子どもを守り育てる環境づくりの推進      | ① 地域住民が支援する「地域の中の学校」づくりの推進<br><b>③ 地域ぐるみでの安全・安心な環境づくり</b><br>④ 家庭の教育力の向上   | ② 地域ぐるみでの子どもの育成  |
| V 生涯にわたって学べる環境づくりとスポーツ・文化の振興   | ① 生涯学習環境の充実<br>② 生涯スポーツの推進<br><b>③ 競技スポーツの推進</b><br><b>⑥ 文化財の保存・活用</b>   | ④ <u>文化芸術活動の促進</u><br>⑤ <u>地域文化の継承・発展</u>  |

※ ~~~~~ は、知事部局所管の施策。

## 4 点検・評価の方法

### (1) 評価の観点

県計画に掲げた基本目標の実現に向け、施策及び事業等が着実かつ効果的に実施されているか等を観点として、評価を実施しました。

### (2) 評価の対象期間

平成21年度としました。

### (3) 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項の規定に基づき、対象施策の取組等について、次の4名の評価委員から意見・提言をいただきました。

(敬称略 50音順)

| 氏名    | 役職等                     |
|-------|-------------------------|
| 岩佐 睦美 | 鹿児島県PTA連合会副会長           |
| 太田 敬介 | NPO法人SCC理事長             |
| 諏訪 健祐 | (株)トヨタレンタリース鹿児島 代表取締役社長 |
| 武隈 晃  | 鹿児島大学教育学部長              |

## 5 点検・評価の経過等

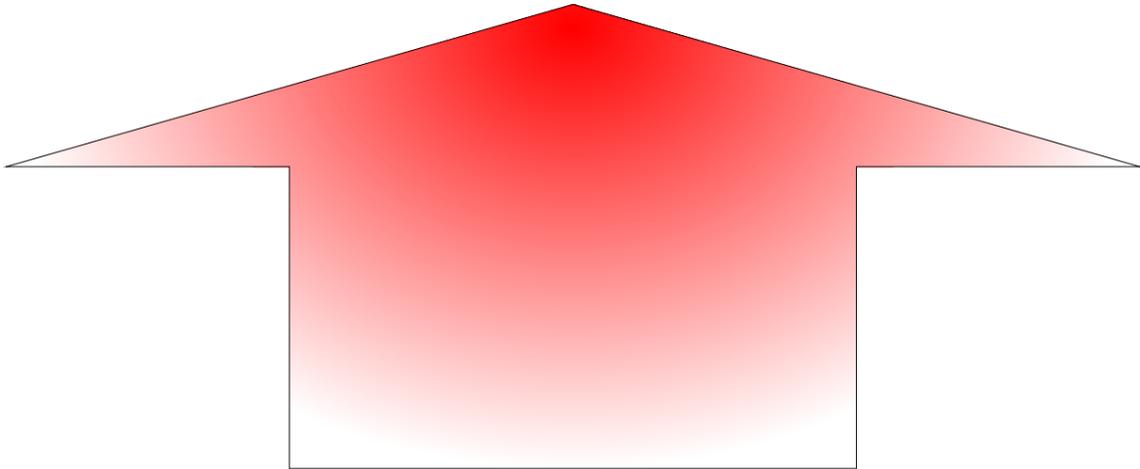
|       |     |                    |
|-------|-----|--------------------|
| 平成22年 | 7月  | 一次評価の実施            |
|       |     | 評価委員に施策・事業等の取組の説明等 |
|       | 8月  | 評価委員から対象施策への意見・提言  |
|       | 9月  | 教育委員会にて議決(二次評価)    |
|       | 10月 | 県議会文教警察委員会へ報告      |
|       |     | 評価結果の公表            |

# 基本目標と施策の関連図

**10年後を見据えた教育の姿**

**《基本目標》: 「あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり」**

- 1 知・徳・体の調和がとれ、主体的に考え行動する力を備え、生涯にわたって意欲的に自己実現を目指す人間
- 2 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養い、これからの社会づくりに貢献できる人間



**今後5年間に取り組む施策**

**《本県教育の取組における視点》**

- 1 時代を超えて変わらない価値のあるものの尊重
- 2 社会の変化への的確かつ柔軟な対応
- 3 学校・家庭・地域・企業等の相互の連携・協力
- 4 郷土の教育的な伝統や風土の活用

**《本県教育施策の方向性》**

|   |   |  |  |   |
|---|---|--|--|---|
| <b>規範意識を養い、豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進</b>   | <b>能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進</b>  | <b>信頼される学校づくりの推進</b>   | <b>地域全体で子どもを守り育てる環境づくりの推進</b>  | <b>生涯にわたって学べる環境づくりとスポーツ・文化の振興</b>   |
| 道徳教育の充実<br>生徒指導の充実<br>人権教育の充実<br>体験活動の充実<br>子ども読書活動の推進<br>文化活動の推進<br>食育の推進<br>体力・運動能力の向上<br>健康教育の充実 | 「確かな学力」の定着<br>「国語力」の向上<br>特別支援教育の推進<br>キャリア教育の推進<br>産業教育の推進<br>幼児教育の充実<br>郷土教育の推進<br>社会の変化に対応した教育の推進<br>(ア) 情報教育<br>(イ) 環境教育<br>(ウ) 福祉教育・ボランティア活動<br>(エ) 国際理解教育<br>(オ) 消費者教育・金融教育 | 開かれた学校づくり<br>学校運営の充実<br>公立高等学校の活性化<br>へき地・小規模校教育の振興<br>教職員の資質向上<br>安全・安心な学校づくり<br>教育環境の整備・充実<br>私立学校教育の振興<br>魅力ある県立短期大学づくり | 地域住民が支援する「地域の中の学校」づくりの推進<br>地域ぐるみでの子どもの育成<br>地域ぐるみでの安全・安心な環境づくり<br>家庭の教育力の向上 | 生涯学習環境の充実<br>生涯スポーツの推進<br>競技スポーツの推進<br>文化芸術活動の促進<br>地域文化の継承・発展<br>文化財の保存・活用 |

## Ⅱ 事務の点検・評価の内容及び結果について

今年度、事務の点検・評価の対象とした8つの施策についての点検・評価結果は、次のとおりです。

なお、評価に当たっては、一次評価として、教育委員会事務局において、当該施策の取組等について、成果や課題等を評価しました。

その後、評価委員からいただいた意見・提言を踏まえ、教育委員会において、次の4段階で、評価を実施しました。

- ・ 著しい成果が見られる。
- ・ 十分な成果が見られる。
- ・ 成果は見られるが、今後、検討・更なる取組が必要である。
- ・ 改善が必要である。

### 1 「事務の点検・評価」の結果について

| 施策名                    | 点検・評価結果                     |
|------------------------|-----------------------------|
| (1) 生徒指導の充実            | 成果は見られるが、今後、検討・更なる取組が必要である。 |
| (2) 子ども読書活動の推進         | 成果は見られるが、今後、検討・更なる取組が必要である。 |
| (3) 体力・運動能力の向上         | 成果は見られるが、今後、検討・更なる取組が必要である。 |
| (4) 「確かな学力」の定着         | 成果は見られるが、今後、検討・更なる取組が必要である。 |
| (5) 安全・安心な学校づくり        | 成果は見られるが、今後、検討・更なる取組が必要である。 |
| (6) 地域ぐるみでの安全・安心な環境づくり | 成果は見られるが、今後、検討・更なる取組が必要である。 |
| (7) 競技スポーツの推進          | 成果は見られるが、今後、検討・更なる取組が必要である。 |
| (8) 文化財の保存・活用          | 成果は見られるが、今後、検討・更なる取組が必要である。 |

## 2 対象施策ごとの評価結果について

### (1) 生徒指導の充実

| <p>施策の目的</p>                          | <p>学校、家庭、地域社会、関係機関等が連携し、いじめや暴力行為等の問題行動、インターネット・携帯電話の普及に伴う新たな課題の解決や不登校児童生徒の学校復帰に向けた一人一人の様々な実態に応じた支援を図る。</p>   |          |        |        |        |                                 |     |     |     |                                       |       |     |     |                                   |       |       |       |     |       |        |        |        |                            |     |       |       |       |     |       |       |       |
|---------------------------------------|--|----------|--------|--------|--------|---------------------------------|-----|-----|-----|---------------------------------------|-------|-----|-----|-----------------------------------|-------|-------|-------|-----|-------|--------|--------|--------|----------------------------|-----|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|
| <p>施策の方向性</p>                         | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒指導に関する教職員の資質向上</li> <li>2 総合的な相談体制の充実</li> <li>3 学校、家庭、地域社会、関係機関等の連携促進</li> <li>4 市町村教育委員会の生徒指導に関する機能強化</li> </ol>  |          |        |        |        |                                 |     |     |     |                                       |       |     |     |                                   |       |       |       |     |       |        |        |        |                            |     |       |       |       |     |       |       |       |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p>               | <p style="text-align: center;">児童生徒の問題行動等調査（平成18～20年度の文部科学省調査から）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">（本県のデータ）</th> <th style="text-align: center;">平成18年度</th> <th style="text-align: center;">平成19年度</th> <th style="text-align: center;">平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>暴力行為件数 <small>公立小・中・高合計</small></td> <td style="text-align: center;">116</td> <td style="text-align: center;">141</td> <td style="text-align: center;">177</td> </tr> <tr> <td>いじめ認知件数 <small>公立小・中・高・特別支援合計</small></td> <td style="text-align: center;">1,348</td> <td style="text-align: center;">835</td> <td style="text-align: center;">532</td> </tr> <tr> <td>不登校児童生徒数 <small>公立小・中・高合計</small></td> <td style="text-align: center;">2,301</td> <td style="text-align: center;">2,328</td> <td style="text-align: center;">2,472</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">「学校のきまりを守っているか」に対する肯定的回答の割合<br/>（平成19～21年度の全国学力・学習状況調査から）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">質 問</th> <th style="text-align: center;">校種・年度</th> <th style="text-align: center;">平成19年度</th> <th style="text-align: center;">平成20年度</th> <th style="text-align: center;">平成21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">学校のきまりを守っているか。<br/>（本県のデータ）</td> <td style="text-align: center;">小学校</td> <td style="text-align: center;">89.9%</td> <td style="text-align: center;">89.7%</td> <td style="text-align: center;">90.6%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中学校</td> <td style="text-align: center;">88.6%</td> <td style="text-align: center;">89.9%</td> <td style="text-align: center;">91.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>（成果）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各学校へのスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置により、「不登校生徒や保護者への定期的なカウンセリングにより、当該生徒が登校できるようになった。」「計画的かつ段階的な対応が教職員に参考になった。」「（ソーシャルワーカー等を通じ、）子育て支援センター、児童総合相談センター、保健センター、福祉事務所等との連携に努めた結果、不登校傾向が改善された。」などの成果があがったなどの声が多く出ている。</li> <li>2 「学校のきまりを守っているか」の問いに対して小中学校の90%を超える児童生徒が肯定的な回答をしており、児童生徒の規範意識は概ね良好に育まれている。</li> </ol> <p>（課題）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 いじめの認知件数は年々減少しているが、学校がいじめに気付いていない可能性がある。</li> <li>2 暴力行為の件数が増加傾向にある。</li> <li>3 不登校児童生徒数が増加傾向にある。</li> </ol> <p>（今後の方向性）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 暴力行為や不登校児童生徒数を減少させるため、教職員研修を中心に、児童生徒一人一人の状況に応じた取組の充実を更に図る必要がある。</li> <li>2 いじめの認知件数は減少傾向にあるが、「まだ気づいていないいじめがある」「一件でも多く発見し、一件でも多く解決する」という認識に立ち、いじめ対策を更に強化する必要がある。</li> <li>3 暴力行為やいじめなどの問題行動の解決や不登校への対応として、家庭との連携を更に深める必要がある。</li> </ol> | （本県のデータ） | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 暴力行為件数 <small>公立小・中・高合計</small> | 116 | 141 | 177 | いじめ認知件数 <small>公立小・中・高・特別支援合計</small> | 1,348 | 835 | 532 | 不登校児童生徒数 <small>公立小・中・高合計</small> | 2,301 | 2,328 | 2,472 | 質 問 | 校種・年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 学校のきまりを守っているか。<br>（本県のデータ） | 小学校 | 89.9% | 89.7% | 90.6% | 中学校 | 88.6% | 89.9% | 91.1% |
| （本県のデータ）                              | 平成18年度   | 平成19年度   | 平成20年度 |        |        |                                 |     |     |     |                                       |       |     |     |                                   |       |       |       |     |       |        |        |        |                            |     |       |       |       |     |       |       |       |
| 暴力行為件数 <small>公立小・中・高合計</small>       | 116  | 141      | 177    |        |        |                                 |     |     |     |                                       |       |     |     |                                   |       |       |       |     |       |        |        |        |                            |     |       |       |       |     |       |       |       |
| いじめ認知件数 <small>公立小・中・高・特別支援合計</small> | 1,348  | 835      | 532    |        |        |                                 |     |     |     |                                       |       |     |     |                                   |       |       |       |     |       |        |        |        |                            |     |       |       |       |     |       |       |       |
| 不登校児童生徒数 <small>公立小・中・高合計</small>     | 2,301  | 2,328    | 2,472  |        |        |                                 |     |     |     |                                       |       |     |     |                                   |       |       |       |     |       |        |        |        |                            |     |       |       |       |     |       |       |       |
| 質 問                                   | 校種・年度  | 平成19年度   | 平成20年度 | 平成21年度 |        |                                 |     |     |     |                                       |       |     |     |                                   |       |       |       |     |       |        |        |        |                            |     |       |       |       |     |       |       |       |
| 学校のきまりを守っているか。<br>（本県のデータ）            | 小学校  | 89.9%    | 89.7%  | 90.6%  |        |                                 |     |     |     |                                       |       |     |     |                                   |       |       |       |     |       |        |        |        |                            |     |       |       |       |     |       |       |       |
|                                       | 中学校  | 88.6%    | 89.9%  | 91.1%  |        |                                 |     |     |     |                                       |       |     |     |                                   |       |       |       |     |       |        |        |        |                            |     |       |       |       |     |       |       |       |
| <p>評価委員の<br/>意見・提言</p>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめを1件でも多く発見するため、教職員の資質向上を一層図ってほしい。</li> <li>・ いじめに対する無記名アンケートは、調査方法等を工夫してほしい。</li> <li>・ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置及び関係機関との連携による成果が出ているので、更なる相談体制の充実を図るとともに、成功事例や先行事例を各</li> </ul>  |          |        |        |        |                                 |     |     |     |                                       |       |     |     |                                   |       |       |       |     |       |        |        |        |                            |     |       |       |       |     |       |       |       |

|            |   |
|------------|---|
|            | <p>学校が共有できるよう情報提供も必要ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 携帯電話によるネットいじめの対策も講じているが、件数が増加するようであれば抜本的な対策を講じてほしい。</li> <li>・ 悪いことをした時の謝り方や仲直りの仕方等が教育できないか。</li> <li>・ 教職員に対する悉皆研修に位置づけられて連続的な取組がなされており、専門的研修も組み合わせられることで学校での協働的な取組が促されると思う。研修成果等が学校組織内で体系的に職員に共有されることを願う。</li> <li>・ 子ども達の生活環境もめまぐるしく変化する中、大人がなかなか気付かない問題もあるので、その問題に気付いてあげる努力をしてほしい。</li> </ul> |
| <p>評 価</p> | <p>成果は見られるが、今後、検討・更なる取組が必要である。</p>  |

余 白



|    |   |
|----|---|
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読書離れが言われている現在，読書の楽しみなど興味を持てるよう，今年の国民読書年をきっかけに推進してほしい。</li> </ul> |
| 評価 | 成果は見られるが，今後，検討・更なる取組が必要である。   |

(3) 体力・運動能力の向上

| <p>施策の目的</p>            | <p>生涯にわたって運動に親しむ習慣の育成や、低下傾向にある児童生徒の体力・運動能力の向上を図る。</p>   |           |           |           |             |           |             |           |           |           |         |             |  |  |  |   |   |  |  |   |       |             |  |  |   |   |  |  |   |   |       |             |  |  |   |  |   |  |  |   |       |             |  |  |   |  |  |   |  |   |       |
|-------------------------|---|-----------|-----------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-----------|-----------|---------|-------------|--|--|--|---|---|--|--|---|-------|-------------|--|--|---|---|--|--|---|---|-------|-------------|--|--|---|--|---|--|--|---|-------|-------------|--|--|---|--|--|---|--|---|-------|
| <p>施策の方向性</p>           | <p>1 学校体育の充実による、生涯にわたって積極的に体を動かすことやスポーツに親しむ習慣の育成<br/>2 体力テスト等の結果を活用した体力・運動能力の向上<br/>3 24年度からの武道等の必修化に伴い、教育活動が円滑に実施されるための取組の充実</p>   |           |           |           |             |           |             |           |           |           |         |             |  |  |  |   |   |  |  |   |       |             |  |  |   |   |  |  |   |   |       |             |  |  |   |  |   |  |  |   |       |             |  |  |   |  |  |   |  |   |       |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>各種目の全国平均値との比較 T70以上：○ 49未満：▲ 49～50未満：空欄<br/>(T70が全国平均) (H21全国体力・運動能力運動習慣等調査結果より)</p> <table border="1" data-bbox="479 707 1734 982"> <thead> <tr> <th></th> <th>握力</th> <th>上体<br/>起こし</th> <th>長座<br/>体前屈</th> <th>反復<br/>横とび</th> <th>20m<br/>シャトル</th> <th>50m<br/>走</th> <th>立ち<br/>幅とび</th> <th>ボール<br/>投げ</th> <th>体力合計点の差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小<br/>5<br/>男</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>-0.79</td> </tr> <tr> <td>小<br/>5<br/>女</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-0.52</td> </tr> <tr> <td>中<br/>2<br/>男</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>-0.88</td> </tr> <tr> <td>中<br/>2<br/>女</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> <td></td> <td>○</td> <td>-1.01</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>すべての小中学校において、体力づくり「一校一運動」が引き続き実施されている。</li> <li>研究推進協力校や体力向上推進優良校の取組を紹介することで、各学校で、教科体育や教科外体育の充実について研究が深められ、体力向上への意識啓発がなされた。</li> <li>各種研修会等において、体力・運動能力の向上に関する効果的な指導方法などについて研修を受けることにより、教職員の指導力の向上が図られた。</li> <li>本県の児童生徒の体力は、「たくましい体・強い心」子ども育成推進事業が始まった平成13年度と比較した場合、体力テストの8種目中、男子で5種目、女子で7種目が向上している。</li> </ol> <p>(課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>すべての学校において「一校一運動」は取り組まれているが、学校間の温度差が見受けられる。</li> <li>平成21年度の全国の平均値と比較すると、ボール投げ（投力、巧緻性）は、優れているものの、長座体前屈（柔軟性）、反復横とび（敏捷性）は劣っている。</li> <li>平成24年度からの武道・ダンスの必修化に向けた設備等の計画的な整備が必要である。</li> </ol> <p>(今後の方向性)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「一校一運動」等の効果的な取組の啓発等を行い、引き続き、児童生徒の体力・運動能力の向上を図っていく。</li> <li>武道・ダンスの必修化に伴い、学習環境の整備、教職員の指導力の向上を計画的に推進していく。</li> <li>平成23年度から向こう10年間を見据えた新規の体力向上推進事業を策定する。</li> </ol> |           | 握力        | 上体<br>起こし | 長座<br>体前屈   | 反復<br>横とび | 20m<br>シャトル | 50m<br>走  | 立ち<br>幅とび | ボール<br>投げ | 体力合計点の差 | 小<br>5<br>男 |  |  |  | ▲ | ▲ |  |  | ○ | -0.79 | 小<br>5<br>女 |  |  | ▲ | ▲ |  |  | ○ | ○ | -0.52 | 中<br>2<br>男 |  |  | ▲ |  | ○ |  |  | ○ | -0.88 | 中<br>2<br>女 |  |  | ▲ |  |  | ▲ |  | ○ | -1.01 |
|                         | 握力  | 上体<br>起こし | 長座<br>体前屈 | 反復<br>横とび | 20m<br>シャトル | 50m<br>走  | 立ち<br>幅とび   | ボール<br>投げ | 体力合計点の差   |           |         |             |  |  |  |   |   |  |  |   |       |             |  |  |   |   |  |  |   |   |       |             |  |  |   |  |   |  |  |   |       |             |  |  |   |  |  |   |  |   |       |
| 小<br>5<br>男             |   |           |           | ▲         | ▲           |           |             | ○         | -0.79     |           |         |             |  |  |  |   |   |  |  |   |       |             |  |  |   |   |  |  |   |   |       |             |  |  |   |  |   |  |  |   |       |             |  |  |   |  |  |   |  |   |       |
| 小<br>5<br>女             |   |           | ▲         | ▲         |             |           | ○           | ○         | -0.52     |           |         |             |  |  |  |   |   |  |  |   |       |             |  |  |   |   |  |  |   |   |       |             |  |  |   |  |   |  |  |   |       |             |  |  |   |  |  |   |  |   |       |
| 中<br>2<br>男             |   |           | ▲         |           | ○           |           |             | ○         | -0.88     |           |         |             |  |  |  |   |   |  |  |   |       |             |  |  |   |   |  |  |   |   |       |             |  |  |   |  |   |  |  |   |       |             |  |  |   |  |  |   |  |   |       |
| 中<br>2<br>女             |   |           | ▲         |           |             | ▲         |             | ○         | -1.01     |           |         |             |  |  |  |   |   |  |  |   |       |             |  |  |   |   |  |  |   |   |       |             |  |  |   |  |   |  |  |   |       |             |  |  |   |  |  |   |  |   |       |
| <p>評価委員の<br/>意見・提言</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>体力向上推進優良校の活動を、マスコミ等を通じて県民に知らせるべきではないか。</li> <li>「一校一運動」は大変素晴らしい活動なので充実させてほしいが、「運動」とするよりも鬼ごっこのような「遊び」でも良いのではないか。</li> <li>運動する子としない子の2極化が問題となっている。運動しない子が運動を好きになるための特別な方策が必要ではないか。</li> <li>運動あるいは運動後の着替え場所等、環境整備に今後も取り組んでほしい。</li> <li>「運動に親しむ習慣の育成」を体力向上に結びつけようとする卓見は評価する。その際、運動習慣が体力向上に結びつくには一定程度の時間的蓄積が必要であることから、「運動習慣」の形成・改善に成果指標を置くことが必要ではないか。</li> <li>平成23年度から10年間の体力向上推進事業においても、運動習慣の形成・改善を成果把握の基本軸に置く必要があるのではないか。特に幼少期においては、これが重要ではな</li> </ul>   |           |           |           |             |           |             |           |           |           |         |             |  |  |  |   |   |  |  |   |       |             |  |  |   |   |  |  |   |   |       |             |  |  |   |  |   |  |  |   |       |             |  |  |   |  |  |   |  |   |       |

|     |                             |
|-----|-----------------------------|
|     | いか。                         |
| 評 価 | 成果は見られるが、今後、検討・更なる取組が必要である。 |

(4) 「確かな学力」の定着

| <p>施策の目的</p>            | <p>基礎・基本を確実に身に付け、さらに、自ら学び、考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力をはぐくむ教育を推進する。</p>  |    |      |    |      |     |   |      |   |      |  |     |     |   |      |   |      |     |   |      |   |      |   |     |   |      |   |     |   |      |     |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |     |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |
|-------------------------|--|----|------|----|------|-----|---|------|---|------|--|-----|-----|---|------|---|------|-----|---|------|---|------|---|-----|---|------|---|-----|---|------|-----|---|------|---|------|---|------|---|------|---|------|---|------|---|------|---|------|-----|---|------|---|------|---|------|---|------|---|------|---|------|---|------|---|------|
| <p>施策の方向性</p>           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各地域ごとの小中高連携による公開授業や研究授業など教員の指導法の改善</li> <li>2 各学校における「基礎・基本」定着度調査及び全国学力・学習状況調査の結果等を踏まえた学力向上についてのPDCAサイクルの確立及び指導方法の改善などの推進</li> <li>3 「基礎・基本」定着度調査で各科目70%以上の正答率を目指すとともに「学校改善支援プラン」に基づく取組の推進</li> <li>4 生徒の学力向上と教員の指導力の向上を図るための「県立高校学力向上推進プロジェクト」事業に基づく取組の推進</li> </ol>   |    |      |    |      |     |   |      |   |      |  |     |     |   |      |   |      |     |   |      |   |      |   |     |   |      |   |     |   |      |     |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |     |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「基礎・基本」定着度調査結果 【正答率70%以上の科目状況・・・35.7%】<br/>(小5：国語，理科 中1：国語，英語 中2：国語)</li> <li>・過去3か年間の全国学力学習状況調査における全国平均との差の状況</li> </ul> <table border="1" data-bbox="517 891 1477 1207"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">国語</th> <th colspan="2">算数</th> <th colspan="2">国語</th> <th colspan="2">数学</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">19年</td> <td rowspan="6">小学校</td> <td>A</td> <td>+0.5</td> <td>A</td> <td>-0.5</td> <td rowspan="6">中学校</td> <td>A</td> <td>+0.8</td> <td>A</td> <td>-1.6</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>0.0</td> <td>B</td> <td>-2.2</td> <td>B</td> <td>0.0</td> <td>B</td> <td>-1.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">20年</td> <td>A</td> <td>+0.8</td> <td>A</td> <td>+0.6</td> <td>A</td> <td>-0.6</td> <td>A</td> <td>-1.7</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>-0.4</td> <td>B</td> <td>-2.6</td> <td>B</td> <td>-1.3</td> <td>B</td> <td>-1.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">21年</td> <td>A</td> <td>+1.0</td> <td>A</td> <td>-0.1</td> <td>A</td> <td>-0.9</td> <td>A</td> <td>-1.6</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>-1.2</td> <td>B</td> <td>-2.4</td> <td>B</td> <td>+0.2</td> <td>B</td> <td>-2.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「基礎・基本」定着度調査については、基本的な知識についてはおおむね定着している。</li> <li>2 平成21年度の全国学力・学習状況調査結果では、いずれの教科も全国平均の±3ポイント以内で、全体としては全国平均と同水準である。</li> <li>3 本県独自教材「鹿児島ベーシック」「鹿児島チャレンジ」の活用による学力向上の成果例がみられる。</li> <li>4 「かごしまっ子」すくすくプランの実施により、児童一人一人に教師の目が行き届き、個に応じ、よりきめ細かな指導ができるようになった。<br/>なお、ほとんどの学校の反応は、「授業につまづく児童が減った。」、「児童が授業中に発表する機会が増えた。」、「いじめなどの問題行動や不登校が減少した。」などとなっている。(常勤：95校に121人配置，非常勤：19校に22人配置)</li> <li>5 免許外教科担任の解消を図るための非常勤講師の配置等により、教科指導が充実した。(115校に145人を配置)</li> <li>6 県立高校学力向上推進プロジェクトにおける「夏トライ！グレード・アップ・ゼミ」では、異なる高校の生徒が一堂に会して学ぶことで、学習意欲や進路意欲を涵養することができた。参加した生徒の多くは、「他校の生徒との認識の違いを実感し、自分を変えるよい機会となった。」と感想を述べている。また、参加した教員からは、「板書や説明の仕方などの工夫が参考になった。」という感想が聞かれた。</li> </ol> <p>(課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「基礎・基本」定着度調査については、正答率70%以上を設定しているが、目標に達していない科目もある。<br/>また、知識を活用する能力については、全体として課題がある。</li> <li>2 平成21年度の全国学力・学習状況調査結果では、全国平均を下回る教科もある。</li> <li>3 平成21年度は平成20年度と比較して、推進校(高校13校)における公開授業への参加が減少している。</li> <li>4 大学入試問題の研究等による教員の資質向上をいかに生徒の学力向上につなげられるかが課題である。</li> </ol> <p>(今後の方向性)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本県独自教材「鹿児島ベーシック」「鹿児島チャレンジ」の内容の一層の充実</li> </ol> |    |      | 国語 |      | 算数  |   | 国語   |   | 数学   |  | 19年 | 小学校 | A | +0.5 | A | -0.5 | 中学校 | A | +0.8 | A | -1.6 | B | 0.0 | B | -2.2 | B | 0.0 | B | -1.8 | 20年 | A | +0.8 | A | +0.6 | A | -0.6 | A | -1.7 | B | -0.4 | B | -2.6 | B | -1.3 | B | -1.9 | 21年 | A | +1.0 | A | -0.1 | A | -0.9 | A | -1.6 | B | -1.2 | B | -2.4 | B | +0.2 | B | -2.8 |
|                         |  | 国語 |      | 算数 |      | 国語  |   | 数学   |   |      |  |     |     |   |      |   |      |     |   |      |   |      |   |     |   |      |   |     |   |      |     |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |     |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |
| 19年                     | 小学校  | A  | +0.5 | A  | -0.5 | 中学校 | A | +0.8 | A | -1.6 |  |     |     |   |      |   |      |     |   |      |   |      |   |     |   |      |   |     |   |      |     |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |     |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |
|                         |  | B  | 0.0  | B  | -2.2 |     | B | 0.0  | B | -1.8 |  |     |     |   |      |   |      |     |   |      |   |      |   |     |   |      |   |     |   |      |     |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |     |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |
| 20年                     |  | A  | +0.8 | A  | +0.6 |     | A | -0.6 | A | -1.7 |  |     |     |   |      |   |      |     |   |      |   |      |   |     |   |      |   |     |   |      |     |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |     |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |
|                         |  | B  | -0.4 | B  | -2.6 |     | B | -1.3 | B | -1.9 |  |     |     |   |      |   |      |     |   |      |   |      |   |     |   |      |   |     |   |      |     |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |     |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |
| 21年                     |  | A  | +1.0 | A  | -0.1 |     | A | -0.9 | A | -1.6 |  |     |     |   |      |   |      |     |   |      |   |      |   |     |   |      |   |     |   |      |     |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |     |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |
|                         |  | B  | -1.2 | B  | -2.4 |     | B | +0.2 | B | -2.8 |  |     |     |   |      |   |      |     |   |      |   |      |   |     |   |      |   |     |   |      |     |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |     |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |   |      |

|            |  |
|------------|--|
|            | <p>や、有効な活用策の普及を図っていく。</p> <p>2 高校においては、小中学校との連携を一層深めることにより教員の指導力向上を図り、生徒の学力向上に努めていく。</p> <p>3 新学習指導要領に準拠した橋渡し教材の見直しを図っていく。</p>   |
| 評価委員の意見・提言 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「かごしまっ子」すくすくプランなど少人数学級の実施や中学校免許外教科担任解消事業の取組が成果を上げており、一層の拡充を図ってほしい。</li> <li>・ 「鹿児島ベーシック」「鹿児島チャレンジ」を更に活用してほしい。そして少しでも多くの子ども達が勉強が好きになるような教材にしてほしい。</li> <li>・ 地域ごとの小中高連携の取組は、大変に重い意味を持つ。「共有された取組」が指導法改善の取組に結びついていくことをさらに期待する。</li> <li>・ 中学校数学B問題における数値の低下は、小学校算数B問題にその兆候を看取することができるならば、特に小学校期における基礎・基本の定着やA問題との関連性について分析を試みる必要があるのではないか。</li> <li>・ 中学校のスタート、高校のスタートでつまづきがないよう、基礎・基本の定着に更なる努力をお願いしたい。</li> </ul> |
| 評価         | <p>成果は見られるが、今後、検討・更なる取組が必要である。</p>   |

(5) 安全・安心な学校づくり

| <p>施策の目的</p>            | <p>児童生徒等が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり，地震などの災害発生時には地域住民の応急避難場所としての役割を果たす学校施設の耐震化を図り，その安全性を確保するとともに，児童生徒が安心して教育を受けられるよう，学校，家庭，地域の連携を深め，学校における安全管理に関する取組を一層充実させる。</p>   |         |         |         |       |     |       |       |        |    |         |         |    |    |       |       |        |        |       |        |       |    |       |       |        |    |  |     |     |      |      |                 |  |      |      |      |      |                   |  |      |      |      |      |           |           |       |       |       |       |            |       |       |       |       |             |       |       |       |       |
|-------------------------|---|---------|---------|---------|-------|-----|-------|-------|--------|----|---------|---------|----|----|-------|-------|--------|--------|-------|--------|-------|----|-------|-------|--------|----|--|-----|-----|------|------|-----------------|--|------|------|------|------|-------------------|--|------|------|------|------|-----------|-----------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|-------|-------|-------------|-------|-------|-------|-------|
| <p>施策の方向性</p>           | <p>1 大規模な地震で倒壊等の危険性のある学校施設の早期耐震化<br/>2 警察等関係機関と連携した児童生徒への安全教育の推進及び各学校の安全管理体制の整備を推進</p>  |         |         |         |       |     |       |       |        |    |         |         |    |    |       |       |        |        |       |        |       |    |       |       |        |    |  |     |     |      |      |                 |  |      |      |      |      |                   |  |      |      |      |      |           |           |       |       |       |       |            |       |       |       |       |             |       |       |       |       |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>(成果)</p> <p>1 県立学校施設及び市町村立学校施設とも，全体的な耐震化は一定幅進捗したところである。<br/>なお，特別支援学校は耐震化率100%を達成した。</p> <p>(1) 市町村立学校施設の耐震化率</p> <table border="1" data-bbox="600 889 1209 982"> <tr> <th>校種</th> <th>H21.4.1</th> <th>H22.4.1</th> <th>増減</th> </tr> <tr> <td>小・中</td> <td>61.2%</td> <td>76.9%</td> <td>+15.7%</td> </tr> </table> <p>(2) 県立学校施設の耐震化率</p> <table border="1" data-bbox="600 1072 1209 1251"> <tr> <th>校種</th> <th>H21.4.1</th> <th>H22.4.1</th> <th>増減</th> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>62.8%</td> <td>78.3%</td> <td>+15.5%</td> </tr> <tr> <td>特別支援学校</td> <td>96.5%</td> <td>100.0%</td> <td>+3.5%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>67.7%</td> <td>81.5%</td> <td>+13.8%</td> </tr> </table> <p>2 H21年5月の調査時において，学校安全計画や危機管理マニュアルは県内全ての学校で策定されている。</p> <p style="text-align: center;">安全体制の整備状況（H21.5調査）</p> <table border="1" data-bbox="552 1382 1705 1654"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>高等学校</th> <th>特別支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">学校安全計画を策定している学校</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">防犯のマニュアルを作成している学校</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">警察等との連携状況</td> <td>情報交換の場の設定</td> <td>89.7%</td> <td>95.3%</td> <td>88.5%</td> <td>26.7%</td> </tr> <tr> <td>合同パトロールの実施</td> <td>30.5%</td> <td>38.4%</td> <td>55.1%</td> <td>20.0%</td> </tr> <tr> <td>避難訓練等での講師依頼</td> <td>95.7%</td> <td>94.1%</td> <td>82.1%</td> <td>86.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(課題)</p> <p>1 市町村の一部には厳しい財政状況や小・中学校の統廃合の検討などにより，学校施設の耐震化があまり進んでいない市町村がある。<br/>2 学校安全計画や危機管理マニュアルについて，職員の理解を深めるとともに必要に応じた見直しを行う必要がある。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>1 市町村立学校の耐震化については，地震特措法などを活用し，速やかに耐震化を推進するよう，引き続き市町村に要請するとともに，地震特措法（平成22年度までの時限立法）の延長などを国へ要望していく。<br/>2 県立高校施設の耐震化については，耐震診断の結果を踏まえ，緊急性の高いものから優先的に推進する。<br/>3 定期的な安全点検や地域の情報等をもとに，危機管理マニュアルや安全点検項目の内容の見直しを図る。<br/>4 天窓を含めた校内の危険箇所については，定期的安全点検を行うとともに，不具合が認められる場合の措置，児童生徒への安全指導の徹底を図る。<br/>5 児童生徒の危険予測・回避能力を高めるため，警察等関係機関と連携した避難訓練等を実施するなど，関係機関との連携について，引き続き県立学校等を指導していく。</p> | 校種      | H21.4.1 | H22.4.1 | 増減    | 小・中 | 61.2% | 76.9% | +15.7% | 校種 | H21.4.1 | H22.4.1 | 増減 | 高校 | 62.8% | 78.3% | +15.5% | 特別支援学校 | 96.5% | 100.0% | +3.5% | 全体 | 67.7% | 81.5% | +13.8% | 項目 |  | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 特別支援 | 学校安全計画を策定している学校 |  | 100% | 100% | 100% | 100% | 防犯のマニュアルを作成している学校 |  | 100% | 100% | 100% | 100% | 警察等との連携状況 | 情報交換の場の設定 | 89.7% | 95.3% | 88.5% | 26.7% | 合同パトロールの実施 | 30.5% | 38.4% | 55.1% | 20.0% | 避難訓練等での講師依頼 | 95.7% | 94.1% | 82.1% | 86.7% |
| 校種                      | H21.4.1   | H22.4.1 | 増減      |         |       |     |       |       |        |    |         |         |    |    |       |       |        |        |       |        |       |    |       |       |        |    |  |     |     |      |      |                 |  |      |      |      |      |                   |  |      |      |      |      |           |           |       |       |       |       |            |       |       |       |       |             |       |       |       |       |
| 小・中                     | 61.2%   | 76.9%   | +15.7%  |         |       |     |       |       |        |    |         |         |    |    |       |       |        |        |       |        |       |    |       |       |        |    |  |     |     |      |      |                 |  |      |      |      |      |                   |  |      |      |      |      |           |           |       |       |       |       |            |       |       |       |       |             |       |       |       |       |
| 校種                      | H21.4.1   | H22.4.1 | 増減      |         |       |     |       |       |        |    |         |         |    |    |       |       |        |        |       |        |       |    |       |       |        |    |  |     |     |      |      |                 |  |      |      |      |      |                   |  |      |      |      |      |           |           |       |       |       |       |            |       |       |       |       |             |       |       |       |       |
| 高校                      | 62.8%   | 78.3%   | +15.5%  |         |       |     |       |       |        |    |         |         |    |    |       |       |        |        |       |        |       |    |       |       |        |    |  |     |     |      |      |                 |  |      |      |      |      |                   |  |      |      |      |      |           |           |       |       |       |       |            |       |       |       |       |             |       |       |       |       |
| 特別支援学校                  | 96.5%   | 100.0%  | +3.5%   |         |       |     |       |       |        |    |         |         |    |    |       |       |        |        |       |        |       |    |       |       |        |    |  |     |     |      |      |                 |  |      |      |      |      |                   |  |      |      |      |      |           |           |       |       |       |       |            |       |       |       |       |             |       |       |       |       |
| 全体                      | 67.7%   | 81.5%   | +13.8%  |         |       |     |       |       |        |    |         |         |    |    |       |       |        |        |       |        |       |    |       |       |        |    |  |     |     |      |      |                 |  |      |      |      |      |                   |  |      |      |      |      |           |           |       |       |       |       |            |       |       |       |       |             |       |       |       |       |
| 項目                      |   | 小学校     | 中学校     | 高等学校    | 特別支援  |     |       |       |        |    |         |         |    |    |       |       |        |        |       |        |       |    |       |       |        |    |  |     |     |      |      |                 |  |      |      |      |      |                   |  |      |      |      |      |           |           |       |       |       |       |            |       |       |       |       |             |       |       |       |       |
| 学校安全計画を策定している学校         |   | 100%    | 100%    | 100%    | 100%  |     |       |       |        |    |         |         |    |    |       |       |        |        |       |        |       |    |       |       |        |    |  |     |     |      |      |                 |  |      |      |      |      |                   |  |      |      |      |      |           |           |       |       |       |       |            |       |       |       |       |             |       |       |       |       |
| 防犯のマニュアルを作成している学校       |   | 100%    | 100%    | 100%    | 100%  |     |       |       |        |    |         |         |    |    |       |       |        |        |       |        |       |    |       |       |        |    |  |     |     |      |      |                 |  |      |      |      |      |                   |  |      |      |      |      |           |           |       |       |       |       |            |       |       |       |       |             |       |       |       |       |
| 警察等との連携状況               | 情報交換の場の設定   | 89.7%   | 95.3%   | 88.5%   | 26.7% |     |       |       |        |    |         |         |    |    |       |       |        |        |       |        |       |    |       |       |        |    |  |     |     |      |      |                 |  |      |      |      |      |                   |  |      |      |      |      |           |           |       |       |       |       |            |       |       |       |       |             |       |       |       |       |
|                         | 合同パトロールの実施  | 30.5%   | 38.4%   | 55.1%   | 20.0% |     |       |       |        |    |         |         |    |    |       |       |        |        |       |        |       |    |       |       |        |    |  |     |     |      |      |                 |  |      |      |      |      |                   |  |      |      |      |      |           |           |       |       |       |       |            |       |       |       |       |             |       |       |       |       |
|                         | 避難訓練等での講師依頼   | 95.7%   | 94.1%   | 82.1%   | 86.7% |     |       |       |        |    |         |         |    |    |       |       |        |        |       |        |       |    |       |       |        |    |  |     |     |      |      |                 |  |      |      |      |      |                   |  |      |      |      |      |           |           |       |       |       |       |            |       |       |       |       |             |       |       |       |       |
| <p>評価委員の</p>            | <p>・ 子供達の安全を守るために，学校内における危険箇所については，具体的に示し，定期</p>  |         |         |         |       |     |       |       |        |    |         |         |    |    |       |       |        |        |       |        |       |    |       |       |        |    |  |     |     |      |      |                 |  |      |      |      |      |                   |  |      |      |      |      |           |           |       |       |       |       |            |       |       |       |       |             |       |       |       |       |

|       |   |
|-------|---|
| 意見・提言 | <p>的な安全点検を校長も一緒に行うよう、徹底してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小・中学校の統廃合の検討が耐震化の阻害要因になっているとの指摘については、児童生徒の生命・安全を守るという立場から、市町村への要請や国への要望を継続的に行ってほしい。</li> </ul> |
| 評価    | <p>成果は見られるが、今後、検討・更なる取組が必要である。</p>  |

(6) 地域ぐるみでの安全・安心な環境づくり

| <p>施策の目的</p>            | <p>PTAや防犯ボランティア団体等による地域ぐるみでの安全確保の取組を推進し、児童生徒にとっての安全・安心な環境づくりに努める。</p>  |      |      |      |         |     |         |                        |      |      |      |      |      |                        |      |      |      |      |      |
|-------------------------|--|------|------|------|---------|-----|---------|------------------------|------|------|------|------|------|------------------------|------|------|------|------|------|
| <p>施策の方向性</p>           | <p>1 学校・家庭・地域・警察等の関係機関が連携した、地域全体で子どもの安全を見守る体制の整備</p>   |      |      |      |         |     |         |                        |      |      |      |      |      |                        |      |      |      |      |      |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p style="text-align: right;">【県警資料から】</p> <table border="1" data-bbox="473 576 1738 713"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H20との比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子どもへの声かけ事案発生件数(1月～12月)</td> <td>191件</td> <td>177件</td> <td>128件</td> <td>165件</td> <td>+37件</td> </tr> <tr> <td>小学生の交通事故による負傷者数(4月～3月)</td> <td>376人</td> <td>366人</td> <td>342人</td> <td>286人</td> <td>-56人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 スクールガード・リーダーの配置やスクールガードの養成により、犯罪に対する抑止効果が生まれ、事件・事故の未然防止につながっている。</li> <li>2 交通安全に対する意識の高揚が図られ、小学生の交通事故による負傷者数は減少してきている。</li> </ol> <p>(課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 関係機関との連携により、子どもへの声かけ事案は年々減少傾向にあったが、昨年は、増加した。</li> <li>2 スクールガードの構成員はPTAが主体となっており、防犯ボランティア団体等と一体となった取組は必ずしも十分に行われていない。</li> </ol> <p>(今後の方向性)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各市町村教育委員会と学校が連携して、PTAや防犯ボランティア団体等と一体となって、家庭や地域の危機意識の向上を図り、子どもを地域で守るという体制の整備・充実に取り組む。</li> </ol> |      | H18  | H19  | H20     | H21 | H20との比較 | 子どもへの声かけ事案発生件数(1月～12月) | 191件 | 177件 | 128件 | 165件 | +37件 | 小学生の交通事故による負傷者数(4月～3月) | 376人 | 366人 | 342人 | 286人 | -56人 |
|                         | H18  | H19  | H20  | H21  | H20との比較 |     |         |                        |      |      |      |      |      |                        |      |      |      |      |      |
| 子どもへの声かけ事案発生件数(1月～12月)  | 191件   | 177件 | 128件 | 165件 | +37件    |     |         |                        |      |      |      |      |      |                        |      |      |      |      |      |
| 小学生の交通事故による負傷者数(4月～3月)  | 376人   | 366人 | 342人 | 286人 | -56人    |     |         |                        |      |      |      |      |      |                        |      |      |      |      |      |
| <p>評価委員の<br/>意見・提言</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校・家庭・地域と関係機関が連携した幾重にも重なるネットワークは大変に重要と考える。登下校を中心とした子どもの生活時間を十分に反映したより有効性の高い取組や環境づくりが進展するよう願う。</li> <li>・ 企業団体も貢献しているので、更に連携を深め、子ども達の安全・安心な環境づくりを推進してほしい。</li> <li>・ 取組は充実してきていると思うが、それぞれの団体等の連携を図ってほしい。</li> </ul>  |      |      |      |         |     |         |                        |      |      |      |      |      |                        |      |      |      |      |      |
| <p>評価</p>               | <p>成果は見られるが、今後、検討・更なる取組が必要である。</p>   |      |      |      |         |     |         |                        |      |      |      |      |      |                        |      |      |      |      |      |

余 白

(7) 競技スポーツの推進

| <p>施策の目的</p>            | <p>スポーツ活動を通じた青少年の健全育成やスポーツ振興を図るため、「第2期競技力向上5か年計画(平成18~22年度)」に基づいた、競技力の維持・向上を図る。</p>   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |    |    |      |   |    |    |    |    |
|-------------------------|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|----|----|----|----|----|------|---|----|----|----|----|
| <p>施策の方向性</p>           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各競技団体や関係機関との連携</li> <li>2 指導体制の充実及び選手の育成強化の推進</li> <li>3 県民の競技力向上に関する意識の高揚</li> </ol>  |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |    |    |      |   |    |    |    |    |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <div style="text-align: center;"> <p>国民体育大会総合成績(天皇杯・皇后杯)</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>12</th> <th>13</th> <th>14</th> <th>15</th> <th>16</th> <th>17</th> <th>18</th> <th>19</th> <th>20</th> <th>21</th> <th>22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催地</td> <td>富山</td> <td>宮城</td> <td>高知</td> <td>静岡</td> <td>埼玉</td> <td>岡山</td> <td>兵庫</td> <td>秋田</td> <td>大分</td> <td>新潟</td> <td>千葉</td> </tr> <tr> <td>天皇杯順位</td> <td>3 4</td> <td>3 4</td> <td>2 7</td> <td>4 0</td> <td>3 1</td> <td>2 5</td> <td>2 9</td> <td>4 1</td> <td>2 7</td> <td>2 5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>皇后杯順位</td> <td>3 2</td> <td>3 1</td> <td>3 2</td> <td>3 1</td> <td>2 4</td> <td>1 3</td> <td>3 0</td> <td>2 8</td> <td>2 4</td> <td>2 6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="text-align: center;">←</div> <div style="text-align: center;">→</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> <div style="text-align: center;">「競技力向上5か年計画」</div> <div style="text-align: center;">「第2期競技力向上5か年計画」</div> </div> <p style="text-align: center;">過去5年間の入賞数</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>17</th> <th>18</th> <th>19</th> <th>20</th> <th>21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国体</td> <td>58</td> <td>58</td> <td>41</td> <td>58</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>高校総体</td> <td>28</td> <td>31</td> <td>26</td> <td>33</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>中学総体</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>13</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 スポーツドクター・競技団体連絡会や鹿屋体育大学でのスポーツリフレッシュセミナーにおいて、参加者から「医・科学両面からのトレーニング方法や最先端の指導法を学ぶ良い機会になった。」との意見が聞かれ、今後の指導に活かされる実践的な取組となった。</li> <li>2 強化指定を行った職場・学校等が、国体の本県得点の約9割を獲得しており成果を上げている。</li> <li>3 国体監督や中学、高校の指導者を対象とした研修会等を実施し、「指導現場に直結した研修であった。」との声が聞かれ、課題解決の良い機会となった。</li> <li>4 国体強化指定証授与式において、知事から強化指定した学校・職場等及び選手に指定証を授与し、指定選手の意識高揚を図るとともに、報道等を通して県民への周知を図ることができた。</li> <li>5 天皇杯20位台の確保を目標としており、「第2期競技力向上5か年計画」のH18年度以降では、18年度、20年度に続き、21年度も目標を達成した。</li> <li>6 国体で49種目、全国高校総体で47種目、全国中学校体育大会で14種目の入賞があった。</li> </ol> <p>(課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各競技の底辺拡大と発育・発達段階に応じたジュニア選手の育成及び指導者の養成などに努める必要がある。</li> <li>2 「第2期競技力向上5か年計画」の終了を受けて、更なる競技力向上に向けた計画の策定が必要である。</li> </ol> <p>(今後の方向性)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 H22年度に「第2期競技力向上5か年計画」の計画期間が終了することから、これまでの計画の成果と課題を踏まえ、「第3期競技力向上5か年計画」を策定し、各年度に開催される国体に対応していく。</li> <li>2 本県での次期国体を視野に入れた新たな中長期的な計画を策定し、選手の育成と指導者の養成を図る。</li> </ol> </div> | 年度  | 12  | 13  | 14  | 15  | 16  | 17  | 18  | 19  | 20 | 21 | 22 | 開催地 | 富山 | 宮城 | 高知 | 静岡 | 埼玉 | 岡山 | 兵庫 | 秋田 | 大分 | 新潟 | 千葉 | 天皇杯順位 | 3 4 | 3 4 | 2 7 | 4 0 | 3 1 | 2 5 | 2 9 | 4 1 | 2 7 | 2 5 |  | 皇后杯順位 | 3 2 | 3 1 | 3 2 | 3 1 | 2 4 | 1 3 | 3 0 | 2 8 | 2 4 | 2 6 |  | 年度 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 国体 | 58 | 58 | 41 | 58 | 49 | 高校総体 | 28 | 31 | 26 | 33 | 47 | 中学総体 | 6 | 15 | 16 | 13 | 14 |
| 年度                      | 12  | 13  | 14  | 15  | 16  | 17  | 18  | 19  | 20  | 21  | 22 |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |    |    |      |   |    |    |    |    |
| 開催地                     | 富山  | 宮城  | 高知  | 静岡  | 埼玉  | 岡山  | 兵庫  | 秋田  | 大分  | 新潟  | 千葉 |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |    |    |      |   |    |    |    |    |
| 天皇杯順位                   | 3 4   | 3 4 | 2 7 | 4 0 | 3 1 | 2 5 | 2 9 | 4 1 | 2 7 | 2 5 |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |    |    |      |   |    |    |    |    |
| 皇后杯順位                   | 3 2   | 3 1 | 3 2 | 3 1 | 2 4 | 1 3 | 3 0 | 2 8 | 2 4 | 2 6 |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |    |    |      |   |    |    |    |    |
| 年度                      | 17  | 18  | 19  | 20  | 21  |     |     |     |     |     |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |    |    |      |   |    |    |    |    |
| 国体                      | 58  | 58  | 41  | 58  | 49  |     |     |     |     |     |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |    |    |      |   |    |    |    |    |
| 高校総体                    | 28  | 31  | 26  | 33  | 47  |     |     |     |     |     |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |    |    |      |   |    |    |    |    |
| 中学総体                    | 6   | 15  | 16  | 13  | 14  |     |     |     |     |     |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |    |    |      |   |    |    |    |    |
| <p>評価委員の意見・提言</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 競技力向上については、次期国体開催に向けても、天皇杯20位以内とは言わず、1位を目指すくらいの気持ちで力を注いでほしい。</li> <li>・ 国体の得点獲得を目指すのであれば、成年種目の充実を図る必要がある。学校卒業後、社会に出てから誰もがスポーツに親しむことができる社会環境を作ってほしい。</li> </ul>   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |    |    |    |    |    |      |   |    |    |    |    |

|            |   |
|------------|---|
|            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校・高校を中心として高度の指導力とマネジメント力を持つ指導者の配置が欠かさない。指導者の配置についても中期計画を策定すべきではないか。</li> <li>・ 競技力強化＝国体の得点獲得となると、国体の種目でないスポーツは置き去りにされてしまう。県全体の競技力向上の1つの手段として国体の得点獲得を目指すというスタンスが理想ではないか。</li> <li>・ 能力のある子ども達が能力を更に伸ばせるよう、指導者の資質向上など環境整備を図ってほしい。</li> </ul> |
| <p>評 価</p> | <p>成果は見られるが、今後、検討・更なる取組が必要である。</p>  |

(8) 文化財の保存・活用

| <p>施策の目的</p>            | <p>子どもたちをはじめ、県民が郷土の歴史や身近な文化財に触れ、学び、親しむことなどにより、郷土を愛する心を醸成するとともに、郷土芸能等の担い手が育ち、文化財の活用が図られる地域づくりの展開を目指す。</p>  |        |        |        |        |    |      |        |     |     |        |    |      |
|-------------------------|---|--------|--------|--------|--------|----|------|--------|-----|-----|--------|----|------|
| <p>施策の方向性</p>           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 指定や登録等による文化財保護の推進と文化財を活用した学習の場の提供</li> <li>2 地域の郷土芸能や伝統行事等の保存・継承</li> <li>3 豊かな自然や地域の文化財等の学校教育・地域活動への活用の促進</li> </ol>  |        |        |        |        |    |      |        |     |     |        |    |      |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>(成果)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 文化財を保護するため、次のとおり指定・登録を行った。 <table border="1" data-bbox="498 707 1168 891"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成21年度</th> <th>累計・年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国指定文化財</td> <td>2件</td> <td>114件</td> </tr> <tr> <td>国登録文化財</td> <td>12件</td> <td>93件</td> </tr> <tr> <td>県指定文化財</td> <td>5件</td> <td>244件</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>2 文化財の保護については、市町村教育委員会との連携・協力をはじめ、修復等に対する助成、文化財保護指導委員による巡視などで適切になされている。</li> <li>3 学校等における文化財伝承活動については、過疎化・高齢化等により難しくなっている文化財の伝承活動の活性化を図るため、教育事務所・支所単位で具体的な取組の情報提供を行った。</li> <li>4 文化財の活用については、埋蔵文化財センターや市町村教育委員会の発掘調査現場が、学習や体験活動の場として活用されてきている。参加者からは、「身近なところに、このような遺跡があることを誇りに思った。」「出土した土器の実物を見ることができ、大昔の人々の暮らしぶりが目に浮かんだ。」などの意見が寄せられている。</li> </ol> <p>(課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 文化財の学校教育や地域活動への更なる活用を図る必要がある。</li> </ol> <p>(今後の方向性)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 文化財を適切に保存・管理するとともに、観光など幅広い活用を図る。<br/>特に学校においては、学校行事や授業などで身近な文化財や地域の歴史の活用促進に努める。</li> <li>2 上野原縄文の森については、市町村との連携・協力による情報発信に努める。<br/>また、特に来年は九州新幹線の全線開業を控えており、更に広報活動に努めるとともに、全国都市緑化かごしまフェアの協賛会場として参加するなど事業の充実を図り、利用促進に努める。</li> <li>3 博物館については、更に県民のニーズを把握するとともに、時代の要請に応じた事業の展開を図りながら、利用促進に努める。</li> </ol> | 区 分    | 平成21年度 | 累計・年度末 | 国指定文化財 | 2件 | 114件 | 国登録文化財 | 12件 | 93件 | 県指定文化財 | 5件 | 244件 |
| 区 分                     | 平成21年度  | 累計・年度末 |        |        |        |    |      |        |     |     |        |    |      |
| 国指定文化財                  | 2件  | 114件   |        |        |        |    |      |        |     |     |        |    |      |
| 国登録文化財                  | 12件   | 93件    |        |        |        |    |      |        |     |     |        |    |      |
| 県指定文化財                  | 5件  | 244件   |        |        |        |    |      |        |     |     |        |    |      |
| <p>評価委員の<br/>意見・提言</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村との連携も欠かせないものの、地域の保存会、自治会、町内会、関連NPOなどとの連携も拡大していく必要があるのではないかと。</li> <li>・ 文化財を見せるだけでは子ども達の興味を引き寄せるのは容易ではない。そこから子ども達の想像をかきたてる、あるいは歴史につながるような教育を行ってほしい。</li> <li>・ 近代化産業遺産の保存・活用も図ってほしい。</li> </ul>   |        |        |        |        |    |      |        |     |     |        |    |      |
| <p>評 価</p>              | <p>成果は見られるが、今後、検討・更なる取組が必要である。</p>  |        |        |        |        |    |      |        |     |     |        |    |      |

資 料

教育委員会の事務の点検・評価の  
対象施策に係る施策評価票

| <p>施策名</p>              | <p>(1) 生徒指導の充実 ( - )</p>   |        |        |        |        |                  |     |     |     |                        |       |     |     |                    |       |       |       |     |       |        |        |        |                        |     |       |       |       |     |       |       |       |
|-------------------------|--|--------|--------|--------|--------|------------------|-----|-----|-----|------------------------|-------|-----|-----|--------------------|-------|-------|-------|-----|-------|--------|--------|--------|------------------------|-----|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|
| <p>施策の目的</p>            | <p>学校・家庭・地域社会・関係機関等が連携し、いじめや暴力行為等の問題行動、インターネット・携帯電話の普及に伴う新たな課題の解決や不登校児童生徒の学校復帰に向けた一人一人の様々な実態に応じた支援を図る。</p>   |        |        |        |        |                  |     |     |     |                        |       |     |     |                    |       |       |       |     |       |        |        |        |                        |     |       |       |       |     |       |       |       |
| <p>施策の方向性</p>           | <p>1 生徒指導に関する教職員の資質向上<br/>                 2 総合的な相談体制の充実<br/>                 3 学校，家庭，地域社会，関係機関等の連携促進<br/>                 4 市町村教育委員会の生徒指導に関する機能強化</p>   |        |        |        |        |                  |     |     |     |                        |       |     |     |                    |       |       |       |     |       |        |        |        |                        |     |       |       |       |     |       |       |       |
| <p>主な事業等の取組</p>         | <p>1 生徒指導に関する教職員の資質向上<br/>                 (1) 経験年次に応じた資質向上（初任校研修，5年経験者研修，10年経験者研修等）<br/>                 (2) 生徒指導主任等の専門的研修「学校カウンセリング実践セミナー」（平成21年度7講座）<br/>                 2 総合的な相談体制の充実<br/>                 (1) スクールカウンセラー配置事業 [予算：28,517千円]<br/>                 専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置<br/>                 （平成21年度：中学校92校，高校10校，計102校）<br/>                 (2) いじめ問題等相談員派遣事業 [予算：2,269千円]<br/>                 小学校19校，中学校36校，県立学校43校，計98校にいじめ問題等相談員を派遣<br/>                 (3) かがしま教育ホットライン24 [予算：24,149千円]<br/>                 幼児児童生徒及び保護者への24時間の教育相談の実施<br/>                 （平成21年度 1,664回）<br/>                 (4) 高等学校不登校生等対策事業 [予算：8,847千円]<br/>                 臨床心理士又は教育カウンセラーを高校生自立支援相談員として県立高等学校13校に配置<br/>                 3 学校，家庭，地域社会，関係機関等の連携促進<br/>                 (1) スクールソーシャルワーカー実践研究事業 [予算：32,688千円]<br/>                 社会福祉等の専門家であるスクールソーシャルワーカーを配置（13市町に委託）<br/>                 (2) 子どものサポート体制整備事業 [予算：11,189千円]<br/>                 不登校等の未然防止や早期発見，対応に対する体制についての調査研究<br/>                 啓発CD-ROM「子どもとケータイ問題はじめての一步」の作成及び活用<br/>                 (3) 家庭用いじめ対策リーフレットを配布 [予算：285千円]<br/>                 (4) かがしま児童生徒健全育成サポート制度（県警との連携）<br/>                 4 市町村教育委員会の生徒指導に関する機能強化<br/>                 (1) 指導主事等会議での生徒指導に関する市町村教委指導主事への指導<br/>                 (2) 市町村教育委員会と連携した生徒指導に関する学校訪問指導</p> |        |        |        |        |                  |     |     |     |                        |       |     |     |                    |       |       |       |     |       |        |        |        |                        |     |       |       |       |     |       |       |       |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>児童生徒の問題行動等調査（平成18～20年度の文部科学省調査から）<br/>                 （本県のデータ）</p> <table border="1" data-bbox="454 2134 1682 2280"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>暴力行為件数 公立小・中・高合計</td> <td>116</td> <td>141</td> <td>177</td> </tr> <tr> <td>いじめ認知件数 公立小・中・高・特別支援合計</td> <td>1,348</td> <td>835</td> <td>532</td> </tr> <tr> <td>不登校児童生徒数 公立小・中・高合計</td> <td>2,301</td> <td>2,328</td> <td>2,472</td> </tr> </tbody> </table> <p>「学校のきまりを守っているか」に対する肯定的回答の割合<br/>                 （平成19～21年度の全国学力・学習状況調査から）</p> <table border="1" data-bbox="454 2395 1682 2529"> <thead> <tr> <th>質 問</th> <th>校種・年度</th> <th>平成19年度</th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">学校のきまりを守っているか。（本県のデータ）</td> <td>小学校</td> <td>89.9%</td> <td>89.7%</td> <td>90.6%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>88.6%</td> <td>89.9%</td> <td>91.1%</td> </tr> </tbody> </table>   |        | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 暴力行為件数 公立小・中・高合計 | 116 | 141 | 177 | いじめ認知件数 公立小・中・高・特別支援合計 | 1,348 | 835 | 532 | 不登校児童生徒数 公立小・中・高合計 | 2,301 | 2,328 | 2,472 | 質 問 | 校種・年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 学校のきまりを守っているか。（本県のデータ） | 小学校 | 89.9% | 89.7% | 90.6% | 中学校 | 88.6% | 89.9% | 91.1% |
|                         | 平成18年度   | 平成19年度 | 平成20年度 |        |        |                  |     |     |     |                        |       |     |     |                    |       |       |       |     |       |        |        |        |                        |     |       |       |       |     |       |       |       |
| 暴力行為件数 公立小・中・高合計        | 116  | 141    | 177    |        |        |                  |     |     |     |                        |       |     |     |                    |       |       |       |     |       |        |        |        |                        |     |       |       |       |     |       |       |       |
| いじめ認知件数 公立小・中・高・特別支援合計  | 1,348  | 835    | 532    |        |        |                  |     |     |     |                        |       |     |     |                    |       |       |       |     |       |        |        |        |                        |     |       |       |       |     |       |       |       |
| 不登校児童生徒数 公立小・中・高合計      | 2,301  | 2,328  | 2,472  |        |        |                  |     |     |     |                        |       |     |     |                    |       |       |       |     |       |        |        |        |                        |     |       |       |       |     |       |       |       |
| 質 問                     | 校種・年度  | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 |        |                  |     |     |     |                        |       |     |     |                    |       |       |       |     |       |        |        |        |                        |     |       |       |       |     |       |       |       |
| 学校のきまりを守っているか。（本県のデータ）  | 小学校  | 89.9%  | 89.7%  | 90.6%  |        |                  |     |     |     |                        |       |     |     |                    |       |       |       |     |       |        |        |        |                        |     |       |       |       |     |       |       |       |
|                         | 中学校  | 88.6%  | 89.9%  | 91.1%  |        |                  |     |     |     |                        |       |     |     |                    |       |       |       |     |       |        |        |        |                        |     |       |       |       |     |       |       |       |

|                        |  |
|------------------------|--|
|                        | <p>(成果)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各学校へのスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置により、「不登校生徒や保護者への定期的なカウンセリングにより、当該生徒が登校できるようになった。」「計画的かつ段階的な対応が教職員に参考になった。」「(ソーシャルワーカー等を通じ,)子育て支援センター、児童総合相談センター、保健センター、福祉事務所等との連携に努めた結果、不登校傾向が改善された。」などの成果があがったなどの声が多く出ている。</li> <li>2 「学校のきまりを守っているか」の問いに対して小中学校の90%を超える児童生徒が肯定的な回答をしており、児童生徒の規範意識は概ね良好に育まれている。</li> </ol> <p>(課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 いじめの認知件数は年々減少しているが、学校がいじめに気付いていない可能性がある。</li> <li>2 暴力行為の件数が増加傾向にある。</li> <li>3 不登校児童生徒数が増加傾向にある。</li> </ol> <p>(今後の方向性)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 暴力行為や不登校児童生徒数を減少させるため、教職員研修を中心に、児童生徒一人一人の状況に応じた取組の充実を更に図る必要がある。</li> <li>2 いじめの認知件数は減少傾向にあるが、「まだ気づいていないいじめがある」「一件でも多く発見し、一件でも多く解決する」という認識に立ち、いじめ対策を更に強化する必要がある。</li> <li>3 暴力行為やいじめなどの問題行動の解決や不登校への対応として、家庭との連携を更に深める必要がある。</li> </ol> |
| <p>評価委員の<br/>意見・提言</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめを1件でも多く発見するため、教職員の資質向上を一層図ってほしい。</li> <li>・ いじめに対する無記名アンケートは、調査方法等を工夫してほしい。</li> <li>・ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置及び関係機関との連携による成果が出ているので、更なる相談体制の充実を図るとともに、成功事例や先行事例を各学校が共有できるよう情報提供も必要ではないか。</li> <li>・ 携帯電話によるネットいじめの対策も講じているが、件数が増加するようであれば抜本的な対策を講じてほしい。</li> <li>・ 悪いことをした時の謝り方や仲直りの仕方等が教育できないか。</li> <li>・ 教職員に対する悉皆研修に位置づけられて連続的な取組がなされており、専門的研修も組み合わせられることで学校での協働的な取組が促されると思う。研修成果等が学校組織内で体系的に職員に共有されることを願う。</li> <li>・ 子ども達の生活環境もめまぐるしく変化する中、大人がなかなか気付かない問題もあるので、その問題に気付いてあげる努力をしてほしい。</li> </ul>   |
| <p>評 価</p>             | <p>著しい成果が見られる。<br/>十分な成果が見られる。</p> <p>■ 成果は見られるが、今後、検討・更なる取組が必要である。<br/>改善が必要である。</p>  |

施 策 評 価 票

【社会教育課，義務教育課，高校教育課】

|                 |   |
|-----------------|---|
| 施 策 名           | ( 2 ) 子ども読書活動の推進 ( - )  |
| 施策の目的           | 児童生徒への働きかけや年間を通じた読書活動の気運醸成等を図り，読書に親しむ子どもたちを育てる。   |
| 施策の方向性          | 1 家庭，地域，学校が連携した社会全体での取組の推進<br>2 子どもが読書に親しむ機会の提供と諸条件の整備・充実   |
| 主な事業等の取組        | <p>1 家庭，地域，学校が連携した社会全体での取組の推進</p> <p>(1) 「国民読書年」の広報啓発</p> <p>ア チラシ・リーフレット等への「国民読書年」ロゴマーク挿入</p> <p>イ 「鹿児島県の高校生が薦める本」(H22.3県立図書館作成)による高等学校関係者等への国民読書年の意識付け</p> <p>(2) 鹿児島県子ども読書活動推進連絡会議〔予算：83千円〕</p> <p>子ども読書活動の推進を図る連携・協力の具体的方策の検討，関係者間の情報交換等</p> <p>委 員 12人(図書館，学校，民間団体，行政等の読書活動関係者)</p> <p>会議開催 年2回開催(8月21日，1月15日)</p> <p>(3) 子どもの読書活動推進のための広報啓発〔予算：168千円〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの読書活動啓発リーフレットの作成，配布</li> <li>リーフレット 75,000部作成</li> <li>配 布 先 保護者(小1，中1)，学校，図書館，教育委員会等</li> </ul> <p>(4) 「市町村子ども読書活動推進計画」の策定等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 未策定市町の解消と改訂の促進</li> </ul> <p>(5) 「自ら本に手を伸ばす子ども」育成事業【県立図書館】〔予算：103千円〕</p> <p>子どもから大人へ生涯にわたる読書習慣を身に付けた，自ら本に手を伸ばす子どもの育成を目指し，図書館関係者，学校関係者，保護者，読書グループ等を対象に研修会を開催(6月3日，11月21日(計286人))</p> <p>(6) 鹿児島県図書館大会における優良図書館等表彰(11月11日)</p> <p>子どもの読書活動の推進に継続的かつ積極的に取り組み，顕著な功績のあった公共図書館(室)及び学校を毎年表彰</p> <p>ア 優良図書館：霧島市立国分図書館</p> <p>イ 優良読書活動推進校：日置市立鶴丸小学校，県立鹿屋農業高等学校</p> <p>2 子どもが読書に親しむ機会の提供と諸条件の整備・充実</p> <p>(1) 県立奄美図書館の開館(4月23日)</p> <p>(2) 「子どもの読書活動推進」支援事業【県立図書館】</p> <p>図書館(室)，学校等への講師派遣</p> |
| 成果・課題<br>今後の方向性 | <p>(成果)</p> <p>1 小学生，中学生ともに1か月あたりの平均読書冊数は全国平均を上回っている。</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>1か月あたりの平均読書冊数：小学生：18.1冊(全国8.6冊)</p> <p style="padding-left: 40px;">中学生：4.8冊(全国3.7冊)</p> <p>小学校は，2年，4年，6年を対象とした抽出調査による</p> <p>高校生：1.4冊 2年生を対象とした抽出調査による</p> </div> <p style="text-align: right;">(平成21年10月調べ)</p>   |

|                        |  |
|------------------------|--|
|                        | <p>2 「朝読み・夕読み」の実践グループ数が増加している。<br/>(H20年度 511団体 H21年度 531団体)</p> <p>3 朝の読書活動や緑陰読書, 読書週間などの取組により, 学校の読書活動の充実が図られている。<br/>(朝の読書実施状況: 小学校99.7% 中学校99.6% 高等学校86.1%)</p> <p>4 公共図書館においては, ボランティア等の活用による読み聞かせやブックスタート, 保護者を対象にした講座等, 読書活動の充実が図られている。<br/>(平成21年10月時点 ブックスタート25/45市町村(56%))</p> <p>5 合併直後の2市を除き, 「市町村子ども読書活動推進計画」が策定されるなど, 市町村単位での読書活動推進体制も整備されてきている。<br/>(平成22年3月時点 41/43市町村(95%))</p> <p>6 県立奄美図書館は平成22年3月現在, 当初予想を上回る約17万人の来館者があり, 奄美地域の拠点図書館として活用されている。</p> <p>(課題)</p> <p>1 小中学校では, 学年が進むにつれて, 本を読まない児童生徒が増える傾向がある。</p> <p>2 高校生の読書離れ(月平均の読書冊数1.5冊程度)が改善する傾向にない。その理由として, 部活動で時間がない。勉強・塾・習い事で時間がないことなどが挙げられるが, その他の要因としては, 情報収集をインターネット(PC・携帯)を通じて行うことにより, 以前と比べて本を活用しなくなっていることも挙げられている。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>1 高校生の読書の現状把握に努めるとともに, リーフレット「鹿児島の高校生が薦める本」を活用するなどして高等学校等への広報・啓発を行っていく。</p> <p>2 平成22年は「国民読書年」であることから, 県広報紙等で広報・啓発を行い, 一層の読書活動推進の気運の醸成に努めていく。</p> |
| <p>評価委員の<br/>意見・提言</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学生・中学生とも平均読書冊数が全国平均を上回っており, 特に小学生は読書活動推進の成果がでている。朝の読書活動等を更に進め, 本を読むことが習慣になればと思う。</li> <li>・ 「鹿児島の高校生が薦める本」は素晴らしい取組だと思う。小学生に学年ごとに, 学校あるいは教職員が薦める本のリーフレットを作ってはどうか。</li> <li>・ 小・中・高12年間のうち, 特に中学3年次から高校期については, 集中的な取組が必要ではないか。<br/>例えば, 「鹿児島の高校生が薦める本」の発行に加えて, 学校, 図書館, 関連団体, 出版業界, マスコミ, 県教委, 高等教育機関などが連携して週間を実施することなども考えられるのではないか。</li> <li>・ 本を読まない子に対する特別なアプローチが必要ではないか。</li> <li>・ 高校生の読書離れについては, 本格的な調査を実施し, 対策を講じる必要があるのではないか。</li> <li>・ 本を読みましようという活動だけでなく, 読んだ本について人前でその中身を発表し, ディスカッションする活動も面白いのではないか。</li> <li>・ 読書離れが言われている現在, 読書の楽しみなど興味を持てるよう, 今年の国民読書年をきっかけに推進してほしい。</li> </ul>  |
| <p>評 価</p>             | <p>著しい成果が見られる。<br/>十分な成果が見られる。</p> <p>■ 成果は見られるが, 今後, 検討・更なる取組が必要である。<br/>改善が必要である。</p>  |

| <p>施策名</p>         | <p>(3) 体力・運動能力の向上 ( - )</p>   |    |       |       |       |           |       |           |       |         |       |         |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
|--------------------|---|----|-------|-------|-------|-----------|-------|-----------|-------|---------|-------|---------|---|---|--|--|--|--|--|--|--|--|-------|---|---|--|--|--|--|--|--|--|--|-------|---|---|--|--|--|--|--|--|--|--|-------|---|---|--|--|--|--|--|--|--|--|-------|
| <p>施策の目的</p>       | <p>生涯にわたって運動に親しむ習慣の育成や、低下傾向にある児童生徒の体力・運動能力の向上を図る。</p>   |    |       |       |       |           |       |           |       |         |       |         |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| <p>施策の方向性</p>      | <p>1 学校体育の充実による、生涯にわたって積極的に体を動かすことやスポーツに親しむ習慣の育成<br/>2 体力テスト等の結果を活用した体力・運動能力の向上<br/>3 24年度からの武道等の必修化に伴い、教育活動が円滑に実施されるための取組の充実</p>   |    |       |       |       |           |       |           |       |         |       |         |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| <p>主な事業等の取組</p>    | <p>1 学校体育の充実による、生涯にわたって積極的に体を動かすことやスポーツに親しむ習慣の育成<br/>(1) 「たくましい体・強い心」子ども育成推進事業の推進<br/>・ 小中学校における体力づくり「一校一運動」の取組<br/>(2) 研究推進協力校を指定し、体力向上の取組方策の研究(小学校1校,中学校1校)<br/>(3) 体力向上推進優良校の表彰(小学校3校,中学校2校)<br/>(4) 教職員の指導力向上を図るための実技研修会,講習会等の開催<br/>・ 短期研修会,地域スポーツ人材の活用実践支援事業(小学校高学年体育授業での活用)等<br/>(5) 運動部活動の活性化<br/>・ スポーツリフレッシュセミナー,学校体育競技力向上対策事業,地域スポーツ人材の活用実践支援事業(中・高等学校運動部活動での活用)等<br/>2 体力テスト等の結果を活用した体力・運動能力の向上<br/>(1) 体力・運動能力調査を集計・分析し,各学校の体力向上等の取組への活用<br/>(2) ホームページに体力・運動能力診断プログラム「体力ナビ」を掲載し,活用促進<br/>(3) 体力向上に関するリーフレット等の作成及び配布<br/>3 24年度からの武道等の必修化に伴い,教育活動が円滑に実施されるための取組の充実<br/>(1) 中学校武道等地域連携推進事業の推進<br/>・ 3市1町の8中学校における新学習指導要領の趣旨を踏まえた武道授業の研究及び地域の指導者を活用した授業実践<br/>・ 中学校武道等地域連携推進事業協力者会議の開催<br/>・ 中学校の体育担当者を対象とした武道・ダンス研修会の開催(68名の参加)<br/>(2) 学習指導要領の改訂内容の資料作成及び諸会議における周知徹底</p>   |    |       |       |       |           |       |           |       |         |       |         |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| <p>成果・課題今後の方向性</p> | <p>各種目の全国平均値との比較 Tスコア50以上: 49未満: 49~50未満: 空欄<br/>(Tスコア50が全国平均)(H21全国体力・運動能力運動習慣等調査結果より)</p> <table border="1" data-bbox="467 1986 1754 2263"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>握力</th> <th>上体起こし</th> <th>長座体前屈</th> <th>反復横とび</th> <th>20mシャトルラン</th> <th>50m走</th> <th>立ち幅とび</th> <th>ボール投げ</th> <th>体力合計点の差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小</td> <td>男</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-0.79</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>女</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-0.52</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>男</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-0.88</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>女</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1.01</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果)<br/>1 すべての小中学校において,体力づくり「一校一運動」が引き続き実施されている。<br/>2 研究推進協力校や体力向上推進優良校の取組を紹介することで,各学校で,教科体育や教科外体育の充実について研究が深められ,体力向上への意識啓発がなされた。</p> |    |       | 握力    | 上体起こし | 長座体前屈     | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走  | 立ち幅とび   | ボール投げ | 体力合計点の差 | 小 | 男 |  |  |  |  |  |  |  |  | -0.79 | 5 | 女 |  |  |  |  |  |  |  |  | -0.52 | 中 | 男 |  |  |  |  |  |  |  |  | -0.88 | 2 | 女 |  |  |  |  |  |  |  |  | -1.01 |
|                    |   | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走  | 立ち幅とび     | ボール投げ | 体力合計点の差 |       |         |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 小                  | 男   |    |       |       |       |           |       |           |       | -0.79   |       |         |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 5                  | 女   |    |       |       |       |           |       |           |       | -0.52   |       |         |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 中                  | 男   |    |       |       |       |           |       |           |       | -0.88   |       |         |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 2                  | 女   |    |       |       |       |           |       |           |       | -1.01   |       |         |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |       |

|                   |  |
|-------------------|--|
|                   | <p>3 各種研修会等において、体力・運動能力の向上に関する効果的な指導方法などについて研修を受けることにより、教職員の指導力の向上が図られた。</p> <p>4 本県の児童生徒の体力は、「たくましい体・強い心」子ども育成推進事業が始まった平成13年度と比較した場合、体力テストの8種目中、男子で5種目、女子で7種目が向上している。</p> <p>(課題)</p> <p>1 すべての学校において「一校一運動」は取り組まれているが、学校間の温度差が見受けられる。</p> <p>2 平成21年度の全国の平均値と比較すると、ボール投げ(投力、巧緻性)は、優れているものの、長座体前屈(柔軟性)、反復横とび(敏捷性)は劣っている。</p> <p>3 平成24年度からの武道・ダンスの必修化に向けた設備等の計画的な整備が必要である。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>1 「一校一運動」等の効果的な取組の啓発等を行い、引き続き、児童生徒の体力・運動能力の向上を図っていく。</p> <p>2 武道・ダンスの必修化に伴い、学習環境の整備、教職員の指導力の向上を計画的に推進していく。</p> <p>3 平成23年度から向こう10年間を見据えた新規の体力向上推進事業を策定する。</p> |
| <p>評価委員の意見・提言</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体力向上推進優良校の活動を、マスコミ等を通じて県民に知らせるべきではないか。</li> <li>・ 「一校一運動」は大変素晴らしい活動なので充実させてほしいが、「運動」とするよりも鬼ごっこのような「遊び」でも良いのではないか。</li> <li>・ 運動する子としない子の2極化が問題となっている。運動しない子が運動を好きになるための特別な方策が必要ではないか。</li> <li>・ 運動あるいは運動後の着替え場所等、環境整備に今後も取り組んでほしい。</li> <li>・ 「運動に親しむ習慣の育成」を体力向上に結びつけようとする卓見は評価する。その際、運動習慣が体力向上に結びつくには一定程度の時間的蓄積が必要であることから、「運動習慣」の形成・改善に成果指標を置くことが必要ではないか。</li> <li>・ 平成23年度から10年間の体力向上推進事業においても、運動習慣の形成・改善を成果把握の基本軸に置く必要があるのではないか。特に幼少期においては、これが重要ではないか。</li> </ul>   |
| <p>評価</p>         | <p>著しい成果が見られる。<br/>十分な成果が見られる。</p> <p>■ 成果は見られるが、今後、検討・更なる取組が必要である。<br/>改善が必要である。</p>  |

施 策 評 価 票

【義務教育課，高校教育課，教職員課】

|                 |   |
|-----------------|---|
| 施 策 名           | ( 4 ) 「確かな学力」の定着 ( - )  |
| 施 策 の 目 的       | 基礎・基本を確実に身に付け，さらに，自ら学び，考え，主体的に判断し，行動し，よりよく問題を解決する能力をはぐくむ教育を推進する。  |
| 施 策 の 方 向 性     | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各地域ごとの小中高連携による公開授業や研究授業など教員の指導法の改善</li> <li>2 各学校における「基礎・基本」定着度調査及び全国学力・学習状況調査の結果等を踏まえた学力向上についてのP D C Aサイクルの確立及び指導方法の改善などの推進</li> <li>3 「基礎・基本」定着度調査で各科目70%以上の正答率を目指すとともに，「学校改善支援プラン」に基づく取組の推進</li> <li>4 生徒の学力向上と教員の指導力の向上を図るための「県立高校学力向上推進プロジェクト」事業に基づく取組の推進</li> </ol>  |
| 主 な 事 業 等 の 取 組 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各地域ごとの小中高連携による公開授業や研究授業など教員の指導法の改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>小・高との教科等連絡会を実施した中学校の割合<br/>[小・中：97.7%，中・高：78.1%，小・中・高：76.2%]</li> </ul> </li> <li>2 各学校における「基礎・基本」定着度調査及び全国学力・学習状況調査結果等を踏まえた学力向上についてのP D C Aサイクルの確立及び指導方法の改善などの推進 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「基礎・基本」定着度調査及び全国学力・学習状況調査の結果等を分析するとともに，学力向上のための施策や学習指導のあり方等についての課題や改善方策を提示 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国学力・学習状況調査結果の活用状況・・・100%</li> </ul> </li> <li>(2) 少人数学級の実施 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 「かごしまっ子」すくすくプラン [ 予算：80,020千円 ]<br/>小学校1・2学年で，児童数36人以上の学校に教員を増配置して30人以下学級を実施，児童数31人以上35人以下の学校に非常勤講師を増配置してティームティーチング指導等を実施</li> <li>イ 少人数指導等の充実<br/>指導方法工夫改善加配教員を配置し，少人数指導，習熟度別指導，ティームティーチングなどきめ細かな指導を実施</li> </ol> </li> <li>(3) 中学校の学力向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校免許外教科担任解消事業 [ 予算：70,468千円 ]<br/>教員配置上，免許外教科担任が生じるへき地等の小規模中学校において，免許外教科担任の解消を図るため非常勤講師を配置</li> </ul> </li> <li>(4) 新学習指導要領への円滑な移行 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校英語教育支援事業 [ 予算：14,951千円 ]<br/>英語に精通した地域人材の地域の拠点となる推進校への配置等</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>3 「基礎・基本」定着度調査で各科目70%以上の正答率を目指すとともに，「学校改善支援プラン」に基づく取組の推進 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学力調査活用等アクションプラン推進事業 [ 予算：7,428千円 ]</li> <li>(2) 中学校学力向上総合プラン [ 予算：2,344千円 ]</li> <li>(3) 鹿児島ベーシック（中学校用），鹿児島チャレンジ（小学校用）の作成</li> </ol> </li> </ol> |

- ・活用（平成19～22年度）
- (4) 「家庭学習60・90運動」の推進
- 4 生徒の学力向上と教員の指導力の向上を図るための「県立高校学力向上推進プロジェクト」事業に基づく取組の推進
  - (1) 「県立高校学力向上推進プロジェクト」事業 [ 予算：6,550千円 ]
  - (2) 学力向上推進委員の各種研修（大学入試問題の研究等）の実施（年間5回）
  - (3) 「夏トライ！グレード・アップ・ゼミ」の開催（参加生徒308人，教職員107人）
  - (4) 小中高連携による教科研究（中高橋渡し教材の作成等）及び公開授業の開催（推進校：高校13校）

成果・課題  
今後の方向性

- ・「基礎・基本」定着度調査結果 【正答率70%以上の科目状況・・・35.7%】  
（小5：国語，理科 中1：国語，英語 中2：国語）
- ・過去3か年間の全国学力学習状況調査における全国平均との差の状況

|     |     | 国語     |        | 算数  |        | 国語     |     | 数学     |        |
|-----|-----|--------|--------|-----|--------|--------|-----|--------|--------|
| 19年 | 小学校 | A +0.5 | A -0.5 | 中学校 | A +0.8 | A -1.6 | 中学校 | A +0.8 | A -1.6 |
|     |     | B 0.0  | B -2.2 |     | B 0.0  | B -1.8 |     |        |        |
| 20年 |     | A +0.8 | A +0.6 |     | A -0.6 | A -1.7 |     |        |        |
|     |     | B -0.4 | B -2.6 |     | B -1.3 | B -1.9 |     |        |        |
| 21年 |     | A +1.0 | A -0.1 |     | A -0.9 | A -1.6 |     |        |        |
|     |     | B -1.2 | B -2.4 |     | B +0.2 | B -2.8 |     |        |        |

（成果）

- 1 「基礎・基本」定着度調査については，基本的な知識についてはおおむね定着している。
- 2 平成21年度の全国学力・学習状況調査結果では，いずれの教科も全国平均の±3ポイント以内で，全体としては全国平均と同水準である。
- 3 本県独自教材「鹿児島ベーシック」「鹿児島チャレンジ」の活用による学力向上の成果例がみられる。
- 4 「かごしまっ子」すくすくプランの実施により，児童一人一人に教師の目が行き届き，個に応じ，よりきめ細かな指導ができるようになった。  
なお，ほとんどの学校の反応は，「授業につまづく児童が減った。」，「児童が授業中に発表する機会が増えた。」，「いじめなどの問題行動や不登校が減少した。」などとなっている。（常勤：95校に121人配置，非常勤：19校に22人配置）
- 5 免許外教科担任の解消を図るための非常勤講師の配置等により，教科指導が充実した。（115校に145人を配置）
- 6 県立高校学力向上推進プロジェクトにおける「夏トライ！グレード・アップ・ゼミ」では，異なる高校の生徒が一堂に会して学ぶことで，学習意欲や進路意欲を涵養することができた。参加した生徒の多くは，「他校の生徒との認識の違いを実感し，自分を変えるよい機会となった。」と感想を述べている。また，参加した教員からは，「板書や説明の仕方などの工夫が参考になった。」という感想が聞かれた。

（課題）

- 1 「基礎・基本」定着度調査については，正答率70%以上を設定しているが，目標に達していない科目もある。また，知識を活用する能力については，全体として課題がある。
- 2 平成21年度の全国学力・学習状況調査結果では，全国平均を下回る教科

|                        |  |
|------------------------|--|
|                        | <p>もある。</p> <p>3 平成21年度は平成20年度と比較して，推進校（高校13校）における公開授業への参加が減少している。</p> <p>4 大学入試問題の研究等による教員の資質向上をいかに生徒の学力向上につなげられるかが課題である。</p> <p>（今後の方向性）</p> <p>1 本県独自教材「鹿児島ベーシック」「鹿児島チャレンジ」の内容の一層の充実や，有効な活用策の普及を図っていく。</p> <p>2 高校においては，小中学校との連携を一層深めることにより教員の指導力向上を図り，生徒の学力向上に努めていく。</p> <p>3 新学習指導要領に準拠した橋渡し教材の見直しを図っていく。</p>   |
| <p>評価委員の<br/>意見・提言</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「かごしまっ子」すくすくプランなど少人数学級の実施や中学校免許外教科担任解消事業の取組が成果を上げており，一層の拡充を図ってほしい。</li> <li>・ 「鹿児島ベーシック」「鹿児島チャレンジ」を更に活用してほしい。そして少しでも多くの子ども達が勉強が好きになるような教材にしてほしい。</li> <li>・ 地域ごとの小中高連携の取組は，大変に重い意味を持つ。「共有された取組」が指導法改善の取組に結びついていくことをさらに期待する。</li> <li>・ 中学校数学B問題における数値の低下は，小学校算数B問題にその兆候を看取することができるならば，特に小学校期における基礎・基本の定着やA問題との関連性について分析を試みる必要があるのではないか。</li> <li>・ 中学校のスタート，高校のスタートでつまづきがないよう，基礎・基本の定着に更なる努力をお願いしたい。</li> </ul> |
| <p>評 価</p>             | <p>著しい成果が見られる。</p> <p>十分な成果が見られる。</p> <p>■ 成果は見られるが，今後，検討・更なる取組が必要である。<br/>改善が必要である。</p>   |

余 白

施策評価票

【学校施設課，保健体育課】

| <p>施策名</p>         | <p>(5) 安全・安心な学校づくり( - )</p>   |             |            |           |    |     |       |           |        |           |         |         |             |      |       |       |         |          |       |        |         |          |       |          |         |          |      |
|--------------------|---|-------------|------------|-----------|----|-----|-------|-----------|--------|-----------|---------|---------|-------------|------|-------|-------|---------|----------|-------|--------|---------|----------|-------|----------|---------|----------|------|
| <p>施策の目的</p>       | <p>児童生徒等が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり，地震などの災害発生時には地域住民の応急避難場所としての役割を果たす学校施設の耐震化を図り，その安全性を確保するとともに，児童生徒が安心して教育を受けられるよう，学校，家庭，地域の連携を深め，学校における安全管理に関する取組を一層充実させる。</p>   |             |            |           |    |     |       |           |        |           |         |         |             |      |       |       |         |          |       |        |         |          |       |          |         |          |      |
| <p>施策の方向性</p>      | <p>1 大規模な地震で倒壊等の危険性のある学校施設の早期耐震化<br/>2 警察等関係機関と連携した児童生徒への安全教育の推進及び各学校の安全管理体制の整備を推進</p>  |             |            |           |    |     |       |           |        |           |         |         |             |      |       |       |         |          |       |        |         |          |       |          |         |          |      |
| <p>主な事業等の取組</p>    | <p>1 大規模な地震で倒壊等の危険性のある学校施設の早期耐震化<br/>(1) 市町村立学校施設の耐震化促進<br/>大規模な地震で倒壊等の危険性のある施設について，地震防災対策特別措置法による補助をはじめ国の補正予算や臨時交付金などを活用し，速やかに耐震化を推進するよう市町村に要請した。<br/>また，全市町村に対し個別ヒアリングを実施し，耐震診断や耐震補強工事の実施について指導した。<br/>(2) 県立学校施設の耐震化推進[予算：1,910,327千円]<br/>国の補正予算や臨時交付金を活用し，耐震診断の結果，緊急性の高いものから優先的に耐震化を推進したところである。</p> <table border="1" data-bbox="527 1251 1740 1525"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">平成21年度(実績)</th> </tr> <tr> <th>県立高校</th> <th>21 補正後予算額</th> <th>特別支援学校</th> <th>21 補正後予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震補強等工事</td> <td>18校 21棟</td> <td>1,727,601千円</td> <td>1校1棟</td> <td rowspan="4">683千円</td> </tr> <tr> <td>耐震診断</td> <td>56校149棟</td> <td>76,653千円</td> <td>1校1棟</td> </tr> <tr> <td>補強計画</td> <td>16校 22棟</td> <td>53,446千円</td> <td>1校1棟</td> </tr> <tr> <td>耐震補強実施設計</td> <td>15校 16棟</td> <td>51,944千円</td> <td>1校1棟</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 警察等関係機関と連携した児童生徒への安全教育の推進及び各学校の安全管理体制の整備を推進<br/>(1) 「学校安全計画」の策定や「危機管理マニュアル」の作成などにより，各学校の安全体制を整備<br/>(2) 防犯教室や避難訓練等の実施により，児童生徒に危険予測・回避能力を身に付けさせる安全教育を推進<br/>(3) 警察等と連携し，不審者情報等児童生徒の安全に関する情報を共有し，事件・事故や自然災害からの安全の確保</p> |             | 平成21年度(実績) |           |    |     | 県立高校  | 21 補正後予算額 | 特別支援学校 | 21 補正後予算額 | 耐震補強等工事 | 18校 21棟 | 1,727,601千円 | 1校1棟 | 683千円 | 耐震診断  | 56校149棟 | 76,653千円 | 1校1棟  | 補強計画   | 16校 22棟 | 53,446千円 | 1校1棟  | 耐震補強実施設計 | 15校 16棟 | 51,944千円 | 1校1棟 |
|                    | 平成21年度(実績)  |             |            |           |    |     |       |           |        |           |         |         |             |      |       |       |         |          |       |        |         |          |       |          |         |          |      |
|                    | 県立高校  | 21 補正後予算額   | 特別支援学校     | 21 補正後予算額 |    |     |       |           |        |           |         |         |             |      |       |       |         |          |       |        |         |          |       |          |         |          |      |
| 耐震補強等工事            | 18校 21棟   | 1,727,601千円 | 1校1棟       | 683千円     |    |     |       |           |        |           |         |         |             |      |       |       |         |          |       |        |         |          |       |          |         |          |      |
| 耐震診断               | 56校149棟   | 76,653千円    | 1校1棟       |           |    |     |       |           |        |           |         |         |             |      |       |       |         |          |       |        |         |          |       |          |         |          |      |
| 補強計画               | 16校 22棟   | 53,446千円    | 1校1棟       |           |    |     |       |           |        |           |         |         |             |      |       |       |         |          |       |        |         |          |       |          |         |          |      |
| 耐震補強実施設計           | 15校 16棟   | 51,944千円    | 1校1棟       |           |    |     |       |           |        |           |         |         |             |      |       |       |         |          |       |        |         |          |       |          |         |          |      |
| <p>成果・課題今後の方向性</p> | <p>(成果)<br/>1 県立学校施設及び市町村立学校施設とも，全体的な耐震化は一定幅進捗したところである。なお，特別支援学校は耐震化率100%を達成した。<br/>(1) 市町村立学校施設の耐震化率</p> <table border="1" data-bbox="585 2170 1199 2266"> <thead> <tr> <th>校種</th> <th>H21.4.1</th> <th>H22.4.1</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小・中</td> <td>61.2%</td> <td>76.9%</td> <td>+15.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 県立学校施設の耐震化率</p> <table border="1" data-bbox="585 2354 1199 2540"> <thead> <tr> <th>校種</th> <th>H21.4.1</th> <th>H22.4.1</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高校</td> <td>62.8%</td> <td>78.3%</td> <td>+15.5%</td> </tr> <tr> <td>特別支援学校</td> <td>96.5%</td> <td>100.0%</td> <td>+3.5%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>67.7%</td> <td>81.5%</td> <td>+13.8%</td> </tr> </tbody> </table>   | 校種          | H21.4.1    | H22.4.1   | 増減 | 小・中 | 61.2% | 76.9%     | +15.7% | 校種        | H21.4.1 | H22.4.1 | 増減          | 高校   | 62.8% | 78.3% | +15.5%  | 特別支援学校   | 96.5% | 100.0% | +3.5%   | 全体       | 67.7% | 81.5%    | +13.8%  |          |      |
| 校種                 | H21.4.1   | H22.4.1     | 増減         |           |    |     |       |           |        |           |         |         |             |      |       |       |         |          |       |        |         |          |       |          |         |          |      |
| 小・中                | 61.2%   | 76.9%       | +15.7%     |           |    |     |       |           |        |           |         |         |             |      |       |       |         |          |       |        |         |          |       |          |         |          |      |
| 校種                 | H21.4.1   | H22.4.1     | 増減         |           |    |     |       |           |        |           |         |         |             |      |       |       |         |          |       |        |         |          |       |          |         |          |      |
| 高校                 | 62.8%   | 78.3%       | +15.5%     |           |    |     |       |           |        |           |         |         |             |      |       |       |         |          |       |        |         |          |       |          |         |          |      |
| 特別支援学校             | 96.5%   | 100.0%      | +3.5%      |           |    |     |       |           |        |           |         |         |             |      |       |       |         |          |       |        |         |          |       |          |         |          |      |
| 全体                 | 67.7%   | 81.5%       | +13.8%     |           |    |     |       |           |        |           |         |         |             |      |       |       |         |          |       |        |         |          |       |          |         |          |      |

- 2 H21年5月の調査時において、学校安全計画や危機管理マニュアルは県内全ての学校で策定されている。

安全体制の整備状況（H21.5調査）

| 項 目               |             | 小学校   | 中学校   | 高等学校  | 特別支援  |
|-------------------|-------------|-------|-------|-------|-------|
| 学校安全計画を策定している学校   |             | 100%  | 100%  | 100%  | 100%  |
| 防犯のマニュアルを作成している学校 |             | 100%  | 100%  | 100%  | 100%  |
| 警察等との連携状況         | 情報交換の場の設定   | 89.7% | 95.3% | 88.5% | 26.7% |
|                   | 合同パトロールの実施  | 30.5% | 38.4% | 55.1% | 20.0% |
|                   | 避難訓練等での講師依頼 | 95.7% | 94.1% | 82.1% | 86.7% |

（課題）

- 1 市町村の一部には厳しい財政状況や小・中学校の統廃合の検討などにより、学校施設の耐震化があまり進んでいない市町村がある。
- 2 学校安全計画や危機管理マニュアルについて、職員の理解を深めるとともに必要に応じた見直しを行う必要がある。

（今後の方向性）

- 1 市町村立学校の耐震化については、地震特措法などを活用し、速やかに耐震化を推進するよう、引き続き市町村に要請するとともに、地震特措法（平成22年度までの時限立法）の延長などを国へ要望していく。
- 2 県立高校施設の耐震化については、耐震診断の結果を踏まえ、緊急性の高いものから優先的に推進する。
- 3 定期的な安全点検や地域の情報等をもとに、危機管理マニュアルや安全点検項目の内容の見直しを図る。
- 4 天窓を含めた校内の危険箇所については、定期的安全点検を行うとともに、不具合が認められる場合の措置、児童生徒への安全指導の徹底を図る。
- 5 児童生徒の危険予測・回避能力を高めるため、警察等関係機関と連携した避難訓練等を実施するなど、関係機関との連携について、引き続き県立学校等を指導していく。

評価委員の意見・提言

- ・ 子供達の安全を守るために、学校内における危険箇所については、具体的に示し、定期的な安全点検を校長も一緒に行うよう、徹底してほしい。
- ・ 小・中学校の統廃合の検討が耐震化の阻害要因になっているとの指摘については、児童生徒の生命・安全を守るという立場から、市町村への要請や国への要望を継続的に行ってほしい。

評 価

- 著しい成果が見られる。  
 十分な成果が見られる。  
 ■ 成果は見られるが、今後、検討・更なる取組が必要である。  
 改善が必要である。

| 施策名                    | (6) 地域ぐるみでの安全・安心な環境づくり( - )   |      |      |      |         |     |         |                        |      |      |      |      |       |                        |      |      |      |      |      |
|------------------------|---|------|------|------|---------|-----|---------|------------------------|------|------|------|------|-------|------------------------|------|------|------|------|------|
| 施策の目的                  | P T A や防犯ボランティア団体等による地域ぐるみでの安全確保の取組を推進し，児童生徒にとっての安全・安心な環境づくりに努める。   |      |      |      |         |     |         |                        |      |      |      |      |       |                        |      |      |      |      |      |
| 施策の方向性                 | 1 学校・家庭・地域・警察等の関係機関が連携した，地域全体で子どもの安全を見守る体制の整備   |      |      |      |         |     |         |                        |      |      |      |      |       |                        |      |      |      |      |      |
| 主な事業等の取組               | <p>1 学校・家庭・地域・警察等の関係機関が連携した，地域全体で子どもの安全を見守る体制の整備</p> <p>(1) 地域ぐるみ学校安全体制推進事業〔予算15,945千円〕</p> <p style="padding-left: 20px;">地域ボランティア等を中心とした通学路等における安全・安心の確保</p> <p style="padding-left: 20px;">ア スクールガード・リーダーの配置</p> <p style="padding-left: 40px;">警察官O B等からなるスクールガード・リーダー90人を小学校546校に配置</p> <p style="padding-left: 20px;">イ スクールガードの養成</p> <p style="padding-left: 40px;">通学路における子どもの見守り活動を行うスクールガードの養成講習会開催</p> <p style="padding-left: 40px;">県下12地区 15会場 1,434人参加</p> <p>(2) 走る子ども110番事業</p> <p style="padding-left: 20px;">県公用車への「走る子ども110番」のマグネットシート装着の継続</p> <p>(3) 各学校において，スクールガード・リーダーや警察等と連携した「安全マップ」の見直しと活用</p>   |      |      |      |         |     |         |                        |      |      |      |      |       |                        |      |      |      |      |      |
| 成果・課題<br>今後の方向性        | <p style="text-align: right;">【県警資料から】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H20との比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子どもへの声かけ事案発生件数(1月～12月)</td> <td>191件</td> <td>177件</td> <td>128件</td> <td>165件</td> <td>+ 37件</td> </tr> <tr> <td>小学生の交通事故による負傷者数(4月～3月)</td> <td>376人</td> <td>366人</td> <td>342人</td> <td>286人</td> <td>-56人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果)</p> <p>1 スクールガード・リーダーの配置やスクールガードの養成により，犯罪に対する抑止効果が生まれ，事件・事故の未然防止につながっている。</p> <p>2 交通安全に対する意識の高揚が図られ，小学生の交通事故による負傷者数は減少してきている。</p> <p>(課題)</p> <p>1 関係機関との連携により，子どもへの声かけ事案は年々減少傾向にあったが，昨年は，増加した。</p> <p>2 スクールガードの構成員は P T A が主体となっており，防犯ボランティア団体等と一体となった取組は必ずしも十分に行われていない。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p style="padding-left: 20px;">各市町村教育委員会と学校が連携して，P T A や防犯ボランティア団体等と一体となって，家庭や地域の危機意識の向上を図り，子どもを地域で守るという体制の整備・充実に取り組む。</p> |      | H18  | H19  | H20     | H21 | H20との比較 | 子どもへの声かけ事案発生件数(1月～12月) | 191件 | 177件 | 128件 | 165件 | + 37件 | 小学生の交通事故による負傷者数(4月～3月) | 376人 | 366人 | 342人 | 286人 | -56人 |
|                        | H18   | H19  | H20  | H21  | H20との比較 |     |         |                        |      |      |      |      |       |                        |      |      |      |      |      |
| 子どもへの声かけ事案発生件数(1月～12月) | 191件  | 177件 | 128件 | 165件 | + 37件   |     |         |                        |      |      |      |      |       |                        |      |      |      |      |      |
| 小学生の交通事故による負傷者数(4月～3月) | 376人  | 366人 | 342人 | 286人 | -56人    |     |         |                        |      |      |      |      |       |                        |      |      |      |      |      |

|                        |  |
|------------------------|--|
| <p>評価委員の<br/>意見・提言</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校・家庭・地域と関係機関が連携した幾重にも重なるネットワークは大変に重要と考える。登下校を中心とした，子どもの生活時間を十分に反映したより有効性の高い取組や環境づくりが進展するよう願う。</li> <li>・ 企業団体も貢献しているので，更に連携を深め，子ども達の安全・安心な環境づくりを推進してほしい。</li> <li>・ 取組は充実してきていると思うが，それぞれの団体等の連携を図ってほしい。</li> </ul> |
| <p>評 価</p>             | <p>著しい成果が見られる。<br/>十分な成果が見られる。</p> <p>■ 成果は見られるが，今後，検討・更なる取組が必要である。<br/>改善が必要である。</p>  |



|                   |   |
|-------------------|---|
|                   | <p>2 強化指定を行った職場・学校等が、国体の本県得点の約9割を獲得しており成果を上げている。</p> <p>3 国体監督や中学、高校の指導者を対象とした研修会等を実施し、「指導現場に直結した研修であった。」との声が聞かれ、課題解決の良い機会となった。</p> <p>4 国体強化指定証授与式において、知事から強化指定した学校・職場等及び選手に指定証を授与し、指定選手の意識高揚を図るとともに、報道等を通して県民への周知を図ることができた。</p> <p>5 天皇杯20位台の確保を目標としており、「第2期競技力向上5か年計画」のH18年度以降では、18年度、20年度に続き、21年度も目標を達成した。</p> <p>6 国体で49種目、全国高校総体で47種目、全国中学校体育大会で14種目の入賞があった。</p> <p>(課題)</p> <p>1 各競技の底辺拡大と発育・発達段階に応じたジュニア選手の育成及び指導者の養成などに努める必要がある。</p> <p>2 「第2期競技力向上5か年計画」の終了を受けて、更なる競技力向上に向けた計画の策定が必要である。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>1 H22年度に「第2期競技力向上5か年計画」の計画期間が終了することから、これまでの計画の成果と課題を踏まえ、「第3期競技力向上5か年計画」を策定し、各年度に開催される国体に対応していく。</p> <p>2 本県での次期国体を視野に入れた新たな中長期的な計画を策定し、選手の育成と指導者の養成を図る。</p> |
| <p>評価委員の意見・提言</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 競技力向上については、次期国体開催に向けても、天皇杯20位以内とは言わず、1位を目指すくらいの気持ちで力を注いでほしい。</li> <li>・ 国体の得点獲得を目指すのであれば、成年種目の充実を図る必要がある。学校卒業後、社会に出てから誰もがスポーツに親しむことができる社会環境を作してほしい。</li> <li>・ 中学校・高校を中心として高度の指導力とマネジメント力を持つ指導者の配置が欠かせない。指導者の配置についても中期計画を策定すべきではないか。</li> <li>・ 競技力強化＝国体の得点獲得となると、国体の種目にはないスポーツは置き去りにされてしまう。県全体の競技力向上の1つの手段として国体の得点獲得を目指すというスタンスが理想ではないか。</li> <li>・ 能力のある子ども達が能力を更に伸ばせるよう、指導者の資質向上など環境整備を図ってほしい。</li> </ul>   |
| <p>評価</p>         | <p>著しい成果が見られる。<br/>十分な成果が見られる。</p> <p>■ 成果は見られるが、今後、検討・更なる取組が必要である。<br/>改善が必要である。</p>   |

|                 |   |
|-----------------|---|
| <p>施策名</p>      | <p>(8) 文化財の保存・活用 ( - )</p>  |
| <p>施策の目的</p>    | <p>子どもたちをはじめ，県民が郷土の歴史や身近な文化財に触れ，学び，親しむことなどにより，郷土を愛する心を醸成するとともに，郷土芸能等の担い手が育ち，文化財の活用が図られる地域づくりの展開を目指す。</p>  |
| <p>施策の方向性</p>   | <p>1 指定や登録等による文化財保護の推進と文化財を活用した学習の場の提供<br/>2 地域の郷土芸能や伝統行事等の保存・継承<br/>3 豊かな自然や地域の文化財等の学校教育・地域活動への活用の促進</p>   |
| <p>主な事業等の取組</p> | <p>1 指定や登録等による文化財保護の推進と文化財を活用した学習の場の提供<br/>(1) 文化財の指定・登録等<br/>ア 国指定に関する文化庁への情報提供<br/>イ 文化財保護審議会の開催・委員による調査実施〔予算：1,420千円〕<br/>(2) 上野原縄文の森〔予算：151,881千円〕<br/>縄文の世界と向き合い，ふれあい，学び，親しむ場として，施設の管理とともに，企画展などの県委託事業や考古学講座などの自主事業を実施<br/>ア 県委託事業 企画展（年3回）などを実施<br/>イ 自主事業 考古学講座（一般人を対象に5回シリーズ）などを実施<br/>ウ 利用者数 平成21年度 約126千人（対前年度 約10千人増）<br/>(3) 発掘調査中の遺跡の公開<br/>埋蔵文化財センターが発掘調査を行っている遺跡を公開し，学習や体験活動の場として提供<br/>ア 発掘調査現地説明会 3遺跡で実施，約1,200人参加<br/>イ 発掘体験・遺跡見学 5遺跡で実施，小中学校10校など14団体・約370人参加<br/>2 地域の郷土芸能や伝統行事等の保存・継承<br/>(1) 文化財保護事業助成〔予算：25,295千円〕<br/>所有者や市町村が行う修復や継承活動，史跡購入等の事業に助成（国指定文化財17件，県指定文化財11件に助成）<br/>(2) 文化財保護指導委員による巡視〔予算：2,000千円〕<br/>県下に30人配置している文化財保護指導委員が，2か月に1回，国及び県指定文化財を巡視<br/>(3) 学校等における文化財伝承活動の情報提供<br/>教育事務所・支所単位で小中学校を中心に，平成21年6月と12月に地域の文化財の伝承活動等の取組状況の情報を，県のホームページで提供（27校）<br/>(4) 九州地区民俗芸能大会への派遣〔予算：1,017千円〕<br/>県指定無形民俗文化財の保存団体1団体を派遣（九州各県輪番で実施，毎年派遣）<br/>3 豊かな自然や地域の文化財等の学校教育・地域活動への活用の促進<br/>(1) 博物館<br/>本県の豊かな自然に関する資料や調査研究の成果等について，展示等により情報提供を行うとともに，これら資料の学校教育等への活用を促進<br/>ア 展示・教育普及活動<br/>企画展（年7回），科学教室（年30回），プラネタリウム投影などを実施<br/>イ 移動博物館<br/>所蔵資料の展示，開催地の自然観察等を県下3か所で実施</p> |

|                         | <p>ウ 利用者数 平成21年度 約108千人(対前年度 約2千人増)</p> <p>(2) 文化財に関する指導・助言者の情報提供<br/>       伝統芸能や伝統行事，史跡等に関する指導・助言者情報を，平成21年4月から「かごしま県民交流センター情報システム」で提供</p> <p>(3) 市町村の歴史民俗資料館<br/>       市町村立歴史民俗資料館等に所蔵している地域の文化財等を，学校教育等で活用</p>  |        |        |        |        |    |      |        |     |     |        |    |      |
|-------------------------|--|--------|--------|--------|--------|----|------|--------|-----|-----|--------|----|------|
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>(成果)</p> <p>1 文化財を保護するため，次のとおり指定・登録を行った。</p> <table border="1" data-bbox="479 625 1157 820"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成21年度</th> <th>累計・年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国指定文化財</td> <td>2件</td> <td>114件</td> </tr> <tr> <td>国登録文化財</td> <td>12件</td> <td>93件</td> </tr> <tr> <td>県指定文化財</td> <td>5件</td> <td>244件</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 文化財の保護については，市町村教育委員会との連携・協力をはじめ，修復等に対する助成，文化財保護指導委員による巡視などで適切になされている。</p> <p>3 学校等における文化財伝承活動については，過疎化・高齢化等により難しくなっている文化財の伝承活動の活性化を図るため，教育事務所・支所単位で具体的な取組の情報提供を行った。</p> <p>4 文化財の活用については，埋蔵文化財センターや市町村教育委員会の発掘調査現場が，学習や体験活動の場として活用されてきている。<br/>       参加者からは，「身近なところに，このような遺跡があることを誇りに思った。」<br/>       「出土した土器の実物を見ることができ，大昔の人々の暮らしぶりが目に浮かんだ。」などの意見が寄せられている。</p> <p>(課題)</p> <p>1 文化財の学校教育や地域活動への更なる活用を図る必要がある。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>1 文化財を適切に保存・管理するとともに，観光など幅広い活用を図る。<br/>       特に，学校においては，学校行事や授業などで身近な文化財や地域の歴史の活用促進に努める。</p> <p>2 上野原縄文の森については，市町村との連携・協力による情報発信に努める。<br/>       また，特に来年は九州新幹線の全線開業を控えており，更に広報活動に努めるとともに，全国都市緑化かごしまフェアの協賛会場として参加するなど事業の充実を図り，利用促進に努める。</p> <p>3 博物館については，更に県民のニーズを把握するとともに，時代の要請に応じた事業の展開を図りながら，利用促進に努める。</p> | 区 分    | 平成21年度 | 累計・年度末 | 国指定文化財 | 2件 | 114件 | 国登録文化財 | 12件 | 93件 | 県指定文化財 | 5件 | 244件 |
| 区 分                     | 平成21年度   | 累計・年度末 |        |        |        |    |      |        |     |     |        |    |      |
| 国指定文化財                  | 2件   | 114件   |        |        |        |    |      |        |     |     |        |    |      |
| 国登録文化財                  | 12件  | 93件    |        |        |        |    |      |        |     |     |        |    |      |
| 県指定文化財                  | 5件   | 244件   |        |        |        |    |      |        |     |     |        |    |      |
| <p>評価委員の<br/>意見・提言</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村との連携も欠かせないものの，地域の保存会，自治会，町内会，関連NPOなどとの連携も拡大していく必要があるのではないかと。</li> <li>・ 文化財を見せるだけでは子ども達の興味を引き寄せるのは容易ではない。そこから子ども達の想像をかきたてる，あるいは歴史につながるような教育を行ってほしい。</li> <li>・ 近代化産業遺産の保存・活用も図ってほしい。</li> </ul>  |        |        |        |        |    |      |        |     |     |        |    |      |
| <p>評 価</p>              | <p>著しい成果が見られる。<br/>       十分な成果が見られる。</p> <p>■ 成果は見られるが，今後，検討・更なる取組が必要である。<br/>       改善が必要である。</p>  |        |        |        |        |    |      |        |     |     |        |    |      |

余 白

## 鹿児島県教育振興基本計画の進捗状況

※「教育委員会の事務の点検・評価」の対象施策以外のものについては、教育委員会事務局等において、県教育振興基本計画の進捗状況を確認しました。

| <p>施策名</p>              | <p>- 道徳教育の充実</p>   |            |            |            |        |        |                |     |            |            |            |     |            |            |            |                       |     |            |            |            |     |            |            |            |              |     |            |            |            |     |            |            |            |
|-------------------------|--|------------|------------|------------|--------|--------|----------------|-----|------------|------------|------------|-----|------------|------------|------------|-----------------------|-----|------------|------------|------------|-----|------------|------------|------------|--------------|-----|------------|------------|------------|-----|------------|------------|------------|
| <p>施策の目的</p>            | <p>社会生活を送る上で人間として持つべき規範意識，自他の生命の尊重，自尊感情や他者への思いやりなどを育てる。</p>  |            |            |            |        |        |                |     |            |            |            |     |            |            |            |                       |     |            |            |            |     |            |            |            |              |     |            |            |            |     |            |            |            |
| <p>施策の方向性</p>           | <p>1 教育活動全体での取組の充実<br/>2 教職員の指導力の向上<br/>3 社会全体での児童生徒の道徳性を高める取組の推進</p>  |            |            |            |        |        |                |     |            |            |            |     |            |            |            |                       |     |            |            |            |     |            |            |            |              |     |            |            |            |     |            |            |            |
| <p>主な事業等の取組</p>         | <p>1 教育活動全体での取組の充実<br/>(1) 各学校における道徳教育の全体計画や年間指導計画の策定<br/>(2) 各学校における道徳教育推進教師の明確化<br/>(3) 豊かな体験活動推進事業[予算：5,083千円]<br/>ア 農山漁村におけるふるさと生活体験推進校(2校)<br/>イ 児童生徒の輝く心育成推進校(2校)<br/>(4) 道徳教育実践研究事業(平成21年度推進校 小学校2校，中学校1校)<br/>2 教職員の指導力の向上<br/>(1) 経験年次に応じた研修を実施(初任校研修，5年経験者研修，10年経験者研修)<br/>(2) 教育センターにおける短期研修講座の実施<br/>ア 「豊かな心をはぐくむ小・中道徳基礎講座」(受講者24人)<br/>イ 「道徳の移動講座」3会場(受講者39人)<br/>(3) 地区別道徳教育研修会(授業を通じた具体的研修)<br/>(平成21年度授業公開校：小学校15校，中学校11校，参加者総数1,981人)<br/>(4) 指導主事等会議における道徳教育に関する施策の指導等<br/>3 社会全体での児童生徒の道徳性を高める取組の推進<br/>(1) 保護者等への道徳の時間の授業公開<br/>ア 小学校 全学級での公開校89.2%，一部の学級での公開校10.8%<br/>イ 中学校 全学級での公開校56.3%，一部の学級での公開校43.0%<br/>(2) 心の教育振興会議の開催(各学校種学校代表者，大学関係者，PTA等)<br/>(3) 県合同道徳教育推進協議会の開催(「地区別道徳教育研修会代表による協議会」と「心の教育振興会議」が合同の会議を開催し，幼・小・中・高等学校各段階における道徳教育や家庭・地域社会における道徳教育について広く意見交換を行うことで，道徳教育の充実・振興を図る。)</p>  |            |            |            |        |        |                |     |            |            |            |     |            |            |            |                       |     |            |            |            |     |            |            |            |              |     |            |            |            |     |            |            |            |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>児童生徒の道徳性に関する実態<br/>(平成19～21年度の全国学力・学習状況調査から)<br/>* 表中の数値は、「よくできている」「どちらかといえばできている」と回答した割合(%)</p> <table border="1" data-bbox="454 1915 1723 2252"> <thead> <tr> <th>質 問</th> <th>校種</th> <th>平成19年度</th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">学校のきまりを守っているか。</td> <td>小学校</td> <td>89.9(86.2)</td> <td>89.7(86.4)</td> <td>90.6(88.5)</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>88.6(85.3)</td> <td>89.9(87.2)</td> <td>91.1(88.6)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">近所の人に会ったときは，挨拶をしているか。</td> <td>小学校</td> <td>93.7(88.6)</td> <td>94.1(88.7)</td> <td>94.2(89.5)</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>89.4(82.3)</td> <td>90.1(82.7)</td> <td>90.0(82.8)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">家の手伝いをしているか。</td> <td>小学校</td> <td>84.8(78.4)</td> <td>84.3(77.5)</td> <td>83.4(78.5)</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>72.5(63.2)</td> <td>70.2(60.5)</td> <td>72.5(62.9)</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 表中の( )の数値は，全国の同回答の平均値(%)</p> <p>(成果)</p> <p>1 道徳教育の全体計画は，すべての小中学校で策定されており，各学校の実態に即した道徳教育が計画・実践されている。</p> <p>2 道徳教育推進教師を指名している学校は，小学校80.6%，中学校88.7%(平成21年度調査)となっており，平成25年度の数値目標100%に向けて，</p> | 質 問        | 校種         | 平成19年度     | 平成20年度 | 平成21年度 | 学校のきまりを守っているか。 | 小学校 | 89.9(86.2) | 89.7(86.4) | 90.6(88.5) | 中学校 | 88.6(85.3) | 89.9(87.2) | 91.1(88.6) | 近所の人に会ったときは，挨拶をしているか。 | 小学校 | 93.7(88.6) | 94.1(88.7) | 94.2(89.5) | 中学校 | 89.4(82.3) | 90.1(82.7) | 90.0(82.8) | 家の手伝いをしているか。 | 小学校 | 84.8(78.4) | 84.3(77.5) | 83.4(78.5) | 中学校 | 72.5(63.2) | 70.2(60.5) | 72.5(62.9) |
| 質 問                     | 校種   | 平成19年度     | 平成20年度     | 平成21年度     |        |        |                |     |            |            |            |     |            |            |            |                       |     |            |            |            |     |            |            |            |              |     |            |            |            |     |            |            |            |
| 学校のきまりを守っているか。          | 小学校  | 89.9(86.2) | 89.7(86.4) | 90.6(88.5) |        |        |                |     |            |            |            |     |            |            |            |                       |     |            |            |            |     |            |            |            |              |     |            |            |            |     |            |            |            |
|                         | 中学校  | 88.6(85.3) | 89.9(87.2) | 91.1(88.6) |        |        |                |     |            |            |            |     |            |            |            |                       |     |            |            |            |     |            |            |            |              |     |            |            |            |     |            |            |            |
| 近所の人に会ったときは，挨拶をしているか。   | 小学校  | 93.7(88.6) | 94.1(88.7) | 94.2(89.5) |        |        |                |     |            |            |            |     |            |            |            |                       |     |            |            |            |     |            |            |            |              |     |            |            |            |     |            |            |            |
|                         | 中学校  | 89.4(82.3) | 90.1(82.7) | 90.0(82.8) |        |        |                |     |            |            |            |     |            |            |            |                       |     |            |            |            |     |            |            |            |              |     |            |            |            |     |            |            |            |
| 家の手伝いをしているか。            | 小学校  | 84.8(78.4) | 84.3(77.5) | 83.4(78.5) |        |        |                |     |            |            |            |     |            |            |            |                       |     |            |            |            |     |            |            |            |              |     |            |            |            |     |            |            |            |
|                         | 中学校  | 72.5(63.2) | 70.2(60.5) | 72.5(62.9) |        |        |                |     |            |            |            |     |            |            |            |                       |     |            |            |            |     |            |            |            |              |     |            |            |            |     |            |            |            |

年々向上している傾向にある。

- 3 全国学力・学習状況調査結果においては、道徳性に関する質問に対する肯定的な回答の割合が高く、一部（小学校における家での手伝いの割合）を除いて年々向上している傾向にある。

（課題）

- 1 道徳教育の年間指導計画について、1単位時間の学習の展開まで含めた詳細な指導計画を作成している学校は、小学校62.1%、中学校36.3%（平成21年度調査）であり、その他の学校では一覧表程度の内容となっている。（これらを含めると、計画策定率は小学校100%、中学校100%）
- 2 道徳教育推進教師を指名している学校の割合は年々向上してはいるが、中学校に比べ、小学校が配置率が低い。
- 3 道徳性に関する質問に対する肯定的な回答の割合は高いものの、いじめや暴力行為など問題行動等の発生については、平成20年度データでは、いじめの認知件数が532件（小学校127、中学校318、高等学校87）、暴力行為が177件（小学校1、中学校70、高等学校106）となっており、依然憂慮すべき状況にある。

（今後の方向性）

- 1 道徳教育の年間指導計画については、各学校の実態に即した1単位時間の学習の展開まで含めた詳細な指導計画の作成を進めていく必要がある。
- 2 道徳教育推進教師の意義と役割等について、各学校に周知していくとともに、道徳教育推進教師の位置づけや活動について先行事例等を紹介していくなどの機会を積極的に設定していく必要がある。
- 3 いじめや暴力行為など問題行動等の未然防止と早期解決のため、児童生徒一人一人の道徳性（道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度など）を養い高めるよう、教職員の指導力の一層の向上を図る必要がある。

余 白

施策評価票

【人権同和教育課・社会教育課】

|                         |  |
|-------------------------|--|
| <p>施策名</p>              | <p>- 人権教育の充実</p>   |
| <p>施策の目的</p>            | <p>人権の意義・内容や重要性を理解し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができる児童生徒等を育成する。</p>   |
| <p>施策の方向性</p>           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教職員の人権意識の高揚と資質向上</li> <li>2 児童生徒の人権尊重精神の高揚及び指導内容等の工夫・改善</li> <li>3 社会教育における人権に関する学習・啓発活動の推進</li> </ol>  |
| <p>主な事業等の取組</p>         | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教職員の人権意識の高揚と資質向上             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 人権教育研修事業〔予算：3,520千円〕                 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 人権教育教職員等研修会（対象）採用2年目の教職員等<br/>期日：7月3日,22日 会場：奄美市,鹿児島市 参加者：286人</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>2 児童生徒の人権尊重精神の高揚及び指導内容等の工夫・改善             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 人権教育推進事業〔予算：8,360千円〕                 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 人権教育管理職研修会（対象）任用2年目の管理職（校長,教頭）<br/>期日：6月10日,25日,7月2日 会場：鹿児島市,西之表市,奄美市<br/>参加者：263人</li> <li>イ 人権教育授業実践研修会（対象）各学校の人権同和教育担当者等<br/>期日：6月～10月 会場：県内6地区 参加者：264人</li> <li>ウ 人権教育指導資料等の作成・配布</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>3 社会教育における人権に関する学習・啓発活動の推進             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 人権教育啓発事業〔予算：736千円〕                 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 人権教育指導者研修会（対象）市町村の社会教育関係における担当者<br/>期日：7月1日 会場：鹿児島市 参加者：78人</li> <li>イ 人権教育ブロック別指導者研修会（対象）社会教育関係団体の指導者,役員等<br/>期日：6月～11月 会場：県内11地区 参加者：1,285人</li> <li>ウ 人権教育調査指導事業（10地区18市町村で実施）<br/>市町村の社会教育における人権教育の推進状況等について調査,指導</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol> |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>(成果)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人権教育に関する校内研修を年間2回以上実施している学校は,平成19年度は60%程度であったが,平成21年度は90%弱となり,教職員の人権意識の高揚と資質向上が図られつつある。</li> <li>2 人権教育の年間指導計画を作成している学校の割合は,平成19年度は59.3%であったが,平成21年度は88.3%となり,計画的,継続的な人権教育の推進が図られつつある。</li> <li>3 平成21年度から,研修会のプログラムに参加型学習等の演習を必ず取り入れており,研修参加者から「プログラムが参加型へ変わっており,参加しやすく,学んでいると実感することや気付きが多く,資質向上に役立った。」「今後も人権感覚を磨き,自分自身を見つめ直しながら,人権教育を推進していきたい。」等の感想が多数ある。</li> <li>4 市町村における人権教育推進状況を把握し,指導するとともに,人権教育担当者の資質向上や社会教育関係者等の人権問題に対する正しい理解と認識を深めることができた。</li> </ol> <p>(課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教職員及び指導者の人権意識の高揚と資質向上を更に図る必要がある。</li> <li>2 児童生徒等の人権に関する知的理解の深化及び人権感覚の高揚を図る必要がある。</li> </ol> <p>(今後の方向性)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地教委等との一層の連携のもと,諸研修会における指導の充実を図る。</li> <li>2 指導資料等の日常的な活用促進に取り組み,児童生徒への指導の充実を図る。</li> </ol>  |

|                 |  |
|-----------------|--|
| <p>施策名</p>      | <p>- 体験活動の充実</p>   |
| <p>施策の目的</p>    | <p>豊かな自然，多様な食文化，地域の伝統文化を生かした体験活動を通して，生命や自然を大切に作る心や他者を思いやる優しさ，社会性などを育てる。</p>  |
| <p>施策の方向性</p>   | <p>1 各学校における地域の特色を生かし，創意工夫をこらした体験活動の推進<br/>2 体験活動の指導の工夫・改善</p>   |
| <p>主な事業等の取組</p> | <p>1 各学校における地域の特色を生かし，創意工夫をこらした体験活動の推進<br/> (1) 豊かな体験活動推進事業[予算：31,431千円]<br/> 長期にわたる宿泊，共同生活等の体験活動や命の大切さを学ぶ体験活動等を実施（平成21年度：小学校4校）<br/> (2) 体験型の「総合的な学習の時間」等の実施の推進<br/> ア さつまいも栽培や米作り，茶摘みや椎茸栽培，稚魚の放流体験などの実施<br/> イ 地域の清掃活動や高齢者・幼児との交流などの勤労・奉仕的体験の実施<br/> ウ 郷土芸能の伝承や郷土に伝わる行事への積極的参加<br/> (3) 中学校における職場体験学習と高等学校におけるインターンシップの推進<br/> (4) 県立青少年社会教育施設における自然体験活動<br/> ア 県立青少年研修センター[予算：291千円]<br/> (ア) いきいきスクール長期学寮体験（平成21年度：17人）<br/> (イ) 悠遊学舎 わくわくサマーキャンプ（平成21年度：55人）<br/> イ 県立霧島自然ふれあいセンター[予算：315千円]<br/> (ア) 霧島山中独り寝体験（平成21年度：48人）<br/> (イ) チャレンジ霧島 in Winter（平成21年度：26人）<br/> ウ 県立南薩少年自然の家[予算：47千円]<br/> (ア) あったかなんさつ（夏）（秋）（平成21年度：104人）<br/> (イ) なんさつ自然学校（年間10回）（平成21年度：1,190人）<br/> エ 県立奄美自然の家[予算：325千円]<br/> (ア) 奄美“太陽の子”チャレンジキャンプ（平成21年度：3回実施97人）<br/> (イ) 奄美クリエイティブ・ワイルド・アドベンチャー（平成21年度：40人）<br/> 2 体験活動の指導の工夫・改善<br/> (1) 体験活動の事前・事後の指導の工夫<br/> ア オリエンテーションの充実<br/> イ 体験活動の趣旨・目的の理解と自己目標の設定<br/> ウ 体験活動の自己評価や成果の発表・情報発信<br/> (2) 地域人材・専門家等の活用<br/> (3) 地域・関係機関との連携の充実</p> |
|                 | <p>（成果）</p>  |

成果・課題  
今後の方向性

- 1 各学校において、地域の特色を生かし創意工夫を凝らした体験活動が、「総合的な学習の時間」等において実施されている。

〔勤労生産体験活動の実施率〕

|     | 平成21年度 |
|-----|--------|
| 小学校 | 99.1%  |
| 中学校 | 87.1%  |

〔自然体験活動の実施率〕

|     | 平成21年度 |
|-----|--------|
| 小学校 | 99.8%  |
| 中学校 | 94.9%  |

- 2 中学校における職場体験学習、高等学校におけるインターンシップへの積極的な取組が見られる。

ア 中学校職場体験学習の実施状況 平成21年度：98.0%

イ 高等学校インターンシップの実施状況 平成21年度：88.3%

- 3 地域行事への参加率は全国平均を大きく上回っている。

| 平成21年度 | 本 県   | 全国平均  |
|--------|-------|-------|
| 小学校    | 73.5% | 62.4% |
| 中学校    | 50.4% | 37.8% |

(課題)

- 1 体験をすることに主眼が置かれ、成果の発表や体験で学んだことの発表等にまで発展していない学習活動が見受けられる。

(今後の方向性)

- 1 新学習指導要領の趣旨を踏まえた、「総合的な学習の時間」の指導計画や活動の見直しを図る必要がある。
- 2 生命や自然を大切に作る心等を育てるため、地域の人材や関係機関との連携をさらに深め、活動を充実させていく必要がある。

余 白

|                         |  |
|-------------------------|--|
| <p>施策名</p>              | <p>- 文化活動の推進</p>   |
| <p>施策の目的</p>            | <p>国際社会で活躍する人材の育成のために，子どもたちに我が国や郷土の伝統や文化を尊重する態度を養う教育を通して豊かな心や感性，創造性，感動する心などを育てる。</p>   |
| <p>施策の方向性</p>           | <p>1 学校における文化芸術活動や伝統文化を理解させる教育の充実<br/>2 子どもが文化芸術に触れる機会の拡充</p>  |
| <p>主な事業等の取組</p>         | <p>1 学校における文化芸術活動や伝統文化を理解させる教育の充実<br/>(1) 各教科等における文化の理解に係る取組<br/>ア 音楽や美術等において，表現や鑑賞の能力をはぐくむ指導を実施<br/>イ 他の教科においても，伝統文化等について理解を深める指導を推進<br/>(2) 図画や作文コンクール等への参加の奨励<br/>県図画作品展，県児童生徒作文コンクール等，各種イベント・各地区コンクールに各学校から多数参加・出品<br/>(3) 学校行事としての文化芸術の鑑賞等の実施<br/>文化庁事業「学校への芸術家等派遣事業」の活用<br/>(平成21年度 小学校6校 中学校2校 高等学校3校 特別支援学校1校)<br/>2 子どもが文化芸術に触れる機会の拡充<br/>(1) 美術館，博物館等で開催される特別展等の観覧促進<br/>(2) 地域の伝統文化行事等の鑑賞や参加の促進<br/>総合的な学習の時間等において，地域の行事の見学・参加，郷土芸能の伝承，郷土探訪(史跡巡り，フィールドワーク)などを実施</p> |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>(成果)<br/>1 ほとんどの学校で，総合的な学習の時間において，地域の伝統文化等の郷土に関する題材を取り扱っている。<br/>(平成21年度:小学校83%，中学校71%)<br/>2 県図画作品展や県児童生徒作文コンクールなど，図画作品や作文のコンクールに対して，各学校が積極的に参加している。<br/>(課題)<br/>1 音楽，演劇，伝統芸能等について演奏や実演を交えた交流や鑑賞を行い，文化芸術への関心が高まってきているが，今後，児童生徒が芸術・文化に触れる機会をさらに拡充する必要がある。<br/>(今後の方向性)<br/>1 美術館，博物館等で開催される特別展等の観覧や地域の伝統文化行事等の鑑賞や参加の促進を通して，児童生徒が芸術・文化に触れる機会をさらに拡充していく。</p>   |

|                 |   |
|-----------------|---|
| <p>施策名</p>      | <p>- 食育の推進</p>  |
| <p>施策の目的</p>    | <p>子どもたちに，食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせ，食に関する自己管理能力を育てる。</p>  |
| <p>施策の方向性</p>   | <p>1 学校給食を活用した食に関する指導の充実<br/>2 学校，家庭，地域社会の連携・協力による食育の推進</p>   |
| <p>主な事業等の取組</p> | <p>1 学校給食を活用した食に関する指導の充実<br/>(1) 学校給食指導事業<br/>ア 学校給食衛生管理等研修会 8月下旬 530名参加<br/>学校給食における食中毒の防止対策及び学校給食を活用した食に関する指導<br/>イ 国の委託事業指定地域の指導<br/>「栄養教諭を中核とした食育推進事業」(南九州市)に関する指導・助言<br/>ウ 学校給食優良学校等の表彰<br/>学校給食状況調査や実地審査を通じた実態把握及びその結果に基づいた各学校への指導・助言<br/>(2) 夜間定時制学校給食管理事業〔予算：7,540千円〕<br/>夜間定時制課程を置く高校において，当該学校に通学する勤労青少年等の健康を保持増進するために，学校給食を実施<br/>(3) 鹿児島をまるごと味わう学校給食（1月に実施）<br/>学校給食における地場産物活用の推進<br/>(4) 食に関する地域人材の積極的活用<br/>地域の生産者や食に関する知識・経験を有する人材を，授業や講演会等において，講師等として活用し，食に関する指導の充実を図る。<br/>(5) 栄養教諭の配置<br/>学校給食の管理，食に関する指導を行う栄養に関する専門性と教育に関する資質を併せ有する栄養教諭を小中学校及び特別支援学校に配置。<br/>H21年度177人（配置率は全国一）<br/>2 学校，家庭，地域社会の連携・協力による食育の推進<br/>(1) 「早寝早起き朝ごはん」運動の推進<br/>ア 「早寝早起き朝ごはん」を啓発するために広報紙の配布<br/>(ア) 啓発リーフレット25,000部作成：県下全小学1年生の保護者，幼・中・特別支援学校・企業等に配布<br/>(イ) 文部科学省からの資料等をPTA研修会等で配布<br/>イ 望ましい食生活のあり方等を記載した「家庭教育手帳」のCD-ROMを市町村教育委員会へ配布及び県ホームページでの啓発<br/>ウ 市町村において，発達段階に応じた子育て講座や親子料理教室，農業体験等の実施<br/>エ 社会教育関係団体との連携<br/>(ア) 地域女性団体連絡協議会では，食育についての学習会を持ったり，各地域において伝統食の継承活動や食の安心・安全などについての啓発活動を実施している。<br/>(イ) 県PTA連合会は，重点運動項目の一つに食育を取り入れ，年1回，単位PTAの取組状況の調査や，研修会等で研究主題にするなどしている。<br/>(ウ) 子ども会は，各地域において米作りや芋掘り，高齢者と郷土料理を作るなどの活動をしている。</p> |

|                         |  |
|-------------------------|--|
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>(成果)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各種研修会等での実践発表や研究協議を通して、指導の在り方について研修を深めるとともに、文部科学省の「栄養教諭による食に関する指導実践事例集」を活用するなどして、各学校での実践を推進することができた。</li> <li>2 学校給食優良学校等表彰のための実地審査等により、各学校の実態を把握し、指導の方向性を明らかにすることができた。</li> <li>3 鹿児島をまるごと味わう学校給食の実施により、児童生徒に地域の特産物や郷土料理等に関心を持たせるとともに学校給食の充実を図ることができた。</li> <li>4 地域の生産者や食に関する知識・経験を有する人材を活用することで、児童生徒の食への関心が深まった。</li> <li>5 家庭教育学級等で文部科学省作成のリーフレット配布や、単位PTAが「食育」に関する活動を取り入れるなど、保護者の意識は高まってきた。</li> </ol> <p>(課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各学校で食育推進に向けての認識や具体的取組についての差がある。</li> <li>2 保護者や地域を巻き込んだ食育の取組がなされていない学校がある。</li> <li>3 PTAや子ども会等が情報の共有化を図るなど、連携を強化し、横断的な取組を推進する必要がある。</li> </ol> <p>(今後の方向性)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 校長がリーダーシップをとり、全教職員が共通理解をして、指導の一層の充実を図ることができるように、継続した啓発を行う。</li> <li>2 保護者や地域との共通理解を図り、情報発信等を行いながら食育を推進する。</li> <li>3 PTAや子ども会等が情報の共有化や横断的な取組が推進できるように場の設定や情報の提供等の支援を行う。</li> </ol> |
|-------------------------|--|

余 白

|                    |   |
|--------------------|---|
| <p>施策名</p>         | <p>- 健康教育の充実</p>  |
| <p>施策の目的</p>       | <p>多様化する健康課題に適切に対応し，子どもたちが生涯にわたって健康に過ごすことができるように，健康増進に必要な能力を育てる。</p>  |
| <p>施策の方向性</p>      | <p>1 学校の実態や発達段階に応じた学校保健の充実<br/>2 学校・家庭・地域・関係機関等との連携による健康教育の推進</p>   |
| <p>主な事業等の取組</p>    | <p>1 学校の実態や発達段階に応じた学校保健の充実<br/>(1) 生活習慣病の予防を目指した歯・口の健康づくり調査研究事業[予算：300千円]<br/>研究協力校を1校指定し，「生活習慣病予防を目指した歯・口の健康づくりの推進」をテーマに掲げ，研究を推進<br/>(2) 県健康教育研究大会の実施<br/>ア 健康課題別に設定した分科会ごとの研究協議（対象：校長，養護教諭，保護者等）<br/>イ 学校保健優良学校等表彰<br/>学校保健の指導，管理について顕著な取組のあった学校について毎年度表彰（H21年度 11校）<br/>(3) 県総合教育センターでの研修による養護教諭等の資質向上<br/>ア 新規採用養護教諭研修（H21年度 13人）<br/>イ 養護教諭経験者研修（H21年度 32人）<br/>2 学校・家庭・地域・関係機関等との連携による健康教育の推進<br/>(1) 学校保健・安全・歯科保健講習会<br/>県内5会場で，歯科医師会との連携による講習会を開催（H21年度 580人）<br/>(2) 学校保健会，学校医，学校歯科医，学校薬剤師等との連携による学校保健指導等<br/>ア 学校医等による学校保健委員会への指導・助言<br/>イ 学校医等から児童生徒への各学校の実情に応じた保健指導<br/>(3) 学校環境衛生，薬物乱用防止教育研修会<br/>県内2会場で，学校薬剤師会との連携による研修会を開催（H21年度 111人）<br/>(4) 子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業[予算：3,358千円]<br/>ア モデル地域（鹿屋市）での実践<br/>イ 医師会，保健所等との連携により学校の抱える健康課題に応じて，専門医等を派遣し，地域との連携のための組織づくり</p>                            |
| <p>成果・課題今後の方向性</p> | <p>（成果）<br/>1 研修会，講習会において，学校全体で取り組む健康教育の在り方について取り上げることで，教職員の意識が高まるとともに，研修会等での内容を踏まえ，指導計画の作成やTT授業を実施する学校の割合が増加するなど，各学校での実践も充実してきている。<br/>ア 指導計画を作成した学校の割合<br/>(7) 性教育（H20年度 83.4% H21年度 86.3%）<br/>(1) 薬物乱用防止教室（H20年度 60.1% H21年度 69.5%）<br/>イ TT授業を実施した学校の割合<br/>(7) 性教育（H18年度 60.0% H20年度 64.6%）<br/>(1) 歯・口の健康づくり（H18年度 62.7% H21年度 65.2%）<br/>2 子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業で，約40校に専門医等を派遣し，専門的な話を聞く機会を設けることで，教職員，保護者，児童生徒の健康課題に関する理解が深まった。<br/>（課題）<br/>1 TT授業の実施状況は，小学校は実施率が高いが高校は低いなど校種間で差が大きい。<br/>2 生活習慣の乱れによる肥満傾向，アレルギー疾患，性の問題行動，薬物乱用，感染症など，健康課題が多様化しつつある。<br/>（今後の方向性）<br/>1 TT授業について，高等学校の養護教諭が保健学習に参画できるよう，養護教諭の資質向上と養護教諭が授業に参加できるような校内の体制整備を推進する。<br/>2 各学校が自校の課題について明確に把握し，学校医，学校歯科医，学校薬剤師，専門医，市町村保健部局，保健所など関係機関と連携を図りながら，主体的に課題解決を図ることができるようにする。また，肥満傾向を抑制するために，基本的生活習慣を確立させるとともに，運動する機会や運動量の確保に努める。</p> |

| <p>施策名</p>                    | <p>- 国語力の向上</p>  |                  |                 |                 |                |               |               |     |     |                               |       |                 |                 |                 |               |               |               |  |                  |  |  |                |  |  |  |    |                 |  |  |                |  |  |
|-------------------------------|--|------------------|-----------------|-----------------|----------------|---------------|---------------|-----|-----|-------------------------------|-------|-----------------|-----------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|--|------------------|--|--|----------------|--|--|--|----|-----------------|--|--|----------------|--|--|
| <p>施策の目的</p>                  | <p>言語活動の充実を図り，基礎的・基本的な知識・技能の習得，知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成する。</p>   |                  |                 |                 |                |               |               |     |     |                               |       |                 |                 |                 |               |               |               |  |                  |  |  |                |  |  |  |    |                 |  |  |                |  |  |
| <p>施策の方向性</p>                 | <p>1 言語活動を重視した取組を通じた「国語力」の向上<br/>2 学校図書館等を活用した読書活動の推進</p>  |                  |                 |                 |                |               |               |     |     |                               |       |                 |                 |                 |               |               |               |  |                  |  |  |                |  |  |  |    |                 |  |  |                |  |  |
| <p>主な事業等の取組</p>               | <p>1 言語活動を重視した取組を通じた「国語力」の向上<br/>(1) 国語力向上モデル事業等の成果を研修会で紹介するなどしてその普及に努め，各学校における継続的な指導・研究を推進<br/>(2) 学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえ，国語科での指導に加え，他の教科等においても，その特質に応じて説明，発表，記録，論述，討論，批評などの言語活動を計画的に取り入れる指導を実施<br/>(ア) 小・中学校教育課程説明会の実施<br/>(イ) (10月12日:中学校150名，10月19日:小学校192名の教諭が参加)<br/>(3) 朝の読書活動やボランティア等の活用による読み聞かせ，緑陰読書，読書週間など地域や家庭と連携した学校の読書活動の推進<br/>2 学校図書館等を活用した読書活動の推進<br/>(1) 読書指導研究推進校(志布志市立松山中学校:平成20・21年度)の取組の発表<br/>(ア) 鹿児島県図書館大会中学校分科会(11月11日)<br/>(2) 司書教諭の配置や学校図書館の蔵書の充実などを図ることによる，児童生徒の「本に親しむ」環境の整備<br/>(ア) 司書教諭の配置:12学級以上の小中学校にはすべて配置<br/>(イ) 学校図書館担当職員の配置:小学校 77.9%，中学校 76.7%</p>  |                  |                 |                 |                |               |               |     |     |                               |       |                 |                 |                 |               |               |               |  |                  |  |  |                |  |  |  |    |                 |  |  |                |  |  |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p>       | <p>(成果)<br/>1 すべての小中学校で1週間に1回以上，全校一斉の読書の時間が設定・実施されている。<br/>2 小学生，中学生ともに1ヶ月あたりの平均読書冊数は全国平均を上回っている。<br/>(課題)<br/>1 学年の進行に伴い，本を読まなくなる児童生徒が増える傾向がある。<br/>2 文部科学省が公立の義務教育諸学校の学校図書館の図書整備を図る際の目標として設定した図書標準を達成している学校が少なく，充実を図る必要がある。<br/>図書標準を達成している学校の割合:小学校42.3% 中学校29.1%<br/>鹿児島県の児童生徒の1ヶ月あたりの平均読書冊数(平成21年度)</p> <table border="1" data-bbox="527 2088 1657 2535"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>小2年</th> <th>小4年</th> <th>小6年</th> <th>中1年</th> <th>中2年</th> <th>中3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1か月間の一人当たり平均読書冊数(カッコ内は平成20年度)</td> <td>本県の平均</td> <td>24.5冊<br/>(24.7)</td> <td>17.9冊<br/>(19.5)</td> <td>12.6冊<br/>(12.9)</td> <td>6.0冊<br/>(5.7)</td> <td>4.3冊<br/>(4.7)</td> <td>3.9冊<br/>(3.7)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">18.1冊<br/>(18.8冊)</td> <td colspan="3">4.8冊<br/>(4.8冊)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全国</td> <td colspan="3">8.6冊<br/>(11.4冊)</td> <td colspan="3">3.7冊<br/>(3.9冊)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(全国学校図書館協議会調査結果より)</p> |                  |                 | 小2年             | 小4年            | 小6年           | 中1年           | 中2年 | 中3年 | 1か月間の一人当たり平均読書冊数(カッコ内は平成20年度) | 本県の平均 | 24.5冊<br>(24.7) | 17.9冊<br>(19.5) | 12.6冊<br>(12.9) | 6.0冊<br>(5.7) | 4.3冊<br>(4.7) | 3.9冊<br>(3.7) |  | 18.1冊<br>(18.8冊) |  |  | 4.8冊<br>(4.8冊) |  |  |  | 全国 | 8.6冊<br>(11.4冊) |  |  | 3.7冊<br>(3.9冊) |  |  |
|                               |  | 小2年              | 小4年             | 小6年             | 中1年            | 中2年           | 中3年           |     |     |                               |       |                 |                 |                 |               |               |               |  |                  |  |  |                |  |  |  |    |                 |  |  |                |  |  |
| 1か月間の一人当たり平均読書冊数(カッコ内は平成20年度) | 本県の平均  | 24.5冊<br>(24.7)  | 17.9冊<br>(19.5) | 12.6冊<br>(12.9) | 6.0冊<br>(5.7)  | 4.3冊<br>(4.7) | 3.9冊<br>(3.7) |     |     |                               |       |                 |                 |                 |               |               |               |  |                  |  |  |                |  |  |  |    |                 |  |  |                |  |  |
|                               |  | 18.1冊<br>(18.8冊) |                 |                 | 4.8冊<br>(4.8冊) |               |               |     |     |                               |       |                 |                 |                 |               |               |               |  |                  |  |  |                |  |  |  |    |                 |  |  |                |  |  |
|                               | 全国   | 8.6冊<br>(11.4冊)  |                 |                 | 3.7冊<br>(3.9冊) |               |               |     |     |                               |       |                 |                 |                 |               |               |               |  |                  |  |  |                |  |  |  |    |                 |  |  |                |  |  |

(今後の方向性)

- 1 児童生徒の「国語力」の向上には、国語科だけでなく、すべての教科における取組が不可欠であり、言語活動を位置づけた年間指導計画の作成等、各教科等領域間の連携が求められる。
- 2 児童生徒の「国語力」の向上には、学校図書館の機能をさらに充実し、「読書センター」としてだけでなく「学習センター及び情報センター」として、その機能を十分に活用していく。

施策評価票

【義務教育課・教職員課・学校施設課】

|                 |  |
|-----------------|--|
| <p>施策名</p>      | <p>- 特別支援教育の推進</p>   |
| <p>施策の目的</p>    | <p>障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持つ力を高め、生活や学習上の困難を改善し、又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う。</p>   |
| <p>施策の方向性</p>   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 障害のある幼児児童生徒に対する正しい理解と認識の深化及び適切な就学の推進</li> <li>2 障害のある幼児児童生徒に対する総合的支援体制の整備</li> <li>3 特別支援学校の教育機能や施設設備の整備など</li> </ol>   |
| <p>主な事業等の取組</p> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 障害のある幼児児童生徒に対する正しい理解と認識の深化及び適切な就学の推進             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 経験年次に応じた特別支援教育の研修の充実による教職員の資質向上（初任校研修，5年経験者研修，10年経験者研修）</li> <li>(2) 交流及び共同学習の積極的推進（特別支援学校や特別支援学級等で計画的に実施）</li> <li>(3) 県障害児就学指導委員会や研究協議会の実施                 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 県就学指導委員会（年2回実施，平成21年度判断件数 160人）</li> <li>イ 障害児就学指導研究協議会等の実施（年2回実施，平成21年度参加人数 152人）</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>2 障害のある幼児児童生徒に対する総合的支援体制の整備             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 特別支援教育総合推進事業 [ 予算：8,611千円 ]<br/>関係機関との連携による指導，地域における支援体制を整備するために，平成21年度から地域支援ネットワーク推進員7人を配置</li> <li>(2) 発達障害等支援・特別支援教育総合推進事業（国の委嘱事業） [ 予算：5,489千円 ]<br/>ア 特別支援連携協議会の設置<br/>県や全教育事務所・支所に設置するとともに，市町村における設置を推進（平成21年度：設置済27 / 43）<br/>イ 特別支援学校による巡回相談の実施</li> <li>(3) 各市町村における「特別支援教育支援員」の配置の促進（平成21年度 294人配置）</li> </ol> </li> <li>3 特別支援学校の教育機能や施設設備の整備など             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 特別支援学校における教職員の研修の充実（地域のセンター的機能の向上）</li> <li>(2) 就労支援員11人を特別支援学校に配置し，高等部生徒の進路開拓を充実 [ 予算：11,307千円 ]</li> <li>(3) 鹿児島盲・聾・養護学校や高等特別支援学校等の整備                 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 鹿児島盲学校：建設着工（平成21年10月～），平成23年4月供用開始予定</li> <li>イ 鹿児島聾学校：平成27年度供用開始を目指し，適地の検討</li> <li>ウ 鹿児島養護学校：平成21年度基本設計，平成25年度供用開始予定</li> <li>エ 高等特別支援学校：平成24年度供用開始予定</li> <li>オ 指宿養護学校に高等部設置（平成21年度4月～）</li> </ol> </li> <li>(4) 特別支援教育サポーター配置事業 [ 予算：8,079千円 ]</li> <li>(5) 特別支援学校への看護師の配置（医療的ケアの必要な重度・重複障害児に対応） [ 予算：58,040千円 ]</li> </ol> </li> </ol> |
|                 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 小・中学校等における特別支援教育体制の整備状況（幼・小・中・高）</li> </ol>   |

|        | コーディネーターの指名 |      |      |       | 個別の指導計画の作成 |       |       |      | 個別の教育支援計画の作成 |       |       |      |
|--------|-------------|------|------|-------|------------|-------|-------|------|--------------|-------|-------|------|
|        | 幼           | 小    | 中    | 高     | 幼          | 小     | 中     | 高    | 幼            | 小     | 中     | 高    |
| 平成20年度 | 71.9%       | 100% | 100% | 87.3% | 7.9%       | 66.4% | 61.8% | 6.3% | 4.5%         | 43.7% | 46.2% | 8.9% |
| 平成21年度 | 81.2%       | 100% | 100% | 100%  | 16.5%      | 68.7% | 66.0% | 5.2% | 8.2%         | 45.6% | 50.0% | 2.6% |

## 2 特別支援学校のセンター的機能の発揮に関する実績

|                             | 平成20年度 | 平成21年度 |
|-----------------------------|--------|--------|
| ① 外部からの相談, 学校参観等            | 728件   | 890件   |
| ② 地域の小中学校等に対する巡回相談等による相談・支援 | 881件   | 1,088件 |
| ③ 地域支援を目的とした研修会等の実施         | 37日    | 35日    |

成果・課題  
今後の方向性

### (成果)

- 1 コーディネーターを中心とした特別支援教育を推進するための校内支援体制は整備され、学校によっては外部機関と連携した取組も行われつつある。
- 2 各特別支援学校では、外部からの相談や学校参観等への対応、地域の小中学校等に対する巡回相談等による相談・支援の実施や地域における特別支援教育の実践研修会の実施など、特別支援教育に関するセンター的機能を発揮している。
- 3 特別支援教育支援員については、平成20年度の196人から平成21年度は294人と100人近く増加しており、市町村において計画的に配置が進められている。

### (課題)

- 1 コーディネーターとしての意識の強化や校内におけるコーディネーターを含めた特別支援教育体制の対外的な説明に関して課題がある。
- 2 個別の指導計画等に基づく具体的な支援の実施については、小中学校に比べて、幼稚園や高等学校における取組が依然として遅れている。
- 3 特別支援学校のセンター的機能の発揮については、地域の小・中学校等の教員のニーズに応じた内容を検討する必要がある。

### (今後の方向性)

- 1 コーディネーターとしての意識を高め、地域における支援体制を構築するため、コーディネーターの経験者を対象にした研修会を活用し、学校や地域の特性を生かした具体的な支援を充実させる必要がある。
- 2 個別の指導計画の作成と活用について、特別支援教育のリーフレットを活用するなど、その必要性和効果について啓発する必要がある。
- 3 特別支援学校が行う研修会については、教育事務所と連携を図り、実践発表や研究協議を中心とした研修内容の検討を行う必要がある。

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>施 策 名</p>                 | <p>- キャリア教育の推進</p>  |
| <p>施 策 の 目 的</p>             | <p>児童生徒一人一人が、学業の必要性や意義を実感するとともに、自分の生き方を考え、主体的に自らの進路を決定できるようにするため、勤労観や職業観を育成する。</p>  |
| <p>施 策 の 方 向 性</p>           | <p>1 発達段階に応じ、学校の教育活動全体を通じたキャリア教育の推進<br/>2 キャリア教育に関する教員の指導力の向上<br/>3 企業等との連携・協力によるインターンシップ等のキャリア教育の推進</p>  |
| <p>主 な 事 業 等 の 取 組</p>       | <p>1 発達段階に応じ、学校の教育活動全体を通じたキャリア教育の推進<br/>(1) 地域の農林水産業などの教育資源を生かした体験型の総合的な学習の時間の推進<br/>(2) 豊かな体験活動推進事業 [予算：5,083千円]<br/>ア 児童生徒の輝く心育成事業(小学校2校)<br/>イ 農山漁村におけるふるさと生活体験活動(小学校2校)<br/>2 キャリア教育に関する教員の指導力の向上<br/>(1) 「高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究事業」の実施(国の委嘱事業)<br/>ア 4校(鹿児島東高校, 額娃高校, 串木野高校, 財部高校)を指定 (H19~21年度)<br/>イ 「鹿児島県キャリア教育推進フォーラム」の開催 (H22.2月, 約160人出席)<br/>(2) 県総合教育センター研修(短期)の実施<br/>3 企業等との連携・協力によるインターンシップ等のキャリア教育の推進<br/>(1) 中学校における職場体験学習の継続的な推進<br/>(2) 未来を拓くキャリア教育の推進<br/>ア 中・高校生のインターンシップ事業(中高生1・2年生)<br/>産業界と教育界が連携し、インターンシップを全県的に実施<br/>イ 小中高校への企業経営者等の講師派遣事業(対象：児童生徒, 保護者, 教員)<br/>経営者や技術者等を講師として登録し、小中高校へ派遣して講演会等を実施(38校実施)<br/>ウ 高等学校キャリアコーディネーター配置事業(県立高校)<br/>(ア) キャリアコーディネーター配置事業 [予算：8,345千円]<br/>県立高校7校に配置(兼務校数63校)(H19~21年度)<br/>(イ) 就職支援員配置事業 [予算：16,970千円]<br/>県立高校12校に配置(兼務校数25校)(H21~23年度)</p> |
| <p>成 果 ・ 課 題 今 後 の 方 向 性</p> | <p>(成果)<br/>1 ほぼすべての小学校で農作業・園芸等の体験活動が実施されている。<br/>(581校中573校)<br/>2 ほぼすべての中学校で職場体験学習が実施されている。<br/>(中学校の職場体験学習：256校中251校で実施)<br/>3 コーチング技能の研修等を通して、教師からは、「生徒に対する傾聴や承認についての理解を深めることができ、キャリア教育におけるコーチングの大切さを知ることができた。」などの感想があった。<br/>4 インターンシップ実施後の生徒からは、「働くことの意義や将来の職業について真剣に考える機会となり、進路意識が高まった。」などの感想があった。<br/>5 景気悪化に伴い、厳しい雇用情勢であったが、キャリアコーディネーター及び就職支援員による求人開拓が行われ、県内の就職決定率は、前年を</p>   |

0.3ポイント上回った。

(課題)

1 高校におけるインターンシップの実施校は増加しているが、普通科高校における更なるキャリア教育の推進が必要である。

(インターンシップ実施校の割合：H20：79.2% H21：74.5% 再編整備の高校2校，新型インフルエンザによる中止の高校が1校あり，全体の実施率は前年を下回っている。)

2 中学校における職場体験学習は，ほぼすべての中学校で実施しているが，5日間職場体験学習の実施を更に推進する必要がある。

(今後の方向性)

1 産業界との連携により，インターンシップを全県的に実施しているが，取組の充実のため，企業や地域等との更なる連携を図っていく。

2 中学校における職場体験学習について，市町村教育委員会とも連携を図りつつ，5日間職場体験学習の実施を更に推進する。

|                         |   |
|-------------------------|---|
| <p>施策名</p>              | <p>- 産業教育の推進</p>  |
| <p>施策の目的</p>            | <p>産業社会の進展や技術の高度化等に対応し，即戦力となる専門的な知識や技術・技能を有するとともに将来の地域産業を担う人材，人間性豊かな職業人を育成する。</p>   |
| <p>施策の方向性</p>           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 県産業教育審議会の提言を基にした各専門高校の取組の推進</li> <li>2 企業等と連携した実習の充実</li> <li>3 地域と連携した特色ある教育活動の推進</li> <li>4 農業従事者育成のための農業教育の充実</li> </ol>  |
| <p>主な事業等の取組</p>         | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 県産業教育審議会の提言を基にした各専門高校の取組の推進<br/>高度資格取得や大学進学対策補習，教員の指導力向上研修などに取り組み，専門高校の活性化に向けた各学科の具体策を実施した。平成22年3月に『専門高校の活性化の在り方』の最終報告を取りまとめていただいた。</li> <li>2 企業等と連携した実習の充実<br/>企業等と連携したインターンシップの実施並びに優れた経営者及び技術者等の学校への招聘により，専門性の高い技術の習得や高度な職業資格・検定の取得推進を図った。</li> <li>3 地域と連携した特色ある教育活動を推進             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)  가고しま専門高校元気プラン[予算：2,600千円]<br/>専門高校5校(伊佐農林，薩摩中央，加治木工業，野田女子，奄美)を公募の上で指定し，地域連携及び特色ある教育活動を推進した。</li> <li>(2) 地区専門高校フェスタ...県内5地区開催<br/>(鹿児島・日置，南薩，北薩，始良・伊佐，大隅)</li> <li>(3) 「地域産業の担い手育成プロジェクト」[予算：5,000千円]                     <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 里海を守り，拓く人材育成プロジェクト事業(鹿児島水産高校)                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(ア) 地域水産業の担い手を育成するための現場実習</li> <li>(イ) これまで学校で蓄積してきた海洋技術や栽培技術，食品加工技術等を活用し，地域の活性化に役立つ新技術や新商品開発</li> <li>(ウ) 漁協や水産加工関連企業等での教員の高度な知識・技術の習得</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>(4) 産業教育施設整備事業                     <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 実習施設の大規模改修や内外装等の改修等...2校</li> <li>イ 産業教育のための実験・実習設備の整備等(更新を含む)...33校</li> <li>ウ 模擬市場での学習を行う総合実践室の整備...1校</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>4 農業従事者育成のための農業教育の充実             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 合宿形式での学習会の実施による四年制大学及び農業大学校への進学対策</li> <li>(2) 「目指せスペシャリスト」研究開発指定校事業[予算：3,003千円]                     <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 大隅半島における環境共生型農業の実現に関する研究(鹿屋農業高校)                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(ア) 有機ナタネ栽培及び景観形成に関する研究</li> <li>(イ) バイオディーゼル燃料(BDF)の幅広い活用法の研究</li> <li>(ウ) 菜種油かすの家畜肥料化に関する研究等</li> <li>(エ) 菜の花食材及び生ゴミの有効活用に関する研究</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol> </li> </ol> |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>(成果)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 高校生ものづくりコンテスト全国大会木材加工部門1位やジュニアマイスター顕彰認定生徒数全国3位，日商簿記検定2級合格144人，技能検定(造園)3級合格20人，看護師国家試験100%合格などの資格取得等が促進された。</li> </ol> <p>(課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 農業従事者の確保・育成を図るため，農業大学校等との更なる連携が必要である。</li> </ol>  |

2 学校施設の改修による機能改善や社会状況の変化，多様な学習活動等に対応するための学校施設の質的整備が必要である。

(今後の方向性)

1 将来の地域産業を担う人材育成のための専門高校の学校間，学科間の更なる連携を図っていく。

|                         |   |        |        |       |        |     |       |        |     |       |        |     |       |
|-------------------------|---|--------|--------|-------|--------|-----|-------|--------|-----|-------|--------|-----|-------|
| <p>施策名</p>              | <p>- 幼児教育の充実</p>  |        |        |       |        |     |       |        |     |       |        |     |       |
| <p>施策の目的</p>            | <p>幼稚園，保育所，認定こども園がそれぞれの特色に応じた教育・保育を実施し，生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児期の教育を充実させる。</p>  |        |        |       |        |     |       |        |     |       |        |     |       |
| <p>施策の方向性</p>           | <p>1 幼児教育全体の質の向上<br/>2 幼稚園等を活用した子育て支援に係る取組の推進</p>   |        |        |       |        |     |       |        |     |       |        |     |       |
| <p>主な事業等の取組</p>         | <p>1 幼児教育全体の質の向上<br/>(1) 各種研修会の実施<br/>ア 幼稚園新規採用教員研修会<br/>(7) 園内研修10日，園外研修10日<br/>(1) 服務関係，各分野における講義，演習，保育参観・研究保育等を実施（125人受講）<br/>イ 園長等管理運営協議会<br/>国立・公立・私立の幼稚園長，保育所長，認定こども園長を対象に，教育課程や学校評価，子育て支援・預かり保育，幼小連携等の課題について講義，協議を実施（54人参加）<br/>ウ 幼稚園教育課程協議会<br/>幼稚園教諭，保育所保育士，認定こども園教職員を対象に教育課程にかかわる協議テーマ（食育，特別支援教育，学校評価）について，講義，実践事例発表，グループ協議等を実施（289人参加）<br/>(2) 幼小連携の充実<br/>ア 各学校における幼保小連絡会の実施<br/>（授業（保育）参観を含む研修会を実施した小学校の割合：33.0%）<br/>イ 県研究指定幼稚園（いちき串木野市立市来幼稚園）での幼小中連携をテーマとした研究公開を実施</p> <p>2 幼稚園等を活用した子育て支援に係る取組の推進<br/>ア 預かり保育を実施している幼稚園<br/>公立私立を含めて173園 73.6%（平成20年度：167園 69.8%）</p> |        |        |       |        |     |       |        |     |       |        |     |       |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>（成果）<br/>1 小学校を含め，幼保小連携への関心が高まっており，幼保小連携に関する連絡会を，年3回以上実施した小学校が増加し，1回も実施しない小学校が減少している。</p> <table border="1" data-bbox="498 2162 1723 2258"> <tr> <td>平成20年度</td> <td>20校</td> <td>16.4%</td> <td>平成20年度</td> <td>51校</td> <td>21.1%</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>43校</td> <td>18.1%</td> <td>平成21年度</td> <td>48校</td> <td>20.3%</td> </tr> </table> <p>〔幼保小連絡会を3回以上実施した小学校〕〔幼保小連絡会を1回も実施しない小学校〕<br/>（各年度：学校教育に関する実態調査による）</p> <p>2 預かり保育を実施している幼稚園が増加している。</p> <p>（課題）<br/>1 採用2年目以降の幼稚園教諭が参加できる研修会が少ない。</p>  | 平成20年度 | 20校    | 16.4% | 平成20年度 | 51校 | 21.1% | 平成21年度 | 43校 | 18.1% | 平成21年度 | 48校 | 20.3% |
| 平成20年度                  | 20校   | 16.4%  | 平成20年度 | 51校   | 21.1%  |     |       |        |     |       |        |     |       |
| 平成21年度                  | 43校   | 18.1%  | 平成21年度 | 48校   | 20.3%  |     |       |        |     |       |        |     |       |

2 幼保小連携についての関心は高まってきたが、相互の教育課程や教育内容等についての理解が十分ではない。

(今後の方向性)

1 幼稚園教員の資質向上を図るための研修、特に、採用2年目以降の教員の研修について、研修の充実を図る必要がある。

2 幼保小連携に関する合同の研修会を実施するなどして、相互の教育課程や教育内容、教育方法等について理解を深めていく必要がある。

施策評価票

【義務教育課・保健体育課・社会教育課】

|                         |   |
|-------------------------|---|
| <p>施策名</p>              | <p>- 郷土教育の推進</p>  |
| <p>施策の目的</p>            | <p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、これからの社会づくりに貢献できる人間を育成するために、郷土かごしまの豊かな自然、歴史、伝統、文化、産業などを生かしながら、学校と地域社会全体において郷土教育の推進を図る。</p>   |
| <p>施策の方向性</p>           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校教育における郷土教育の充実</li> <li>2 郷土教育に関する教職員の資質向上</li> <li>3 関係機関と連携した鹿児島県の伝統・文化の継承</li> </ol>   |
| <p>主な事業等の取組</p>         | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校教育における郷土教育の充実             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各学校における「郷土教育の全体計画」の策定、郷土教育の実施</li> <li>(2) 食農体験学習や中学校における職場体験学習の推進</li> </ol> </li> <li>2 郷土教育に関する教職員の資質向上             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教育課程説明会における新学習指導要領（郷土教育関係部分）の周知</li> <li>(2) 「かごしま検定」（鹿児島県観光・文化検定）などの教職員研修における活用</li> <li>(3) 総合教育センターにおける短期研修講座（「フィールドワークを活用して、郷土教育を深める中学校社会、高校地歴・公民講座」）の実施</li> </ol> </li> <li>3 関係機関と連携した鹿児島県の伝統・文化の継承             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 子ども会、PTA、公民館活動への支援<br/>鹿児島県の伝承文化の継承について、関係機関と連携しながら、継承できる仕組みづくりなどの取組</li> <li>(2) ふるさと再発見「かごしま学舎」推進プラン                 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 郷土鹿児島県の学習資源を生かした学習機会の提供（ふるさと再発見「かごしま学舎」講座）</li> <li>イ ふるさと名人を活用した学習機会の提供（ふるさと名人伝承講座）</li> </ol> </li> <li>(3) 県立青少年社会教育施設における郷土教育                 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 県立青少年研修センター<br/>歴史街道「白銀坂遠行」、かごんまの教え体験、自顕流横木打ち体験等</li> <li>イ 県立霧島自然ふれあいセンター<br/>郷土料理、郷土探訪（歌碑巡り）等</li> <li>ウ 県立南薩少年自然の家<br/>金峰山登山、自然の家周辺史跡巡り 等</li> <li>エ 県立奄美自然の家<br/>島唄、サンゴクラフト、黒糖づくり 等</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol> |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>（成果）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 小・中学校とも、地域の特色を生かした郷土芸能や伝統産業を体験する活動をはじめ、幅広い体験的な郷土教育が実施されている。             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 郷土教育の全体計画の策定率（100%（小・中学校））</li> <li>(2) 郷土教育（体験的活動など）の実施状況（100%（小・中学校））</li> </ol> </li> <li>2 「かごしまジュニア検定」（小5～中2対象）を各学校で実施した。<br/>受検希望者数 392校 17,449人 合格者数 2,719人</li> <li>3 県立青少年社会教育施設における郷土教育（体験的活動など）を実施し</li> </ol>   |

た。(実施状況：100%)

4 「郷土教育読み物教材開発事業」(平成22年度事業)を企画した。

(課題)

1 各学校における郷土教育の取組の更なる質的充実を図るほか、県教委として、かごしまジュニア検定などの関連施策に積極的に取り組む必要がある。

(今後の方向性)

1 優良事例の紹介等を通じ、県下の郷土教育の更なる充実を図る。

2 「郷土教育読み物教材開発事業」等の着実な実施を図る。

余 白

|                         |  |
|-------------------------|--|
| <p>施策名</p>              | <p>- 社会の変化に対応した教育の推進</p>   |
| <p>施策の目的</p>            | <p>科学技術が急速に発達し，社会を取り巻く環境が大きく変化する中で，時代の変革に的確かつ柔軟に対応できる力を養う教育を充実させる。</p>   |
| <p>施策の方向性</p>           | <p>情報教育，環境教育，福祉教育・ボランティア活動，国際理解教育，消費者教育・金融教育の推進</p>  |
| <p>主な事業等の取組</p>         | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 情報教育             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ICT環境の整備やICTを活用した授業の推進</li> <li>(2) 情報モラルに関する研修・啓発用CD-ROMの作成及び全公立学校への配布</li> </ol> </li> <li>2 環境教育             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各小中学校における体験的な環境学習の推進</li> <li>(2) 環境教育に関する先進的な取組の普及</li> </ol> </li> <li>3 福祉教育・ボランティア活動             <p>福祉・ボランティアに関する体験活動の推進</p> </li> <li>4 国際理解教育             <p>外部機関との連携による国際理解教育の推進</p> </li> <li>5 消費者教育・金融教育             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 消費生活講座（高等学校）等を活用した消費者教育の推進</li> <li>(2) 関係機関との連携による金融教育の推進</li> </ol> </li> </ol>  |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>(成果)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業中にICTを活用して授業ができる教員の割合<br/>(小学校...62.6% 中学校...57.6% 高等学校... 58.7%)</li> <li>2 体験的な環境学習の取組の実施率(100%)</li> <li>3 文部科学省や環境省主催の環境教育に関する指導者養成講座への教員派遣(小学校教員3人，中学校教員3人)</li> <li>4 福祉・ボランティアに関する体験活動の実施率<br/>(小学校...100% 中学校...98.8% 高等学校... 98.7%)</li> <li>5 小学校における外国語活動の先行実施率(98.4%)</li> <li>6 外部人材による消費生活講座の活用(県立高校の61.4%が活用)</li> <li>7 関係機関との連携による研究校の指定<br/>(金融関係...小中高各1校，租税関係...小中学校11校)</li> </ol> <p>(課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ICTを活用して授業ができる教員の割合をさらに高める必要がある。</li> </ol> <p>(今後の方向性)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ほぼ100%の実施率を達成できた取組については，現状を維持しながら内容の充実を図るとともに，ICTを活用した授業ができる教員の割合については，機器の積極的な活用推進と併せて，向上するよう指導していく。</li> </ol> |

施 策 評 価 票

【義務教育課・高校教育課・総務福利課】

|             |  |         |          |          |           |        |        |        |         |
|-------------|--|---------|----------|----------|-----------|--------|--------|--------|---------|
| 施 策 名       | - 開かれた学校づくり  |         |          |          |           |        |        |        |         |
| 施策の目的       | 教職員による学校の自己評価及び保護者等による学校関係者評価の実施・公表による開かれた学校づくりを推進する。  |         |          |          |           |        |        |        |         |
| 施策の方向性      | 1 学校評価（自己評価，学校関係者評価）を生かした学校運営のP D C Aサイクルの充実・改善<br>2 学校，家庭，地域の緊密な連携の推進   |         |          |          |           |        |        |        |         |
| 主な事業等の取組    | 1 学校評価（自己評価，学校関係者評価）を生かした学校運営のP D C Aサイクルの充実・改善<br>(1) 各学校における学校評価の実施と評価結果に基づく改善<br>(2) 学校評価システム実践研究事業〔予算：4,278千円〕<br>小学校11校，中学校9校を指定し，学校におけるより望ましい自己評価や学校関係者評価の在り方等について研究<br>(3) 学校経営の充実に向けた指導<br>ア 指導主事等会議<br>イ 学校訪問指導<br>ウ 管理職研修会<br>エ 県総合教育センターにおける管理職研修講座<br>・ 「学力向上取組ガイド～P D C Aサイクルの確立による実践をとおして」を作成し，全学校に配布<br>2 学校，家庭，地域の緊密な連携の推進<br>(1) 地域が育む「かごしまの教育」県民週間<br>ア 毎年11月1日～7日の期間を「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」として設定<br>イ 「かごしまの教育」への県民の関心を高めるため，学校開放等の行事を期間内に実施<br><table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>県民の参加人数</td> <td>実施学校（園）数</td> </tr> <tr> <td>305,561人</td> <td>1,066校（園）</td> </tr> </table> ウ ポスター原画・標語の募集の実施<br><table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>原画応募件数</td> <td>標語応募件数</td> </tr> <tr> <td>2,259点</td> <td>28,697点</td> </tr> </table> | 県民の参加人数 | 実施学校（園）数 | 305,561人 | 1,066校（園） | 原画応募件数 | 標語応募件数 | 2,259点 | 28,697点 |
| 県民の参加人数     | 実施学校（園）数   |         |          |          |           |        |        |        |         |
| 305,561人    | 1,066校（園）  |         |          |          |           |        |        |        |         |
| 原画応募件数      | 標語応募件数   |         |          |          |           |        |        |        |         |
| 2,259点      | 28,697点  |         |          |          |           |        |        |        |         |
| 成果・課題今後の方向性 | (成果)<br>1 自己評価の公表及び学校関係者評価は，すべての公立小学校，中学校，高等学校及び特別支援学校で実施されている。<br>2 県民の参加者や参加校が多く，県民の教育に対する興味・関心を高めている。<br>(課題)<br>1 自己評価や学校関係者評価等については，評価項目の精選や重点化が課題である。<br>2 実施する内容等について，地域及び学校間にやや温度差が見られる。<br>(今後の方向性)<br>1 評価項目の精選や重点化の推進，評価結果の効果的な活用等の点から，   |         |          |          |           |        |        |        |         |

学校評価の手法について改善を図っていく必要がある。

- 2 県民に対しては，マスコミ等の協力を得て周知の徹底を図るとともに，学校に対しては内容の工夫・改善の推進を図る。

施策評価票

【教職員課，義務教育課，高校教育課】

|                 |   |
|-----------------|---|
| 施策名             | - 学校運営の充実   |
| 施策の目的           | 管理職が社会の要請に的確に対応できる明確なビジョンのもと指導力を発揮するとともに，適正な教職員配置を行う。   |
| 施策の方向性          | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 管理職の資質向上</li> <li>2 管理職の登用を含めた適正な教職員配置</li> </ol>  |
| 主な事業等の取組        | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 管理職の資質向上               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 管理職研修会の開催                   <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 校長研修会（新任，地区別）</li> <li>イ 教頭研修会（新任，経験者【4年目】，地区別）</li> <li>ウ 事務長研修会</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>2 管理職の登用を含めた適正な教職員配置               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 管理職任用標準試験の実施                   <p>対象：本県公立学校の教諭，養護教諭，栄養教諭，事務職員等<br/>[受験者数437人:合格者数256人]</p> </li> <li>(2) 「長期人事異動の標準」に即した人事異動                   <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 学校における職員構成の適正化，気風の刷新，学校教育の充実振興を図るために，長期人事異動の標準に即した人事異動を実施（平成22年度 異動者総数 2,712人）</li> <li>イ 社会情勢の変化に対応した新しい「人事異動の標準」を小中学校・特別支援学校について策定（平成23年度人事異動から適用）</li> </ol> </li> <li>(3) 学校事務の共同実施                   <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 市町村教育委員会や学校長に対して制度を周知</li> <li>イ 共同実施導入に向けて市町村教育委員会に対する指導・助言</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol> |
| 成果・課題<br>今後の方向性 | <p>（成果）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各管理職研修会を通じて，教育に関する確かな理念と高い見識，管理職としての心構え，教育の今日的課題や学校経営上の課題への対応等について，研修を深め，管理職としての経営・管理能力の向上が図られている。</li> <li>2 管理職任用標準試験の合格者のうち，管理職にふさわしい資質と経験を有している者を管理職として登用した。</li> </ol> <p>（課題）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「長期人事異動の標準」に即した人事異動は，全県的な人事交流を行いながら，どのようにして地域に根ざした教育を充実させていくかが課題である。</li> </ol> <p>（今後の方向性）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校事務の共同実施は，市町村教育委員会と協議の上，条件の整ったところから順次導入していくこととしている。</li> </ol>  |

**施策評価票**

【高校教育課，学校施設課，福利厚生課，教職員課】

|                 |  |
|-----------------|--|
| 施策名             | - 公立高等学校の活性化   |
| 施策の目的           | 高等学校としての専門性の確保や教育水準の維持・向上により高等学校教育の充実を図る。  |
| 施策の方向性          | 1 教育活動の充実，学校運営の改善による学校の活性化<br>2 県立高等学校の再編整備の推進   |
| 主な事業等の取組        | <p>1 教育活動の充実，学校運営の改善による学校の活性化</p> <p>(1) 学校評価の推進<br/>自己評価及び学校関係者評価により，教育活動や学校運営等の組織的・継続的な改善を行うとともに，結果を公表することで開かれた信頼される学校づくりを行う。</p> <p>(2) 地元企業，大学等との連携による学校活性化の推進<br/>各学校において，地元企業や大学による出前授業や講演会等を開催</p> <p>2 県立高等学校の再編整備の推進</p> <p>(1) 「かごしま活力ある高校づくり計画」推進事業[予算：328,171千円]<br/>ア 明桜館高校，奄美高校機械電気科の開校及び新入生受け入れに向けての準備<br/>イ 施設・設備等の整備（霧島高校，種子島中央高校，徳之島高校）</p> <p>(2) 再編整備により募集停止となった高校（牧園，栗野工業，中種子，南種子）の教育活動の支援[予算：4,000千円]<br/>学校行事の開催や部活動に必要な会場使用料，講師謝金等の助成</p> <p>(3) 平成23年度以降の高校再編等について県公立高校再編整備等検討委員会で検討</p> <p>(4) 新設校活性化のための教諭等応募制度<br/>新たに設置される高等学校の活性化を図るため，人事異動標準の特例として，意欲と情熱を有する教諭等を本県公立高等学校から募集し配置</p>   |
| 成果・課題<br>今後の方向性 | <p>(成果)</p> <p>1 すべての高校が，保護者，同窓会，学識関係者等からなる学校関係者評価委員による評価を実施し，学力向上や生徒指導の充実など教育活動や学校運営等の改善に活かしている。</p> <p>2 明桜館高校，奄美高校では入学者選抜が実施され入学予定者を決定した。また，牧園，栗野工業，中種子，南種子高校については，最後の卒業生が充実した高校生活を送り卒業した。</p> <p>3 県公立高校再編整備等検討委員会の検討結果は，答申（今後の生徒減少に対応した公立高校の在り方）として取りまとめられ教育長に提出された。</p> <p>(課題)</p> <p>1 学校関係者評価委員の提言を，更に学校経営に具体的に活かすことが求められる。</p> <p>2 今後，大幅な生徒減少が続くことが見込まれており，高校に求められる専門性や一定の教育水準を確保するためには，現在の学校配置で対応することは困難であることから，今後の生徒減少に対応した公立高校の在り方について県教委として一定の方向性を示す必要がある。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>1 生徒の職業観の育成，具体的な進路目標の設定のために，地元企業や大学との連携を更に推進する。</p> <p>2 県公立高校再編整備等検討委員会の答申に基づき，平成22年度中に今後の公立高校の在り方についての県教委の方針を策定し，これに基づいて本県高校教育の充実・振興を図るための諸施策を実施していく。</p> |

|                         |   |
|-------------------------|---|
| <p>施策名</p>              | <p>- へき地・小規模校教育の振興</p>  |
| <p>施策の目的</p>            | <p>本県公立学校の半分以上を占めるへき地・小規模校の教育の振興を図る。</p>  |
| <p>施策の方向性</p>           | <p>1 へき地・小規模校の「よさ」を生かした特色ある教育活動の推進<br/>2 複式学級やへき地・小規模校における指導の在り方など，教員の指導力の向上及びへき地・小規模校に勤務する教職員の研修機会の確保</p>  |
| <p>主な事業等の取組</p>         | <p>1 へき地・小規模校の「よさ」を生かした特色ある教育活動の推進<br/>(1) へき地・小規模校教育優秀校の表彰<br/>へき地・小規模校のよさを生かした特色ある教育活動を推進する学校を県内5ブロックから選出し，6校を表彰<br/>(2) へき地・複式教育指導資料集の作成・配布や実践事例の紹介<br/>リーフレット「南北600キロの教育」を作成し，県下のへき地・複式の学校に在籍する全教職員，その他の小中学校，全市町村教育委員会，総合教育センターに配布（毎年度実施）<br/>2 複式学級やへき地・小規模校における指導の在り方など，教員の指導力の向上及びへき地・小規模校に勤務する教職員の研修機会の確保<br/>(1) 学校訪問による指導<br/>離島へき地を含む県内のへき地・小規模校を訪問し，指導方法などを指導助言<br/>(2) 大規模校との交流学习の促進<br/>大和村立大柵小学校と鹿児島市立谷山小学校 など<br/>(3) へき地等で行う研修や総合教育センターが行う研究提携事業，複式学級担任や中学校免許外教科担任教員を対象とした研修の一層の充実<br/>ア 総合教育センター研究提携校：奄美市立宇宿小学校（2年に1回研究公開を実施）<br/>イ 小学校複式学習指導講座の実施（南薩・揖宿，北薩，出水，始良・伊佐，大隅，甕島，種子島，徳之島の8地域，受講者数104人）<br/>ウ 県内10地域での移動講座の実施（受講者数709人）<br/>3 全国へき地教育研究大会鹿児島大会の開催<br/>(1) 研究主題 「ふるさとでの学びを生かし，新しい時代を築く心豊かな子どもの育成」<br/>(2) 期 日 10月15日～16日<br/>(3) 全体会 宝山ホール，奄美パーク（サテライト中継）<br/>（参加者数：646人）<br/>(4) 分散会 黎明館，奄美パークほか2会場6分散会（参加者数：509人）<br/>(5) 分科会 鹿児島市立黒神小学校他14校11分科会<br/>（参加者数：1,321人）</p> |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>（成果）<br/>1 全国学力・学習状況調査及び「基礎・基本」定着度調査の結果では，小・中学校とも，離島・へき地にある学校とそれ以外の学校との有意の学力差は生じていない。</p>  |

(課題)

- 1 全国学力・学習状況調査及び「基礎・基本」定着度調査の結果を踏まえ、離島・へき地の学校を含めた本県全体の学力向上を目指した学習指導の充実を一層図る必要がある。

(今後の方向性)

- 1 今後、児童生徒の減少が続くことが予想されることや、離島・へき地が多い本県の地理的特徴などから、複式学級における指導方法の研修の充実など、小規模校における教育の振興に対する取組が必要である。

施策評価票

【教職員課，義務教育課，高校教育課，保健体育課，総務福利課】

|          |   |
|----------|---|
| 施策名      | - 教職員の資質向上  |
| 施策の目的    | 教育者としての使命感や責任感，教育の専門家としての確かな力量など，教職員としての資質能力の向上を図るため，養成，採用，研修の各段階での取組の充実を図るとともに，人事評価制度の充実など適切な人事管理を行うことにより，教職員の資質向上に努める。  |
| 施策の方向性   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 優れた人材の確保</li> <li>2 資質・能力の向上</li> <li>3 教職員人事評価制度の一層の充実</li> <li>4 教職員研修の充実</li> <li>5 教職員等の福利厚生の充実</li> </ol>   |
| 主な事業等の取組 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 優れた人材の確保<br/>専門的な知識，教育に対する情熱や使命感を備え，人間的な魅力を持つ優れた人材を確保するため，鹿児島県公立学校教員選考試験を実施</li> <li>2 資質・能力の向上             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教員免許更新制の周知                 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 免許更新制に係る申請手続等について周知を図るとともに，対象者の把握のため，受講状況調査等を実施</li> <li>イ 鹿児島大学など県内大学等が実施する更新講習を教職員へ周知</li> </ol> </li> <li>(2) 免許法認定講習の実施<br/>延べ754人が受講（於：鹿児島大学）</li> <li>(3) 「資質の向上を必要とする教員」の人事管理<br/>教諭1人を「指導が不適切な教員」に認定（研修後復帰）</li> </ol> </li> <li>3 教職員人事評価制度の一層の充実             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教職員の人事評価<br/>教職員の意欲を高め，資質能力の向上を図ることにより学校組織を活性化させることを目的とし，教職員の人事評価を実施</li> <li>(2) 優秀教職員表彰<br/>学校教育における教育実践等に顕著な実績のある教職員30人を表彰</li> </ol> </li> <li>4 教職員研修の充実             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 職種に応じた研修会の開催                 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 管理職研修会，養護教諭研修会（新規採用者，5年目，10年目），栄養教諭研修会（10年目研修），事務職員研修会（新規採用者，職階研修等）</li> <li>イ 経験年次に応じた研修<br/>初任校研修，5年経験者研修，10年経験者研修</li> <li>ウ 担当業務に応じた研修<br/>中学校免許外教科担任教員研修会，特別支援学級等新任担当教員研修会等</li> <li>エ 教員の希望に応じた研修<br/>教育センターや県内各地区において，教員の希望に応じた短期研修の開催<br/>109講座 2,062人参加</li> <li>オ その他の研修                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(ア) 教員民間企業等派遣研修<br/>教員が社会人としての視野を広げるとともに，企業現場で実際に体験した成果を学校で生かすことを目的に県内の民間企業等に派遣(10人を9企業に派遣)</li> <li>(イ) 大学院への派遣<br/>毎年，初等中等教育の実践に関わる諸科学の総合的・専門的研究を通して生涯にわたる初等中等教員としての高度の資質や力量の涵養を図るために，大学院に派遣（3校（鹿児島大学大学院，兵庫教育大学大学院，鳴門教育大学大学院）に計11人）</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol> </li> </ol> |

|                         |   |
|-------------------------|---|
|                         | <p>(ウ) 未来を拓くかごしまの教育シンポジウム<br/>県外研修や民間企業派遣研修等で得た成果を他の教員との共有を図るため、シンポジウムを実施（161人参加）</p> <p>(I) 県立高校学力向上推進プロジェクト事業<br/>高校の教員の教科指導力を高めるため、学力向上推進委員を指名し、県外視察や研修を実施するとともに、地区別の小中高連携教科研究や夏休みに開催する「夏トライ・グレード・アップゼミ」において、優れた指導方法の共有を図る。</p> <p>(オ) ICT活用教育推進アドバイザー派遣事業（平成21年度単年度事業）<br/>県立学校のすべての教員がICTを活用した学習指導等を行う技能を習得するよう、ICT活用教育推進アドバイザーを派遣、授業改善等のための教員研修やICT教材活用などの支援を実施</p> <p>5 教職員等の福利厚生充実</p> <p>(1) 教職員住宅維持補修事業〔予算：129,010千円〕<br/>教職員住宅の居住環境の維持改善のため、外壁補修，風呂釜取替，流し台取替・浴室塗装等を実施（管理戸数 1,546戸）</p> <p>(2) 教職員相談事業〔予算：2,994千円〕<br/>教職員が健康で明るい職場環境のもとで職務に専念できるようにするため，教職員相談員の配置や医師3人をメンタルヘルスカウンセラーとして委嘱し，教職員の悩み，不安等に対する相談を実施</p>   |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>(成果)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教職員の人事評価については，教職員から，管理職との面談を通して自分の考えや取組について，定期的に話し合えてよかったなどの感想が寄せられている。</li> <li>2 職種や経験に応じた研修内容を実施することで，それぞれの職務に対する自覚や実践力を高めることができた。</li> <li>3 研修成果やすぐれた教科指導方法等の周知により，他の教員も情報を共有することができた。</li> <li>4 老朽化が著しい住宅の維持補修を随時行い，教職員の居住環境の改善に努めた。</li> <li>5 教職員の多岐にわたる相談内容の解決を図ることができた。       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教職員よろず相談実績 284件</li> <li>(2) メンタルヘルス相談実績 29件</li> </ol> </li> </ol> <p>(課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人事評価について，教職員の努力や実績をよりの確に評価するために，評価者の評価能力を向上させることが必要である。</li> <li>2 年々老朽化する教職員住宅の居住環境の改善に努めるため，住宅の維持補修の予算確保が必要である。</li> <li>3 教職員の多岐にわたる相談内容に対応するため，カウンセリングの知識と技術の向上が必要である。</li> </ol> <p>(今後の方向性)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 より一層の公正かつ客観的な評価を確立するとともに，そのための評価者能力の向上に向けた研修の実施に努める。</li> <li>2 維持補修に必要な予算の確保に努め，緊急度が高いものから優先的に補修を行う。</li> <li>3 講習等を通して教職員相談員のカウンセリングの知識等を深めることで，各種相談に対応できるように努める。</li> </ol> |

施策評価票

【学校施設課，総務福利課，高校教育課】

| 施策名                | - 教育環境の整備・充実   |           |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
|--------------------|--|-----------|--------------------------------|--------|---------|--------|---------------|-----------|--------|------------|-----------------------------|-----------|------------|------------|--------------------------------|---------|--|--------------|---|--------|--|---------|---|---------|--|------------|------|--------|---------|--------------|---|--------|--|--------------------|---|---------|--------|------------|---|-------|--|------------|---|---------|--|-------------|----|--------|--|------------|----|---------|--|--------------|----|--------|--|--------------|----|-------|--|--------------|---|---------|--|--------------|----|---------|---------|----------------|---|-------|--|--------------|----|--------|--|----------------|----|-------|--|---------------|---|--------|--------|-----------------|----|---------|
| 施策の目的              | 学校施設の老朽化対策，学校におけるICT環境の整備，経済的な理由により就（修）学困難な児童生徒への支援など，教育環境の整備・充実を図る。   |           |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 施策の方向性             | 1 学校施設の機能改善と質的整備<br>2 経済的な理由により就（修）学困難な児童生徒への支援  |           |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 主な事業等の取組           | 1 学校施設の機能改善と質的整備<br>(1) 老朽化した学校施設の改修による機能改善や社会状況の変化，多様な学習活動等に対応した学校施設の質的整備（下表のとおり）   |           |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
|                    | <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業名</th> <th colspan="2">H21年度実績</th> <th rowspan="2">翌年繰越額<br/>(千円)</th> </tr> <tr> <th>学校数(校)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高等学校建物整備事業</td> <td>70</td> <td>2,568,496</td> <td>1,878,579</td> </tr> <tr> <td>県立高校屋体改築事業</td> <td>1</td> <td>179,137</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県立高校空調設備整備事業</td> <td>8</td> <td>45,462</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運動場整備事業</td> <td>2</td> <td>112,778</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高等学校耐震診断事業</td> <td>延べ87</td> <td>84,702</td> <td>157,075</td> </tr> <tr> <td>県立高校体育施設整備事業</td> <td>2</td> <td>71,007</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県立奄美高校・県立奄美図書館整備事業</td> <td>1</td> <td>872,545</td> <td>64,490</td> </tr> <tr> <td>県立高校環境整備事業</td> <td>2</td> <td>4,725</td> <td></td> </tr> <tr> <td>産業教育施設整備事業</td> <td>5</td> <td>250,449</td> <td></td> </tr> <tr> <td>理科教育等設備整備事業</td> <td>64</td> <td>41,139</td> <td></td> </tr> <tr> <td>産業教育設備整備事業</td> <td>33</td> <td>121,752</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県立高校パソコン整備事業</td> <td>70</td> <td>98,600</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県立学校給食設備改善事業</td> <td>15</td> <td>7,074</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鹿児島盲学校施設整備事業</td> <td>1</td> <td>605,605</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別支援学校建物整備事業</td> <td>15</td> <td>334,656</td> <td>212,414</td> </tr> <tr> <td>特別支援学校空調設備整備事業</td> <td>1</td> <td>9,965</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別支援学校管理運営事業</td> <td>15</td> <td>29,562</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別支援学校パソコン整備事業</td> <td>15</td> <td>4,423</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鹿児島養護学校施設整備事業</td> <td>1</td> <td>14,772</td> <td>27,490</td> </tr> <tr> <td>県立学校地球温暖化対策推進事業</td> <td>65</td> <td>456,875</td> <td>1,026,894</td> </tr> </tbody> </table> |           |                                | 事業名    | H21年度実績 |        | 翌年繰越額<br>(千円) | 学校数(校)    | 金額(千円) | 高等学校建物整備事業 | 70                          | 2,568,496 | 1,878,579  | 県立高校屋体改築事業 | 1                              | 179,137 |  | 県立高校空調設備整備事業 | 8 | 45,462 |  | 運動場整備事業 | 2 | 112,778 |  | 高等学校耐震診断事業 | 延べ87 | 84,702 | 157,075 | 県立高校体育施設整備事業 | 2 | 71,007 |  | 県立奄美高校・県立奄美図書館整備事業 | 1 | 872,545 | 64,490 | 県立高校環境整備事業 | 2 | 4,725 |  | 産業教育施設整備事業 | 5 | 250,449 |  | 理科教育等設備整備事業 | 64 | 41,139 |  | 産業教育設備整備事業 | 33 | 121,752 |  | 県立高校パソコン整備事業 | 70 | 98,600 |  | 県立学校給食設備改善事業 | 15 | 7,074 |  | 鹿児島盲学校施設整備事業 | 1 | 605,605 |  | 特別支援学校建物整備事業 | 15 | 334,656 | 212,414 | 特別支援学校空調設備整備事業 | 1 | 9,965 |  | 特別支援学校管理運営事業 | 15 | 29,562 |  | 特別支援学校パソコン整備事業 | 15 | 4,423 |  | 鹿児島養護学校施設整備事業 | 1 | 14,772 | 27,490 | 県立学校地球温暖化対策推進事業 | 65 | 456,875 |
| 事業名                | H21年度実績  |           | 翌年繰越額<br>(千円)                  |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
|                    | 学校数(校)   | 金額(千円)    |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 高等学校建物整備事業         | 70   | 2,568,496 | 1,878,579                      |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 県立高校屋体改築事業         | 1  | 179,137   |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 県立高校空調設備整備事業       | 8  | 45,462    |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 運動場整備事業            | 2  | 112,778   |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 高等学校耐震診断事業         | 延べ87   | 84,702    | 157,075                        |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 県立高校体育施設整備事業       | 2  | 71,007    |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 県立奄美高校・県立奄美図書館整備事業 | 1  | 872,545   | 64,490                         |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 県立高校環境整備事業         | 2  | 4,725     |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 産業教育施設整備事業         | 5  | 250,449   |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 理科教育等設備整備事業        | 64   | 41,139    |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 産業教育設備整備事業         | 33   | 121,752   |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 県立高校パソコン整備事業       | 70   | 98,600    |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 県立学校給食設備改善事業       | 15   | 7,074     |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 鹿児島盲学校施設整備事業       | 1  | 605,605   |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 特別支援学校建物整備事業       | 15   | 334,656   | 212,414                        |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 特別支援学校空調設備整備事業     | 1  | 9,965     |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 特別支援学校管理運営事業       | 15   | 29,562    |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 特別支援学校パソコン整備事業     | 15   | 4,423     |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 鹿児島養護学校施設整備事業      | 1  | 14,772    | 27,490                         |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 県立学校地球温暖化対策推進事業    | 65   | 456,875   | 1,026,894                      |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
|                    | (2) 県立学校のICT環境の整備については，国の補助金等を活用し，教職員の校務用パソコン及び普通教室の校内LAN整備を行った。   |           |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
|                    | <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>数量等</th> <th>金額(千円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校務用コンピュータ</td> <td>2,318台</td> <td>292,484</td> <td>平成21年度末において，教員1人当たり1台を整備した。</td> </tr> <tr> <td>校内LAN</td> <td>55校</td> <td>209,715</td> <td>移転・統廃合予定校を除く全校について，校内LANを整備した。</td> </tr> </tbody> </table>  |           |                                | 種別     | 数量等     | 金額(千円) | 備考            | 校務用コンピュータ | 2,318台 | 292,484    | 平成21年度末において，教員1人当たり1台を整備した。 | 校内LAN     | 55校        | 209,715    | 移転・統廃合予定校を除く全校について，校内LANを整備した。 |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 種別                 | 数量等  | 金額(千円)    | 備考                             |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 校務用コンピュータ          | 2,318台   | 292,484   | 平成21年度末において，教員1人当たり1台を整備した。    |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 校内LAN              | 55校  | 209,715   | 移転・統廃合予定校を除く全校について，校内LANを整備した。 |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
|                    | 2 経済的な理由により就（修）学困難な児童生徒への支援<br>(1) 育英財団貸付事業〔予算：2,062,287千円〕<br>修学困難な学生・生徒への奨学金貸与の原資として，県育英財団に貸付を実施（貸付金額 平成21年度 2,039,320千円）<br>(2) 県立高等学校の授業料の減額・免除〔予算：-〕<br>経済的理由等により修学が困難な生徒に対して，授業料の減額・免除を実施（授業料の減額・免除者数 平成21年度 4,800人（全生徒数に対する割合14.27%））<br>(3) 定時制・通信制課程高校における教科書等給与及び修学資金貸与  |           |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
|                    | <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">教科書等給与</th> <th colspan="2">修学資金貸与</th> </tr> <tr> <th>給与人数</th> <th>給与額</th> <th>貸与人数</th> <th>貸与見込額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>467人</td> <td>4,348,700円</td> <td>12人</td> <td>1,946,000円</td> </tr> </tbody> </table>  |           |                                | 教科書等給与 |         | 修学資金貸与 |               | 給与人数      | 給与額    | 貸与人数       | 貸与見込額                       | 467人      | 4,348,700円 | 12人        | 1,946,000円                     |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 教科書等給与             |  | 修学資金貸与    |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 給与人数               | 給与額  | 貸与人数      | 貸与見込額                          |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
| 467人               | 4,348,700円   | 12人       | 1,946,000円                     |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |
|                    | (成果)   |           |                                |        |         |        |               |           |        |            |                             |           |            |            |                                |         |  |              |   |        |  |         |   |         |  |            |      |        |         |              |   |        |  |                    |   |         |        |            |   |       |  |            |   |         |  |             |    |        |  |            |    |         |  |              |    |        |  |              |    |       |  |              |   |         |  |              |    |         |         |                |   |       |  |              |    |        |  |                |    |       |  |               |   |        |        |                 |    |         |

- 1 県立学校施設の老朽化対策として下記のとおり実施した。  
耐震化については、耐震診断の結果、緊急性の高いものから優先的に耐震化を推進したところ、耐震化率が全国平均を上回った。(特別支援学校：耐震化率100%)  
老朽化した学校施設の改修による安全性の確保や社会状況の変化、多様な学習活動等に対応した学校施設の質的整備を図るため、これまで、統廃合や施設の集約化等を行いながら、効率的な施設整備に努めてきている。  
特に、老朽化の著しい鹿児島盲・聾・養護学校については、順次、整備に着手することにしており、平成21年度においては鹿児島盲学校で工事着手、鹿児島養護学校で基本設計の実施を行ったところである。

- 2 環境に優しい学校施設の整備の推進のために、太陽光パネル設置や屋上緑化を推進した。

|          | 小・中学校 | 県立学校        |
|----------|-------|-------------|
| 太陽光パネル設置 | 46校   | 41校(繰越分を含む) |
| 屋上緑化実施   |       | 32校(繰越分を含む) |

- 3 県及び県内市町村の公立学校におけるICT環境の整備状況は、平成21年度末時点で、教育用パソコンが児童生徒4.5人に1台、校務用パソコンが教員1人に0.9台、普通教室の校内LANが90.4%となっている。
- 4 就(修)学困難な学生・生徒への奨学資金を貸与するため、県育英財団に原資の貸付を行いその充実に努めた。  
《参考》県育英財団の貸与実績  
平成21年度 6,931人 2,208,591千円
- 5 授業料減免の実施により、生徒(保護者)の教育費負担の軽減が図られた。

(課題)

- 1 県立高校施設について、築後40年以上経過したものが約3割(平成21年5月1日現在)を占めており、今後、老朽化で建て替えなければならない建物が急激に増加する見込みであり、これらの効率的な建替等のためには、耐力度調査等に基づき年次計画的に進める必要がある。  
また、建替と併せて、空調整備やエコ改修、バリアフリー化等の質的整備も検討が必要となる。
- 2 悪化した雇用情勢の回復の兆しも見えないこともあり、奨学金貸与を希望する生徒もことから、奨学金の貸付原資の確保が必要である。

(今後の方向性)

- 1 老朽化した建物の建て替えには、大きな財政負担を伴うことから、建替等の整備に対応する国の支援の拡充を要請していく。
- 2 県立学校のICT環境の整備に引き続き努めるとともに、利用の促進を図る。
- 3 保護者の失業等により、生徒が修学を断念することがないように支援するため、今後も育英財団に対して必要な奨学金原資の貸付を行う。
- 4 県立高等学校においては、平成22年度から専攻科に在籍する生徒を除き授業料を徴収しないこととしているが、引き続き授業料を徴収することとなる専攻科生徒(鹿児島水産高校、野田女子高校)が経済的理由から修学を断念することのないよう、授業料減免制度を実施する。

| <p>施策名</p>              | <p>- 私立学校教育の振興</p>   |  |       |      |          |     |          |     |          |     |          |
|-------------------------|--|--|-------|------|----------|-----|----------|-----|----------|-----|----------|
| <p>施策の目的</p>            | <p>学校教育において重要な役割を果たしている私立学校について、その自主性を尊重しつつ、助成等により私立学校教育の振興に努める。</p>   |  |       |      |          |     |          |     |          |     |          |
| <p>施策の方向性</p>           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 私立学校の教育条件の維持・向上，健全な発達を図る。</li> <li>2 時代のニーズに即応した高度な専門的技術や知識を持った人材の育成に努める。</li> </ol>  |  |       |      |          |     |          |     |          |     |          |
| <p>主な事業等の取組</p>         | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育条件の維持向上，修学上の経済的負担の軽減，経営の健全性の向上に対する支援<br/>             私立学校運営費補助〔予算：8,090,712千円〕<br/>             生徒一人当たり補助単価<br/> <table border="1" data-bbox="498 798 852 1018"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高等学校</td> <td>310,900円</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>296,261円</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>296,084円</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td>170,153円</td> </tr> </tbody> </table>             魅力ある私立学校づくり補助〔予算：200,880千円〕<br/>             「魅力ある私立学校づくり」を推進するため，教育用設備の整備や特色のある教育の推進に要する経費に対し助成           </li> <li>2 私立高等学校の生徒に係る修学上の経済的負担の軽減に対する支援<br/>             私立高等学校入学金補助〔予算：2,842千円〕<br/>             私立高等学校授業料補助〔予算：205,326千円〕           </li> <li>3 私立専修学校における専門的技術等の職業教育への取組に対する支援<br/>             私立専修学校運営費補助〔予算：33,221千円〕           </li> </ol> |  | H21年度 | 高等学校 | 310,900円 | 中学校 | 296,261円 | 小学校 | 296,084円 | 幼稚園 | 170,153円 |
|                         | H21年度  |  |       |      |          |     |          |     |          |     |          |
| 高等学校                    | 310,900円   |  |       |      |          |     |          |     |          |     |          |
| 中学校                     | 296,261円   |  |       |      |          |     |          |     |          |     |          |
| 小学校                     | 296,084円   |  |       |      |          |     |          |     |          |     |          |
| 幼稚園                     | 170,153円   |  |       |      |          |     |          |     |          |     |          |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>(成果)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 私立学校に対し，上記の支援を行い，私立学校の教育条件の維持向上等につながっている。</li> <li>2 英語，情報，パティシエ，看護等の特色ある学科等，不登校経験のある生徒を支援するコースが設けられ，生徒の様々なニーズに応える特色ある教育を実施している。</li> <li>3 外国人教員の指導による生徒の英会話力の向上，情報処理検定等の国家資格・免許の取得が図られている。</li> <li>4 サッカー等のスポーツや吹奏楽等の文化活動において，県内の大会で活躍するとともに，全国大会等でも好成績をあげている。</li> <li>5 入学金及び授業料の減免を行い，生徒の修学上の経済的負担の軽減を支援した。<br/>(H21年実績：入学金532人，授業料1,744人)</li> <li>6 専修学校においては，情報，医療・福祉など専門的技術等の学科を設け，学生の様々なニーズに応える特色ある職業教育を実施するとともに，「しごとフェア」を開催して，高校生等の職業意識の高揚に努めた。</li> </ol> <p>(課題)</p> <p>私立高等学校等への入学者数の減少への対応や厳しい経済・雇用情勢に適応できる人材の育成を図るため，生徒のニーズに対応できる「魅力ある学校づくり」への取組が求められている。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>教育条件の維持向上，修学上の経済的負担の軽減及び学校経営の健全化を確保するため，国に対し，助成の一層の充実を要望するとともに，入学金・授業料補助制度等の周知に努める必要がある。</p>  |  |       |      |          |     |          |     |          |     |          |

|                         |  |
|-------------------------|--|
| <p>施策名</p>              | <p>- 魅力ある県立短期大学づくり</p>   |
| <p>施策の目的</p>            | <p>自ら将来の課題を探求し、幅広い視野をもって柔軟かつ総合的にその課題を解決する力(課題探求・解決能力)を有する人材を育成する。</p>  |
| <p>施策の方向性</p>           | <p>国際化、情報化などの時代の要請に対応するとともに、地域社会に貢献できる人材育成を目指した教育内容の充実などを図ることによる魅力ある県立短期大学づくりの推進</p>   |
| <p>主な事業等の取組</p>         | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 外部の公的評価機関による認証評価に基づく教育内容の充実及び施設整備等<br/>大学認証評価事業〔予算：439千円〕<br/>教育・研究等の状況について、自ら点検・評価を行い、評価機関の評価に供するための自己点検・評価報告書を作成。</li> <li>2 教育内容の充実及び施設整備等<br/>学生による授業改善アンケート、授業改善自主研修等の実施<br/>施設整備事業〔予算：25,237千円〕<br/>施設の補修、エアコンの整備等のほか、校舎等の耐震診断を実施。</li> <li>3 情報関連科目などの教育の実施</li> <li>4 外国の大学との学術交流による国際感覚の醸成及び社会活動等の推進<br/>国際学術交流事業〔予算：1,304千円〕<br/>中国、ハワイ及びインドネシアの大学に学生を派遣し、異文化体験・異文化コミュニケーションの授業を実施。また、中国の大学との相互短期交換留学を実施。<br/>社会活動及び企業研修の授業により、ボランティア活動体験、企業における就業体験を実施</li> </ol>  |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>(成果)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自己点検・評価の取組により、教育・研究、組織・運営及び施設・設備について、現状、課題、改善方策の整理を行った。</li> <li>2 授業改善アンケートにより、各教員が学生の意向を把握することができた。</li> <li>3 1号棟の耐震補強計画、2号棟、3号棟及び附属図書館の耐震診断が終了した。</li> <li>4 異文化体験・異文化コミュニケーションの授業により、学生の異文化や外国語への認識が深まった。</li> <li>5 社会活動等の授業により、学生が自ら職業適性や将来計画を考える機会となり、自立的に考え行動できることに役立てた。</li> </ol> <p>(課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自己点検・評価の取組成果を全学の共通認識として位置づける必要がある。</li> <li>2 老朽化した施設や設備の更新や、耐震化対策を計画的に実施する必要がある。</li> <li>3 地域社会の多様なニーズや国際化に応えられる人材の育成を図る必要がある。</li> </ol> <p>(今後の方向性)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成22年度に受ける認証評価に基づき、各分野において、具体的な取り組みを進める。</li> <li>2 授業改善のため学生に対する中間アンケートの実施等により授業内容の検討を行う。</li> <li>3 耐震診断の結果に基づく耐震工事や、必要な施設の耐震化に向けた準備を促進する。</li> <li>4 国際学術交流への参加学生を募り、継続して実施する。</li> </ol> |

**施 策 評 価 票**

【社会教育課・義務教育課・総務福利課】

|                 |  |         |          |          |           |        |        |        |         |
|-----------------|--|---------|----------|----------|-----------|--------|--------|--------|---------|
| 施 策 名           | - 地域住民が支援する「地域の中の学校」づくりの推進   |         |          |          |           |        |        |        |         |
| 施 策 の 目 的       | 本県には、地域住民同士の結びつきや助け合いの精神が残っていることに加え、教育を大事にする伝統があり、このような鹿児島特性を生かした、鹿児島らしい「地域の中の学校」づくりを推進する。   |         |          |          |           |        |        |        |         |
| 施 策 の 方 向 性     | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域が学校を支援するための体制づくりの推進</li> <li>2 地域ボランティアを活用しやすい体制整備のためのコーディネーター養成</li> </ol>   |         |          |          |           |        |        |        |         |
| 主 な 事 業 等 の 取 組 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域が学校を支援するための体制づくりの推進               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 地域による学校支援モデル事業（文部科学省事業名：学校支援地域本部事業）〔予算：36,136千円〕                   <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 地域による学校支援モデル事業推進協議会<br/>「地域による学校支援モデル事業」の事業検証をもとに鹿児島県における地域による学校支援の在り方について検討及び地域の教育力向上に資するための協議                       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委 員 員 11人<br/>学校教育，関係機関・団体，学識経験者，行政等の関係者で構成</li> <li>・ 会議開催 年2回開催（7月30日，1月22日）</li> </ul> </li> <li>イ 事業の広報・啓発                       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報リーフレット作成 20,000部<br/>配布先 県内全小・中学校，市町村教育委員会，教育機関等</li> <li>・ 社会教育主事等研修会での啓発<br/>開催 7月2日，3日<br/>内 容 講演（大分大学・中川忠宣氏），講義，事例発表など</li> </ul> </li> <li>ウ 地域コーディネーター養成研修会の開催</li> <li>エ 市町村におけるモデル事業の実施を委託<br/>8市町24本部（7中学校，45小学校）<br/>（鹿児島市，指宿市，いちき串木野市，瀬戸内町，天城町，南さつま市，姶良町，和泊町）                       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域コーディネーター 29人（退職教員，PTA関係者など）</li> <li>・ 学校支援ボランティア 延べ25,042人</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>(2) 地域ぐるみで学校運営を支援する体制の整備                   <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 「『かごしま学校応援団』推進プロジェクト」の策定</li> <li>イ 事業の広報・啓発                       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2回社会教育行政研修会での市町村教委への広報・啓発（2月12日）</li> <li>・ 広報リーフレット配布 20,000部</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>(3) 地域が育む「かごしまの教育」県民週間                   <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 毎年11月1日～7日の期間を「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」として設定</li> <li>イ 「かごしまの教育」への県民の関心を高めるため，学校開放等の行事を期間内に実施                       <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>県民の参加人数</td> <td>実施学校（園）数</td> </tr> <tr> <td>305,561人</td> <td>1,066校（園）</td> </tr> </table> </li> <li>ウ ポスター原画・標語の募集の実施                       <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>原画応募件数</td> <td>標語応募件数</td> </tr> <tr> <td>2,259点</td> <td>28,697点</td> </tr> </table> </li> </ol> </li> </ol> </li> </ol> <li>2 地域ボランティアを活用しやすい体制整備のためのコーディネーター養成               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 地域コーディネーター養成研修会の開催<br/>鹿児島市：10月23日，奄美市：11月13日（参加者計88人）</li> </ol> </li> | 県民の参加人数 | 実施学校（園）数 | 305,561人 | 1,066校（園） | 原画応募件数 | 標語応募件数 | 2,259点 | 28,697点 |
| 県民の参加人数         | 実施学校（園）数   |         |          |          |           |        |        |        |         |
| 305,561人        | 1,066校（園）  |         |          |          |           |        |        |        |         |
| 原画応募件数          | 標語応募件数   |         |          |          |           |        |        |        |         |
| 2,259点          | 28,697点  |         |          |          |           |        |        |        |         |
| ( 成 果 )         | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「現状を生かした鹿児島らしい地域による学校支援の在り方」について，研究・協議を行い，「『かごしま学校応援団』推進プロジェクト」を策定し</li> </ol>  |         |          |          |           |        |        |        |         |

|                         |  |
|-------------------------|--|
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>た。</p> <p>2 「県民週間」への参加者や参加校が多く，県民の教育に対する興味・関心を高めている。</p> <p>3 地域が学校を支援する具体的な手立て等がわかり，地域コーディネーターとしての資質が高まった。</p> <p>(課題)</p> <p>1 委託事業の成果や市町村の取組状況等を情報提供するなど，地域が学校を支援するための体制づくりの推進に努める必要がある。</p> <p>2 「県民週間」における実施内容等について，地域及び学校間にやや温度差が見られる。</p> <p>3 学校支援モデル事業終了後のコーディネーター養成の在り方について検討する必要がある。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>1 各種会議や研修会等で広報するとともに，県内の各市町村にかごしま学校応援団地域本部が設置されるよう指導・助言に努める。</p> <p>2 県民に対しては，マスコミ等の協力を得て，「県民週間」の周知の徹底を図るとともに，学校に対しては内容の工夫・改善の推進を図る。</p> <p>3 地域コーディネーターの養成については，生涯学習リーダー養成研修会で実施する。</p> |
|-------------------------|--|

|                         |   |
|-------------------------|---|
| <p>施策名</p>              | <p>－ 地域ぐるみでの子どもの育成</p>  |
| <p>施策の目的</p>            | <p>子どもが生活し，成長する場として重要な役割を果たしている地域において，住民が一体となって心豊かでたくましい子どもを育成する。</p>   |
| <p>施策の方向性</p>           | <p>1 青少年のリーダーや指導者の育成</p>  |
| <p>主な事業等の取組</p>         | <p>1 青少年のリーダーや指導者の育成<br/>                     (1) 生涯学習リーダー研修（初級・中級）<br/>                     [ジュニア・リーダー研修とあわせた予算：504千円]<br/>                     ア 趣 旨<br/>                     少年団体や青年団体，女性団体，高齢者団体，PTAの組織・運営等に<br/>                     必要な知識・技能に関する研修をとおして，それぞれの団体活動の充<br/>                     実を図るとともに，団体有志指導者の養成・確保に資する。<br/>                     イ 期 日 5月～3月<br/>                     ウ 対 象 少年団体成人指導者，青年団体指導者，女性教育指導者，<br/>                     PTA指導者，高齢者教育指導者，<br/>                     エ 内 容 「現状と課題」，「指導者の役割」，「活動計画の立て方」，「効<br/>                     果的な広報の仕方」，「話し合いの進め方」，「レクリエーション<br/>                     活動」，「ボランティア活動の推進」，「人権教育」<br/>                     (2) ジュニア・リーダー研修（初級・中級）<br/>                     ア 趣 旨<br/>                     各市町村で行われた初級研修を基礎とし，少年団体活動のあり方や<br/>                     リーダーの役割等の講義，レクリエーション指導法やボランティア活動<br/>                     などの実技等により実践的な研修をし，ジュニア・リーダーとしての資<br/>                     質の向上を図る。<br/>                     イ 期 日 7月～1月<br/>                     ウ 対 象 ジュニア・リーダー，高校生クラブ会員<br/>                     エ 内 容 レクリエーション活動，講義，演習，実技<br/>                     (3) 県PTA活動研究委嘱公開<br/>                     ア 趣 旨<br/>                     PTA活動の在り方等についての研究を小・中・高校の単位PTAや<br/>                     市町村のPTA連絡協議会に2年間委嘱し，会員の研修活動及び研究成<br/>                     果の公開や紙上発表等をとおして，PTA活動の一層の充実を図るとと<br/>                     もに，家庭や地域の教育力の向上に資する。<br/>                     イ 公開会場<br/>                     11地区12会場（～21年度） 7地区9会場予定（22年度～）</p> |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>(成果)<br/>                     1 少年団体成人指導者，PTA指導者研修会に参加した子ども会やPTA<br/>                     等の関係者が，地域及びPTA活動のリーダーとして活動している。<br/>                     (課題)<br/>                     1 受講者の積極的な活用が図られていない。<br/>                     2 活力ある地域づくりのために，各団体のリーダーの連携を図る必要があ<br/>                     る。<br/>                     (今後の方向性)<br/>                     1 各種団体が独自でリーダーを養成できるようにするとともに，各種団体<br/>                     等の横断的な情報の収集や地域の教育力を総合的にコーディネートできる<br/>                     人材を育成するための研修会等を実施する</p>   |

|                         |  |
|-------------------------|--|
| <p>施策名</p>              | <p>－ 家庭の教育力の向上</p>   |
| <p>施策の目的</p>            | <p>子育てに悩みや不安を抱える保護者へ学習機会や情報の提供，相談体制の整備など，子育て家庭への支援を充実させる。</p>  |
| <p>施策の方向性</p>           | <p>1 保護者を対象とした相談体制の整備と家庭教育に関する情報の提供</p>  |
| <p>主な事業等の取組</p>         | <p>1 保護者を対象とした相談体制の整備と家庭教育に関する情報の提供</p> <p>(1) 家庭教育充実事業 [予算：104千円]</p> <p>ア 指導者養成（家庭教育に関する相談員の養成）<br/> 「家庭教育相談員の養成研修」 受講者数26人<br/> (ア) 期 間 10月28日（水）～30日（金）3日間<br/> (イ) 場 所 自治研修センター<br/> (ウ) 主な内容 カウンセリングの意義と役割，子どもを取り巻くネット事情，食育について，男女共同参画社会における家庭教育</p> <p>イ 情報提供（子育て支援のための資料提供）<br/> (ア) 「家庭教育手帳」（CD-ROM化）の配布<br/> [45市町村，11教育事務所（支所）]</p> <p>(イ) 家庭教育啓発リーフレット「地域全体で支える家庭教育」作成・配布（25,000部）[県下小学1年生全保護者，幼・中・高・特別支援学校，子育て応援企業（雇用労政課へ登録している企業）等へ]</p> <p>(ウ) 文部科学省等が作成した啓発資料の活用</p> <p>(2) 家庭教育学級の充実（平成21年度：学級数875，参加者数82,358人）<br/> 家庭教育の重要性を再認識し，その充実を図るために幼稚園・小・中学生の保護者を対象に市町村教育委員会が学校に委嘱し，「家庭の教育力の向上」や「子どもとのコミュニケーションのとり方」などをテーマに学校単位で開催している。</p> <p>(3) 訪問型家庭教育支援事業 [国の委託事業 予算：8,893千円]<br/> 5市町（指宿市，いちき串木野市，南九州市，霧島市，喜界町）で実施</p> <p>ア 県推進協議会の設置（委員13人 年2回開催）<br/> イ 「訪問型家庭教育支援事業」交流セミナー開催 [11月19日開催]<br/> 各市町村家庭教育支援関係者，子育て応援企業関係者等61名参加<br/> ウ 推進協議会委員による実施市町訪問<br/> エ 支援チーム会議の開催<br/> オ 5市町の取組を県ホームページに掲載</p> <p>(4) 社会教育委員の会議での協議（委員21名） [予算：452千円]<br/> 「社会状況の変化に伴い，家庭の教育力の低下が指摘される中，子どもの健全育成のため，地域・学校・企業等は，家庭教育をどのように支援していけばよいか。」をテーマに年2回（8月25日，1月21日）協議してもらい，その結果を年度末に冊子にまとめ，市町村教委や県内の全社会教育委員に配布した。</p> |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>(成果)</p> <p>1 家庭教育相談員の養成研修終了後，受講者はそれぞれの市町村で家庭教育相談員や家庭教育学級の講師等として活動している。</p> <p>2 家庭への訪問をとおして，身近に相談できる人がいることを保護者に知らせることができた。</p> <p>(課題)</p> <p>1 家庭教育学級等に参加しなかったり，孤立したり，子育てに悩んでいたりする保護者に対する相談体制の充実など，望ましい支援のあり方の推進を図る必要がある。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>1 あらゆる機会をとらえて，家庭教育に関する情報の提供に努め，子育て世代を始めとして，社会教育関係団体会員及び企業・行政関係者等が連携し，社会総がかりで家庭教育を支えていこうとする気運の醸成を図っていく。</p>   |

|                         |   |
|-------------------------|---|
| <p>施策名</p>              | <p>- 生涯学習環境の充実</p>  |
| <p>施策の目的</p>            | <p>いつでも、どこでも、だれでも学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる「生涯学習社会」の実現を図る。</p>   |
| <p>施策の方向性</p>           | <p>1 県民の多様化・高度化するニーズに対応した学習機会の提供<br/>2 生涯学習の情報の提供</p>   |
| <p>主な事業等の取組</p>         | <p>1 県民の多様化・高度化するニーズに対応した学習機会の提供<br/>         (1) 「かごしま県民大学」推進協議会〔予算：97千円〕<br/>         「かごしま県民大学」の総合的な推進について協議<br/>         委員14人(市町村，大学関係，民間団体・NPO，行政等の関係者等)<br/>         会議開催 年1回開催(7月16日)<br/>         (2) 学習機会提供事業〔予算：6,153千円〕<br/>         ア 生涯学習県民大学講座<br/>         生涯学習県民大学を県立学校に開設<br/>         講座内容：文学，俳句，歴史，芸術，パソコン，園芸 等<br/>         県立学校82校(80講座)開設 受講者数 1,715人<br/>         (3) かごしま県民大学連携講座<br/>         県内の大学等の高等教育機関や市町村，NPO法人等と連携<br/>         32講座実施 受講者数3,253人<br/>         (4) ふるさと再発見「かごしま学舎」推進プラン〔予算：1,314千円〕<br/>         ア ふるさと再発見「かごしま学舎」講座<br/>         郷土かごしまの学習資源を活用した学習機会の提供<br/>         6/7,7/4,8/2,9/6,10/4,11/8,12/6 7回実施 受講者数 計434人<br/>         イ ふるさと名人伝承講座<br/>         ふるさと名人を活用した学習機会の提供<br/>         「郷土料理に挑戦しよう」1/16,1/30,2/6,2/20 受講者数96人<br/>         (5) 視聴覚サービス事業〔予算：2,379千円〕<br/>         ア メディア研修講座<br/>         22講座実施 受講者数 計580人<br/>         (6) しろやま教養講座【県立図書館】<br/>         県民の学習ニーズに応え，学習機会を提供する講演を中心とした生涯学習講座を開催。<br/>         学習内容と関連づけた貴重資料展・企画展示や図書紹介も同時に実施。<br/>         年3回開催(5/16,8/22,1/24) 受講者数 計448人<br/>         (7) 「県立図書館所蔵貴重資料」活用事業【県立図書館】<br/>         県立図書館所蔵の貴重資料を，テーマに沿って展示。<br/>         (8) あまみならでは学舎【県立奄美図書館】<br/>         奄美在住の方々を講師とする，奄美の歴史や民族文化，伝統芸能等についての生涯学習講座を開催<br/>         年10回(4月～2月) 受講者数 計931人<br/>         2 生涯学習情報の提供<br/>         (1) 各種講座や指導者・講師，各種イベントなどの情報を，インターネットにより県民に提供<br/>         (2) 情報誌「かごしま県民大学中央センター」による講座等の紹介</p> |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>(成果)<br/>         1 県民が生涯の各期において，それぞれの学習意欲に応じて学習できるよう，県立学校，県内の大学，市町村，NPO，教育関係団体等と連携して，さまざまな分野における学習機会を提供した。<br/>         生涯学習県民大学講座 分野別講座開設状況(82校，80講座)<br/>         ・新技術(パソコン)27講座・芸術(美術，書道，音楽)40講座</p>   |

- ・生活(食, 農, 木工等)11講座・教養(語学, 文学等) 6講座
  - ・その他(健康, 文化, 特別支援, 郷土教育など) 17講座
- 一つの講座で複数の分野にわたる場合がある。

(課題)

- 1 県民の多様なニーズに応じたいつでも, どこでも, だれでも自由に学べる機会を提供する必要がある。
- 2 新たな指導者の育成に努め, 高度な内容の学習ができる機会を充実させ生涯学習社会への担い手を育成する必要がある。

(今後の方向性)

- 1 生涯学習県民大学講座の内容の充実を図るとともに, 大学, 市町村, NPO法人等と連携した「かごしま県民大学連携講座」を更に拡充し, 県民への「学習機会の提供」を図っていく。
- 2 学んだことを伝えることのできる指導者養成のノウハウを学ぶ機会を提供し, 新たな人材確保に努める。

余 白

施策評価票

【保健体育課】

|                         |   |
|-------------------------|---|
| <p>施策名</p>              | <p>- 生涯スポーツの推進</p>  |
| <p>施策の目的</p>            | <p>県民のスポーツ活動や健康づくりへの参加啓発を行うとともに、地域のスポーツクラブの育成等を促進する。</p>  |
| <p>施策の方向性</p>           | <p>1 コミュニティスポーツクラブの育成や運営の充実<br/>2 県民のニーズ等に応じた質の高い指導ができる人材の養成・活用<br/>3 スポーツ情報の提供及びスポーツ環境の整備・充実</p>   |
| <p>主な事業等の取組</p>         | <p>1 コミュニティスポーツクラブの育成や運営の充実<br/>(1) 研修会等の開催<br/>ア 生涯スポーツ担当者等研修会の開催<br/>各市町村担当者及びクラブ関係者等を対象に年1回開催(80人参加)<br/>イ クラブマネージャー連絡協議会の支援<br/>クラブマネージャー等を対象に年3回開催<br/>(2) 広域スポーツセンター事業の推進<br/>ア 未設置市町村の計画訪問<br/>県内未設置市町村(14市町村)を県体協と連携し訪問<br/>イ 情報提供・相談<br/>県のホームページでの情報提供<br/>スポーツ相談窓口(県総合体育センター)毎年4,500件を超える相談有り<br/>2 県民のニーズ等に応じた質の高い指導ができる人材の養成・活用<br/>(1) スポーツ・レクリエーション活動リーダーの育成<br/>スポーツ・レクリエーション活動リーダー養成会を日置地区で開催(35人参加)<br/>(2) スポーツ・レクリエーション「フェスティバル」等の開催<br/>こどもの日や体育の日の「施設の無料開放」などスポーツ・レクリエーション「フェスティバル」に20,000人を超える県民の参加があった。<br/>3 スポーツ情報の提供及びスポーツ環境の整備・充実<br/>(1) スポーツ情報の提供<br/>ア 県民のニーズに応じたスポーツ情報の提供...広報誌・HPの活用,各種会議での啓発<br/>イ スポーツ活動相談体制の充実...スポーツ活動相談窓口の開設<br/>(2) スポーツ環境の整備・充実<br/>ア 学校体育施設開放の推進...県立高校70校を開放<br/>イ 各種大会の開催...県民体育大会,県民レクリエーション祭の開催<br/>ウ 県立サッカー・ラグビー場(仮称)...平成25年度供用開始予定<br/>エ 総合体育館等の整備...検討委員会を設置(総務部政策調整課)<br/>オ 県立鴨池緑地公園球技場の人工芝生化...平成22年度完成<br/>カ 県立鴨池公園の外灯整備(LED)...平成21年度完成(民間企業からの寄付)<br/>キ 県立鴨池庭球場スタンド屋根の改修...平成21年度完成<br/>ク 県立鴨池緑地庭球場の改修...平成21年度完成<br/>ケ 県立鴨池陸上競技場の改修...平成22年度完成</p> |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>(成果)<br/>1 コミュニティスポーツクラブについては、市町村への計画訪問・情報提供等により、未設置市町村が設置に向けて取り組むようになり、県内市町村の設置率が、67.4%(平成20年度は44.4%)に向上している。<br/>2 こどもの日や体育の日の「施設の無料開放」などスポーツ・レクリエーション「フェスティバル」に多くの県民が参加した。<br/>3 県立体育施設の整備が進んだ。<br/>(課題)<br/>1 コミュニティスポーツクラブ未設置市町村が14市町村ある。<br/>2 スポーツ・レクリエーション活動リーダー養成は順調に進んでいるが、スポーツ指導者情報の広報が不十分である。<br/>3 学校体育施設開放利用団体が減少している。<br/>(今後の方向性)<br/>1 コミュニティスポーツクラブは平成22年度までに設置率100%をめざしていることから、未設置市町村への更なる啓発と設立支援に努める。<br/>2 県民のニーズに応じた指導者を養成するとともに、スポーツ・レクリエーション活動の普及に努める。<br/>3 県立学校の体育施設については、引き続き生涯スポーツの場として解放していく。</p>   |

施策評価票

【生活・文化課】

|                         |   |
|-------------------------|---|
| <p>施策名</p>              | <p>- 文化芸術活動の促進</p>  |
| <p>施策の目的</p>            | <p>県民の多様な文化芸術活動の促進，地域活性化，文化芸術に係る人材の育成</p>   |
| <p>施策の方向性</p>           | <p>1 県民一人一人が生涯を通じて文化芸術に触れ，楽しめるような環境の整備<br/>2 様々な芸術分野のアーティストが集い，地域文化と触れ合う中での新たな文化芸術の創造</p>   |
| <p>主な事業等の取組</p>         | <p>かごしま地域文化創造事業<br/>・地域が主体となり，文化芸術によるまちづくり，人づくりを推進するためのシンポジウム・育成事業発表会などの実施（実施地区：奄美地区）<br/>青少年のための芸術鑑賞事業<br/>・青少年への優れた舞台芸術等の鑑賞機会の提供<br/>・分野：音楽（器楽中心，声楽中心，それぞれに邦楽を含む），バレエ<br/>・期間：平成21年5月27日（水）～7月9日（木）<br/>霧島国際音楽祭運営事業<br/>・みやまコンセールを主会場に，著名な音楽家・教授による講習と室内楽の演奏会の開催<br/>・期間：平成21年7月24日（金）～8月9日（日）<br/>「芸術家への道」事業<br/>・音楽家を志す県内の小学生を含む若者を対象に，霧島国際音楽祭の音楽家等を講師とした実技指導の実施<br/>・期間：平成21年8月10日（月）～13日（木）<br/>かごしま文化芸術活性化事業<br/>・音楽，演劇，舞踊，美術及び文芸等の分野において，文化芸術団体等が県内外の一流の芸術家を招へいして行う公演・体験活動等に対し助成<br/>・助成額：事業費の3分の2以内（上限2,000千円）<br/>青少年芸術鑑賞支援事業<br/>・文化芸術に親しむ気運を高め，文化芸術活動への理解を促す契機とするため，県内の小・中・高校生とその保護者を対象に，文化芸術を鑑賞する機会を提供した<br/>・期間：平成21年11月21日（土）～22日（日）<br/>沖縄・鹿児島連携交流事業<br/>・未来に向けた沖縄・鹿児島両県の発展的な交流拡大を図る契機とするため，島津氏の琉球出兵から400年に当たるのを機に，両県知事による交流拡大宣言を行った<br/>・期日：平成21年11月21日（土）<br/>・場所：奄美の郷（奄美パーク内）<br/>かごしま地域文化芸術振興プラン（文化庁事業）<br/>・子どもの頃から様々な文化芸術に親しめる環境が整い，県民一人ひとりが，生涯を通じて文化芸術に触れ，楽しむとともに，様々な芸術分野のアーティストが鹿児島に集うことなどにより，地域文化とふれあう中で，新たな文化芸術が創造され，それらの個性を生かした地域づくりが展開される「文化芸術が彩るかごしまづくり」を促進するため，9事業を実施</p> |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>（成果）<br/>かごしま地域文化創造事業・・・奄美地区の方言の教材作成，島唄等の団体育成など実施<br/>青少年のための芸術鑑賞事業・・・17市町村で22公演を実施，参加者8,004人<br/>霧島国際音楽祭運営事業・・・県内外の小中学生と保護者500組，1,000人を招待<br/>入場者等数は過去最高の14,455人で，チケット完売公演が出るなど成功裡に終了<br/>「芸術家への道」事業・・・2分野（ピアノ，ヴァイオリン）に14人が受講<br/>かごしま文化芸術活性化事業・・・応募13団体中，4団体（創作人形劇・クラシック音楽・美術（芭蕉布の調査・制作）・映画制作）を助成団体として選定</p>   |

青少年芸術鑑賞支援事業・・・白鳥バレエ創立60周年記念公演「平家物語」に親子ペア500組を無料招待

沖縄・鹿児島連携交流事業・・・沖縄・鹿児島両県知事による交流拡大宣言，記念品交換のほか，基調講演，アトラクション（琉球舞踊，おはら節など）を実施

かごしま地域文化芸術振興プラン（文化庁事業）・・・以下9事業を実施

(1)NHK交響楽団鹿児島公演

平成22年3月1日(月) 宝山ホール(参加者1,485人)

(2)かごしまバレエフェスタ

ア 県バレエ協会伊佐市公演

・公演：平成22年3月28日(日) 伊佐市文化会館(参加者923人)

・ワークショップ：平成22年2月26～27日(参加者610名)

イ 松山バレエ団「くるみ割り人形」全幕鹿児島公演

平成21年10月29日(木) 宝山ホール(参加者1,450人)

(3)オペラ「ヘンゼルとグレーテル」

・公演：平成21年12月20日(日) 薩摩川内市川内文化ホール(参加者509人)

・ワークショップ：平成21年11月8,15,22,29日,12月6,9,13,19,20日(参加者36人)

(4)子どものためのミュージカルフェスティバル

ア 劇団イツフォーリーズ公演「霧のむこうのふしぎな町」

・公演：平成22年2月11日(木) 種子島こり～な(参加者459人)

2月13日(土) 肝付町文化センター(参加者239人)

2月14日(日) 時遊館 COCCO はしむれ(参加者248人)

・ワークショップ：平成22年1月5,7,8日,2月11,13,14日(参加者81人)

イ オペラシアターこんにゃく座公演「森は生きている」

・公演：平成22年3月12日(金) 徳之島町文化会館(参加者341人)

平成22年3月14日(日) 南九州市コミュニティ・顔娃文化会館(参加者132人)

・ワークショップ：平成22年2月18,20日,3月12,14日(参加者73人)

(5)みやまコンセール合唱及び器楽実技講習会

ア 合唱 平成22年1月16日(土)～17日(日) みやまコンセール(参加者553人)

イ 器楽 平成22年2月14日(日) みやまコンセール(参加者345人)

(6)かごしま伝統文化祭り～いにしえから現代へ～

ア 種子島公演

平成21年11月14日(土) 西之表市市民会館,西之表市保健センター(参加者1,150人)

イ 鹿児島公演

平成22年2月26日(金) 宝山ホール(参加者1,332人)

(7)鹿児島・沖縄歴史・交流促進シンポジウム

平成21年11月1日(日) 南日本新聞社・みなみホール(参加者約200人)

(8)霧島アートの森・10th ANNIVERSARY展

ア 霧島アートの森10年の歩み展(パネル展)

平成22年2月23日(火)～3月22日(月) 霧島アートの森(参加者2,301人)

イ 所蔵作品の海外作家招へいによるワークショップ

平成22年2月25～27日(参加者194人)

(9)鹿児島・シンガポール芸術文化交流事業

平成21年11月22日(日)～26日(木)

シンガポールから Kim Seng Wind Symphony(私・セ・ウインド・シンフォニー:21名)を招へいし、県内(加治木町,鹿屋市など)で公演や交流会等を実施

(課題)

地域住民が日常的に文化芸術に親しめる文化施設等の整備は進んできているが、地域によって、文化芸術に接する機会に格差がある。

また、文化芸術を将来にわたって発展させていくためには、若手アーティストや文化芸術を支える人材の育成を図っていく必要がある。

(今後の方向性)

引き続き、本県の文化芸術の振興のため、県民の多様な文化芸術活動の活性化や地域活性化、文化芸術に係る人材の育成などに努める必要がある。

施策評価票

【生活・文化課】

|                         |  |
|-------------------------|--|
| <p>施策名</p>              | <p>- 地域文化の継承・発展</p>  |
| <p>施策の目的</p>            | <p>地域文化の継承・発展</p>  |
| <p>施策の方向性</p>           | <p>1 郷土芸能や伝統行事等の担い手の育成及び方言や遺訓など地域文化の次世代への継承<br/>2 学校における伝統文化を理解させる教育の充実</p>  |
| <p>主な事業等の取組</p>         | <p>かごしま地域文化創造事業（再掲）<br/>・地域が主体となり，文化芸術によるまちづくり，人づくりを推進するためのシンポジウム・育成事業発表会などの実施（実施地区：奄美地区）<br/>かごしま文化芸術活性化事業（再掲）<br/>・音楽，演劇，舞踊，美術及び文芸等の分野において，文化芸術団体等が県内外の一流の芸術家を招へいして行う公演・体験活動等に対し助成<br/>・助成額：事業費の3分の2以内（上限2,000千円）<br/>かごしま伝統芸能ミュージアム<br/>・県内各市町村の伝統芸能に関する情報の発信<br/>黎明館常設展示運営事業<br/>・本県の歴史・文化遺産等についての県民等の理解と認識を深めるため，常設展示の運営，企画展・体験学習講座の開催<br/>黎明館企画展示事業<br/>・企画特別展，講演会，ふるさと歴史講座，古文書講座，学芸講座の開催<br/>(財)県文化振興財団による伝統文化の保存・継承等に係る助成(文化協会と連携)<br/>・郷土芸能や伝統行事等の伝統文化について，担い手の育成・確保に取り組む活動を支援<br/>助成額：100千円以内 / 1市町村・1保存会</p>  |
| <p>成果・課題<br/>今後の方向性</p> | <p>(成果)<br/>かごしま地域文化創造事業・・・奄美地区の方言の教材作成，島唄等の団体育成など実施<br/>かごしま文化芸術活性化事業・・・応募13団体中，4団体(創作人形劇・クラシック音楽・美術(芭蕉布の調査・制作)・映画制作)を助成団体として選定<br/>かごしま伝統芸能ミュージアム・・・地域伝統芸能(郷土芸能・無形民俗文化財・無形文化財等)181件を県HPに掲載しており，必要に応じて修正<br/>黎明館常設展示運営事業<br/>・常設展：H21.4～H22.3の入館者数53,792人<br/>・企画展：「島津斉興」(H21.2.10(火)～5.30(土)，観覧者数9,194人，常設展入館者数に含む)<br/>「さつまの学び」(H21.6.9(火)～9.27(日)，観覧者数7,040人，" )<br/>「明治・大正期における暮らしの変遷」<br/>(H21.10.6(火)～H22.2.7(日)，観覧者数5,249人，" )<br/>「薩摩藩『玉里邸』とその文化」<br/>(H22.2.16(火)～5.9(日)，観覧者数5,150人，" )<br/>・体験学習講座：「和装本づくりに挑戦しよう」(H21.6.28(日)，参加者5人)<br/>「縄文土器をつくろう」(H21.8.2(日)，参加者12人)<br/>「絵地図で歩こう」(H21.10.18(日)，参加者5人)<br/>「正月飾りをつくろう」(H21.12.27(日)，参加者19人)<br/>黎明館企画展示事業<br/>・企画特別展：「古代のロマン北南～三内丸山 VS 上野原～」<br/>(H21.9.19(土)～11.3(月)，観覧者数6,556人)<br/>講演会 (H21.10.3，125人)<br/>シンポジウム (H21.10.24，201人)<br/>ワークショップ (H21.9.20～9.23，10.10～10.12，294人)</p> |

- ・古文書講座 : 通しで6回(H21.5.23(土)~6.30(土)の毎週土曜日, 参加者延べ270人)
- ・古文書講座 : 通しで5回(H21.10.31(土)~11.28(土)の毎週土曜日, 参加者延べ220人)
- ・学芸講座: 「焼畑と狩猟-南九州とラオス北部の比較から-」(H21.7.4(土), 参加者30人)
  - 「さつまの学び」の風景(H21.7.11(土), 参加者54人)
  - 「薩摩藩の偽金造り」(H21.8.1(土), 参加者105人)
  - 「篤姫 鶴丸城から江戸へ」(H21.9.5(土), 参加者129人)
  - 「明治・大正期における暮らしの変遷」(H21.12.12(土), 参加者55人)
  - 「石清水八幡宮寺における南九州の荘園支配」(H22.1.9(土), 参加者67人)
  - 「鹿児島洋画の系譜」(H22.2.6(土), 参加者35人)
  - 「薩摩藩『玉里邸』とその文化」(H22.3.6(土), 参加者135人)
  - 「学芸員と探る鹿児島城周辺」(H22.3.20(土), 参加者32人)

(財)県文化振興財団による伝統文化の保存・継承等に係る助成

- ・伝統文化の担い手の育成・確保に取り組む8団体に対し, 747千円を交付

(課題)

少子高齢化等により, 郷土芸能等の担い手育成や地域文化の次世代への継承等が難しくなっている。

(今後の方向性)

引き続き, 本県の文化芸術の振興のため, 地域文化の継承・発展に努める必要がある。

余 白

## 鹿児島県教育振興基本計画における数値目標設定項目の達成状況

| 施策の方向性                           | 数値目標<br>設定項目 | 平成21年度<br>の数値目標<br>設定項目 | 達成<br>項目 | 未達成<br>項目 | 達成率<br>(%) |
|----------------------------------|--------------|-------------------------|----------|-----------|------------|
| 規範意識を養い，豊かな心と<br>健やかな体をはぐくむ教育の推進 | 15           | 4<br>(1)                | 4        | 0         | 100        |
| Ⅱ 能力を伸ばし，社会で自立する力<br>をはぐくむ教育の推進  | 14           | 5                       | 4        | 1         | 80         |
| 信頼される学校づくりの推進                    | 4            | 1<br>(1)                | 1        | 0         | 100        |
| 地域全体で子どもを守り育てる<br>環境づくりの推進       | 3            | 1                       | 0        | 1         | 0          |
| 生涯にわたって学べる環境づくり<br>とスポーツ・文化の振興   | 7            | 4                       | 3        | 1         | 75         |
| 計                                | 43           | 15<br>(2)               | 12       | 3         | 80         |

平成21年度の数値目標設定項目欄の( )書きは，調査結果が未公表等の理由で目標の達成・未達成を二次評価実施時点(H22.9.9時点)で判断できない項目を別掲したものです。

規範意識を養い、豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進

| 項目                               | 計画策定時点<br>(H21.2)の状況                   | 目標<br>及び<br>実績 | 21年度         | 22年度    | 23年度  | 24年度 | 25年度   | 達成<br>状況 | 関連<br>施策 |
|----------------------------------|--|----------------|--------------|---------|-------|------|--------|----------|----------|
| 道徳教育推進教師の配置率(小中)                 | 調査なし                                   | 目標<br>実績       | →            |         |       |      | 100%   | —        |          |
| ホームルーム活動の年間指導計画への道徳教育の位置づけ(高校)   | 100%(平成19年度)                           | 目標<br>実績       |              | (継続)    |       |      | 100%   | 達成       |          |
| スクールカウンセラーを配置している学校数(中高)         | 中学校92校<br>高校10校<br>(平成20年度)            | 目標<br>実績       |              | (継続)    |       |      | →      | 達成       |          |
| 人権教育の年間指導計画を作成している学校の割合(小中高特)    | 59.3%<br>(平成19年度)                      | 目標<br>実績       | 70%<br>88.3% | 80%     | 90%   | 95%  | 100%   | 達成       |          |
| 自然体験活動を実施している学校の割合(小中)           | 97.0%<br>(平成20年度)                      | 目標<br>実績       |              |         |       |      | 100%   | —        |          |
| ボランティアが活動している公立図書館(室)の割合         | 80%<br>(平成19年度)                        | 目標<br>実績       |              |         |       |      | 95%    | —        |          |
| 毎日、必ず朝食を摂る生徒の割合(中高)              | 93.1%<br>(平成17年度)                      | 目標<br>実績       | → 100%       |         | (継続)  |      | →      | —        |          |
| 食に関する指導の計画を作成している学校の割合(小中)       | 全体計画69.8%<br>(平成19年度)                  | 目標<br>実績       |              | → 100%  |       |      | → (継続) | —        |          |
|                                  | 年間指導計画47.7%<br>(平成19年度)                | 目標<br>実績       | → 60%        |         | → 80% |      | 100%   | —        |          |
| 栄養教諭が授業に参画している学校の割合(小中)          | 54.3%<br>(平成19年度)                      | 目標<br>実績       | → 70%        |         | → 90% |      | 100%   | —        |          |
| 体力テストでの、全国平均を100としたときの体力の数値(小中高) | 98.3%<br>(平成19年度)<br>97.3%<br>(平成20年度) | 目標<br>実績       | 98.5%        | → 99.0% |       |      | → 100% | —        |          |
| 体力づくり「一校一運動」の実施校数(小中)            | 100%<br>(平成19年度)                       | 目標<br>実績       |              | (継続)    |       |      | →      | 達成       |          |
| 1人当たりの永久歯におけるむし歯の数               | 中1 2.0本<br>(平成19年度)                    | 目標<br>実績       |              | → 1.6本  |       |      | → 1.4本 | —        |          |
|                                  | 高1 4.2本<br>(平成19年度)                    | 目標<br>実績       |              | → 3.8本  |       |      | → 3.6本 | —        |          |
| 年2回以上学校保健委員会を開催する学校の割合(小中高特)     | 84.7%<br>(平成19年度)                      | 目標<br>実績       |              | → 94.0% |       |      | → 100% | —        |          |
|                                  |  |                | 83.9%        |         |       |      |        |          |          |

Ⅱ 能力を伸ばし，社会で自立する力をはぐくむ教育の推進

| 項目  | 計画策定時点<br>(H21.2)の状況   | 目標<br>及び<br>実績 | 21年度   | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 達成<br>状況 | 関連<br>施策 |
|---|--|----------------|--|------|------|------|------|----------|----------|
| 全国学力・学習状況調査における平均正答率  | 小：国語A 66.2<br>国語B 50.1<br>算数A 72.8<br>算数B 49.0<br>中：国語A 73.0<br>国語B 59.5<br>数学A 61.4<br>数学B 47.3<br>(平成20年度) | 目標             | 全国平均を上回る   |      |      |      |      | 未達成      |          |
|   |  | 実績             | 小：国語A 70.9<br>国語B 49.3<br>算数A 78.6<br>算数B 52.4<br>中：国語A 76.1<br>国語B 74.7<br>数学A 61.1<br>数学B 54.1 |      |      |      |      |          |          |
| <p>(未達成の要因と今後の対応)</p> <p>知識・技能の定着に関する問題では，中学校の数学において一部課題が見られる。知識・技能を活用する問題では，小学校の国語，算数，中学校の数学で課題が見られる。</p> <p>思考や判断を高める言語活動や習熟の程度に応じた指導，体験的・問題解決的な学習などの指導法の工夫・改善を推進する。</p> <p>本県独自の小学校用学習ガイド「鹿児島チャレンジ」，中学校用学習ガイド「鹿児島ベーシック」の提供など積極的な支援を行う。</p> |  |                |  |      |      |      |      |          |          |
| 公開授業・授業研究の実施校数(高)   | 67.9% (平成19年度)   | 目標             |  |      |      |      | 100% | —        |          |
|   |  | 実績             | 71.4%  |      |      |      |      |          |          |
| 全教科等で言語活動を導入している学校の割合(小中)   | 現時点におけるデータなし<br>(平成20年度)   | 目標             |  |      |      | 100% |      | —        |          |
|   |  | 実績             | 100%   |      |      |      |      |          |          |
| 朝読書の実施校の割合(高)   | 85.2% (平成19年度)   | 目標             |  |      |      |      | 100% | —        |          |
|   |  | 実績             | 86.1%  |      |      |      |      |          |          |
| 障害のある児童生徒に対する「個別の指導計画」の作成(小中高)  | 49.0%<br>(平成19年度)  | 目標             |  |      |      |      | 100% | —        |          |
|   |  | 実績             | 62.6%  |      |      |      |      |          |          |
| 障害のある児童生徒に対する「個別の教育支援計画」の策定(小中高)  | 28.2%<br>(平成19年度)  | 目標             |  |      |      |      | 100% | —        |          |
|   |  | 実績             | 43.2%  |      |      |      |      |          |          |
| インターンシップ実施率(高)  | 85.2% (平成19年度)   | 目標             |  |      |      |      | 100% | —        |          |
|   |  | 実績             | 88.3%  |      |      |      |      |          |          |
| 新幼稚園教育要領の実施率  | 新幼稚園教育要領施行前(平成20年度)  | 目標             | 100%   |      |      |      |      | 達成       |          |
|   |  | 実績             | 100%   |      |      |      | (継続) |          |          |

|  |                                 |     |                     |  |  |  |        |    |     |
|--|---------------------------------|-----|---------------------|--|--|--|--------|----|-----|
| 幼児と児童との交流を実施している小学校の割合（幼稚園・保育所のないところは除く） | 69.2%<br>（平成20年度）               | 目 標 |                     |  |  |  | → 100% | —  |     |
|  |                                 | 実 績 | 72.6%               |  |  |  |        |    |     |
| 郷土教育の全体計画の作成率（小中）                        | 100%<br>（平成20年度）                | 目 標 |                     |  |  |  | →      | 達成 |     |
|  |                                 |     |                     |  |  |  |        |    |     |
| ICTを活用して指導できる教員の割合                       | 56.8% （平成19年度）                  | 目 標 |                     |  |  |  | → 100% | —  | （ア） |
|  |                                 | 実 績 | 59.9%               |  |  |  |        |    |     |
| 体験的環境教育を実施している学校の割合<br>（小中）              | 小 100%<br>中 100%<br>（平成19年度）    | 目 標 |                     |  |  |  | →      | 達成 | （イ） |
|  |                                 |     |                     |  |  |  |        |    |     |
| 福祉・ボランティア体験活動の実施校の割合<br>（小中高）            | 小中 99.3%<br>高 86.1%<br>（平成19年度） | 目 標 |                     |  |  |  | → 100% | —  | （ウ） |
|  |                                 | 実 績 | 小中 99.6%<br>高 98.7% |  |  |  |        |    |     |
| ALTを活用した授業の実施校数                          | 100% （平成19年度）                   | 目 標 |                     |  |  |  | → 100% | 達成 | （エ） |
|  |                                 |     |                     |  |  |  |        |    |     |
|  |                                 | 実 績 | 100%                |  |  |  |        |    |     |

信頼される学校づくりの推進

| 項 目                                | 計画策定時点<br>(H21.2)の状況             | 目 標<br>及び<br>実 績 | 21年度                 | 22年度 | 23年度  | 24年度 | 25年度 | 達成<br>状況 | 関連<br>施策 |
|------------------------------------|----------------------------------|------------------|----------------------|------|-------|------|------|----------|----------|
| 学校関係者評価の実施<br>率（小中高）               | 98.2%<br>（平成19年度）                | 目 標              |                      |      |       |      | 100% | —        |          |
|                                    |                                  | 実 績              | 100%                 |      |       |      |      |          |          |
| 校種間連携による教科<br>等の研修会の実施             | 小中 95.8%<br>中高 75.2%<br>（平成19年度） | 目 標              |                      |      |       |      | 100% | —        |          |
|                                    |                                  | 実 績              | 小中 97.7%<br>中高 78.1% |      |       |      |      |          |          |
| 県立学校施設の耐震化<br>率                    | 64.9%<br>（平成20年度）                | 目 標              | 80.0%                | →    |       |      |      | 達成       |          |
|                                    |                                  | 実 績              | 81.5%                |      |       |      |      |          |          |
| 避難訓練等を年3回以<br>上実施している学校の<br>割合（小中） | 34.8%<br>（平成18年度）                | 目 標              | 50.0%                | →    | 80.0% | →    | 100% | —        |          |
|                                    |                                  | 実 績              | 今秋公表<br>予定           |      |       |      |      |          |          |

地域全体で子どもを守り育てる環境づくりの推進

| 項 目  | 計画策定時点<br>(H21.2)の状況 | 目 標<br>及び<br>実 績 | 21年度     | 22年度   | 23年度 | 24年度 | 25年度   | 達成<br>状況 | 関連<br>施策 |
|--|----------------------|------------------|----------|--------|------|------|--------|----------|----------|
| 地域による学校支援を<br>組織している市町村  | 5市町<br>(平成20年度)      | 目 標              |          |        |      |      | → 全市町村 | —        |          |
|  |                      | 実 績              | 8市町      |        |      |      |        |          |          |
| スクールガードの人数   | 6,572人<br>(平成20年度)   | 目 標              | 6,500人以上 |        |      |      |        | →        | 未達成      |
|  |                      | 実 績              | 6,135人   | 7,194人 |      |      |        |          |          |
| <p>(未達成の要因と今後の対応)</p> <p>スクールガードのメンバーの一員としてはかかわっていたが、実際には学校への登録がなされていなかったことにより人数減となった。</p> <p>22年度は、市町村教委に対し、各学校への登録確認について依頼したことから、前年度を上回ることに繋がった。</p> |                      |                  |          |        |      |      |        |          |          |
| 家庭教育相談員養成研<br>修受講者数  | 387人<br>(平成19年度)     | 目 標              |          | → 450人 |      |      | → 500人 | —        |          |
|  |                      | 実 績              | 436人     |        |      |      |        |          |          |

生涯にわたって学べる環境づくりとスポーツ・文化の振興

| 項 目                                | 計画策定時点<br>(H21.2)の状況 | 目 標<br>及び<br>実 績   | 21年度                     | 22年度 | 23年度    | 24年度 | 25年度   | 達成<br>状況 | 関連<br>施策 |
|------------------------------------|----------------------|--|--------------------------|------|---------|------|--------|----------|----------|
| かごしま県民大学連携<br>講座の講座数               | 24講座<br>(平成20年度)     | 目 標<br>実 績   | 26講座<br>32講座             | 28講座 | 30講座    | 32講座 | 34講座   | 達成       |          |
| コミュニティスポーツ<br>クラブが設立されてい<br>る市町村の数 | 12市8町<br>(平成20年度)    | 目 標<br>実 績   | → 全市町村<br>17市10町         |      | ( 継 続 ) |      |        | —        |          |
| 成人が週1回以上スポ<br>ーツをする割合              | 41.8%<br>(平成15年度)    | 目 標<br>実 績   | → 50%<br>以上<br>61.6%     |      | ( 継 続 ) |      |        | —        |          |
| 国民体育大会<br>天皇杯順位                    | 27位<br>(平成20年度)      | 目 標<br>実 績   | 20位台<br>25位              |      | ( 継 続 ) |      |        | 達成       |          |
| 県指定文化財の指定件<br>数                    | 239件<br>(平成20年4月22日) | 目 標<br>実 績   | → 250件<br>244件           | 247件 |         |      | → 265件 | —        |          |
| 上野原縄文の森の年間<br>利用者数                 | 10万3千人<br>(平成19年度)   | 目 標<br>実 績   | 10万人以上<br>125,956人       |      | ( 継 続 ) |      |        | 達成       |          |
| 県立博物館の年間利用<br>者数                   | 11万5千人<br>(平成19年度)   | 目 標<br>実 績   | 11万5千人<br>以上<br>108,132人 |      | ( 継 続 ) |      |        | 未達成      |          |
|                                    |                      | <p>(未達成の要因と今後の対応)</p> <p>利用者は、新型インフルエンザの影響等で7千人弱下回っている。</p> <p>今後、更に県民のニーズを把握するとともに、時代の要請に応じた事業の展開を図りながら、利用促進に努めていく。</p> |                          |      |         |      |        |          |          |